

令和元年 7 月 31 日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員会

種目 国語

代表者 宮原中 学校

氏名 須藤 敏清

呉市教科用図書調査・研究報告書について (報告)

このことについては、別添のとおりです。

と

【国語】

観点	基礎・基本の定着
視点	① 単元・教材の目標の示し方
方法	単元・教材の目標の示し方

発行者	調査・研究内容		
東書	<p>○目標の示し方の特徴</p> <p>目次の次に、領域別学習材一覧（系統・ページ・学習材名・目標・言葉の力）</p> <p>【単元目標】 扉ページ 「言葉を磨く」のように短い言葉で単元名として書いてある。</p> <p>【教材目標】 教材のはじめ ページの右下（欄外）</p> <p>〔目標〕 ～を捉える。～を読み味わう。～について自分の考えを持つ。</p> <p>教材の終わり 「てびき」</p> <p>〔目標〕 同じ目標</p> <p>○教材末の「てびき」には、「目標」とあわせて、考えを深める項目で「発表しよう」「話し合おう」「伝え合おう」等の言語活動の目標が示されている。</p> <p>【各社共通にある教材で比較】</p>		
	学年	教材名	目標 ◎単元目標 ○教材目標
	1年	「竹取物語」	<p>◎古典の作品を読み、人間の心のありようについて話し合おう。</p> <p>○・現代語とは異なる言葉や表現に注意して音読し、古典の世界に触れる。</p> <p>・古典の作品に描かれた人間の心のありようについて考える。</p>
	2年	「走れメロス」	<p>◎場面の展開や表現の仕方の工夫について話し合おう。</p> <p>○・人物や情景の効果的な描写に着目して、作品を読み深める。</p> <p>・場面の展開や表現の仕方について、自分の考えをまとめる。</p>
3年	「俳句の読み方、味わい方」	<p>俳句を読み味わい、鑑賞文をまとめよう。</p> <p>○・表現の工夫に着目して、俳句を読み味わう。</p> <p>・俳句のよさを評価してまとめる。</p>	

	<p>○目標の示し方の特徴</p> <p>【単元目標】 扉ページ 「～を見つめよう。」「～を発見しよう。」「～を捉えよう。」 呼びかけの形で示されている。</p> <p>【教材目標】 教材の始め ページの右下 〔目標〕～について考える。～を捉える。～に親しむ。 教材の終わり 「学びの窓」 〈読み深める〉①～について考えよう。②～を捉えよう。</p> <p>○教材末「学びの窓」には、「ついた力を確かめよう」で言葉の力,考える力,知識や技能に分けて「～ができた」の形で振り返りの視点が示されている。</p>		
学図	1年	「竹取物語」	<p>○古典の語り手を捉え、語り手と対話し応答する力を高めよう。</p> <p>○・語り手が伝えようとしたことを捉える。 ・内容を理解して音読し、古文特有のリズムを味わう。</p>
	2年	「走れメロス」	<p>○言葉を吟味して人間の内面と行動について考えよう。</p> <p>○・信頼関係の動揺について考える。 ・視点を変えて出来事や心情を捉える。</p>
	3年	「俳句十五句」	<p>○表現を吟味して歴史における生についての理解を広げ深めよう。</p> <p>○・俳句表現に込められた思いや情景を捉える。 ・俳句特有の表現を捉える。</p>
三省堂	<p>○目標の示し方の特徴</p> <p>目次の次に、領域別教材一覧（領域・つきたい力・言語活動・教材名・ページ）</p> <p>【単元目標】 扉ページ 「わかりやすく伝える」のように、短い言葉で単元名として書いてある。</p> <p>【教材目標】 教材の始め ページの右下 旗マーク 線で囲む 色分け ～を捉える。～を読み取る。～自分の考えをもつ。 教材の終わり 「学びの道しるべ」</p> <p>○教材末の「学びの道しるべ」には、「目標」にチェック欄を付け、振り返りの視点が示されている。教材末には、「目標をもう一度確認して、学んだことを次につなげましょう」と示されている。</p>		

三省堂	1年	「竹取物語」	<p>◎ [つきたい力]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音読・朗読して、古典のリズムを味わう。</li> <li>・場面の展開や人物の描写に注意して読む。</li> <li>・構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつ。</li> <li>・自分のものの見方や考え方を広くする。</li> </ul> <p>○・古典の仮名遣いやリズムに注意して音読し、古典の世界にふれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代とのつながりを考えて読み、物語のおもしろさについて、自分の意見をもつ。</li> </ul>
	2年	「走れメロス」	<p>◎ [つきたい力]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人物の行動の意味を考える。</li> <li>・構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして考えをまとめる。</li> <li>・ものの見方や考え方について、知識や体験と結びつけて考える。</li> </ul> <p>○・場面ごとのできごとを手がかりとして、作品の構成の特徴について考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の行動の意味を捉え、それぞれの人物の考え方について読み深める。</li> </ul>
	3年	「俳句の世界」	<p>◎ [つきたい力]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・語句の効果的な使い方などの表現上の工夫に注意して読む。</li> <li>・構成や展開、表現の仕方を評価する。</li> </ul> <p>○・俳句のきまりや特徴を理解して、作品の内容を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・語句の意味や表現の効果を考えながら、俳句の世界を読み味わう。</li> </ul>
教出	<p>○目標の示し方の特徴 目次の次に、教材で扱う内容（教材の種類・教材名・言語活動・学習内容の重点）</p> <p>【単元目標】 扉ページ 「思考や想像をめぐらせる。」「自分の考えを獲得する。」 「次の世代に伝えていく。」「～をすると～ができる」</p> <p>【教材目標】 教材の始め ページの右下 〔目標〕 線で囲む ～を捉える。～を読み味わう。～自分の考えを持つ。 教材の終わり 「みちしるべ」 〔目標と振り返り〕 同じ目標</p> <p>○教材末の「みちしるべ」には、「目標と振り返り」として目標とチェック欄が示され、</p>		

教出	振り返りの視点となっている。		
	1年	物語の始まり 「竹取物語」	◎古典との出会いをとおして、言葉や文化を大切に受け継ぐ。 ○・物語について調べたり、話し合ったりして、そのおもしろさを理解する。 ・古典の仮名遣いに注意して音読し、物語の内容を捉える。
	2年	「走れメロス」	◎多様に読める文章から自分の考えをもち、周りの人と交流する。 ○・登場人物や語り手のものの見方や考え方についての理解を深め、自分の考えをもつ。 ・描写や人称の使い分けなどに着目し、人物像や心情を表すうえでの役割や効果を捉える。
	3年	「近代の俳句」	◎表現をとおして自己や世界を捉え直すことにより、一人一人の豊かな思考や想像が始まる。 ○言葉の意味を掘り起こして読む。
光村	○目標の示し方の特徴 目次の次に、学習の見通しをもとう（領域・教材・学習のポイント） 【単元目標】扉ページ 「～に気づく。」「～を考える。」「～を広げる。」 単元名と単元目標が短い言葉で示されている。 【教材目標】教材の始め ページの右下 椅子のマーク 〔目標〕～を捉える。～を広げる。～自分の考えをもつ。 教材の終わり「てびき」 椅子のマーク 学習 〔目標〕同じ目標 ○教材末には、「学習を振り返る」として「どのように～したか」という問いかけの形で目標に対するまとめができるように示されている。		
	1年	蓬萊の玉の枝 「竹取物語」から	◎古典の文章に出会い、現代とのつながりを考える。 ○・古典の文章（文語文・古文）を読み、興味や関心をもってその世界に触れる。 ・仮名遣いに注意したり、リズムを味わったりしながら音読し、古典の文章に読み慣れる。

光村	2年	「走れメロス」	<p>◎多様な表現に触れ、自分の経験と重ねながら理解を深める。</p> <p>○・描写や会話に着目して人物像の変化を捉え、作品を読み味わう。</p> <p>・作品を読み、登場人物の行動や考え方について、自分の考えをもつ。</p>
	3年	「俳句の可能性」	<p>◎言葉と心のつながりを考える。</p> <p>○筆者のものの見方や感じ方、表現のしかたなどを読み味わい、俳句の世界に親しむ。</p>

【国語】

観点	基礎・基本の定着
視点	② 基礎的な言語の定着
方法	新出漢字の示し方, 重要語句の示し方, 言語・漢字・文法の扱い

発行者	調査・研究内容
東書	<p>1年</p> <p>○新出漢字(377字)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・脚注に用例とともに示されている。</li> <li>・巻末に「新出漢字一覧」として, 新出順に配列してある。</li> <li>・複数の書き方がある場合, ( ) を用いて二通りの字形を示す。</li> <li>・部首・画数・筆順・各音訓についての用例が示されている。</li> <li>・教材末の「広がる漢字」に, 教材に出てきた新出漢字に関連した漢字の練習問題が示されている。</li> </ul> <p>○重要語句の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意味や用法を理解しておきたい語句がマークとともに示されている。</li> <li>・(⊕緑・⊕黄・⊕ピンク・⊕オレンジ)</li> </ul> <p>○言語</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材名「音声の働きや仕組み」(1P)</li> <li>「つなぐ言葉・指し示す言葉」(3P)</li> <li>「語の意味と文脈・多義語」(2P)</li> <li>資料編 ⇒ 「言葉を広げよう」(4P)</li> </ul> <p>◆特徴・言語についての説明がイラストや図を使って説明してある。脚注には, 言語についての活用問題がある。また, 「読む」教材末に「広がる言葉」, 資料編に用例とともに「言葉を広げよう」が示されている。(3学年分1570の言葉)</p> <p>○漢字</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材名「活字と書き文字・画数・筆順」(2P)</li> <li>「音読み・訓読み」(2P)</li> <li>「漢字の部首」(2P)</li> <li>「漢字の成り立ち」(2P)</li> <li>解説 基礎編・資料編</li> <li>「新出漢字」(12P) 「新出音訓」(1P) 「常用漢字」(12P)</li> </ul> <p>◆特徴・漢字についての説明と問題があり, 漢字が定着できるような構成となっている。小学校で学習していない漢字には, 学習材ごとの初出箇所にルビがつけられている。</p> <p>資料編に「常用漢字表」が示されている。</p> <p>○文法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材名「文法とは・言葉の単位」(1P 解説3P)</li> <li>「文の成分・連文節」(1P 解説5P)</li> </ul>

	<p>「単語の分類」(1 P 解説4 P)  「名詞」(1 P 解説2 P)  「連体詞・副詞・接続詞・感動詞」(1 P 3 P)</p> <p>◆特徴・「文法の窓」では、ゲームの要素を取り入れた内容で示されている。  「文法解説」では、色やマークを使って種類の違いを示すことで、文法事項を整理している。</p>
	<p>2年</p> <p>○新出漢字(375字)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・脚注に用例とともに示されている。</li> <li>・巻末に「新出漢字一覧」として、新出順に配列してある。  複数の書き方がある場合、( )を用いて二通りの字形が示されている。  部首・画数・筆順・各音訓についての用例が示されている。</li> </ul> <p>○重要語句の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意味や用法を理解しておきたい語句がマークとともに示されている。</li> <li>・(⊕緑・⊕黄・⊕ピンク・⊕オレンジ)</li> </ul> <p>○言語</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材名「方言と共通語」(2 P)  「話し言葉と書き言葉」(2 P)  「類義語・対義語」(2 P)  解説 基礎編・資料編⇒「言葉を広げよう」(4 P)</li> </ul> <p>◆特徴・言語についての説明がイラストや図を使って説明してある。脚注には、言語についての活用問題がある。</p> <p>○漢字</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材名「形の似た漢字」(2 P)  「漢字の意味」(2 P)  「同訓異字」(2 P)  「同音異義語」(2 P)  解説 基礎編・資料編  「新出漢字」(12 P)「新出音訓」(1 P)「常用漢字」(12 P)</li> </ul> <p>◆特徴・漢字についての説明と問題がある。小学校で学習していない漢字には、学習材ごとの初出箇所にルビがつけられている。</p> <p>○文法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材名「敬語」(1 P 解説2 P)  「用言の活用」(1 P 解説4 P)  「助詞」(1 P 解説2 P)  「助動詞」(1 P 解説4 P)</li> </ul> <p>◆特徴・「文法の窓」では、ゲーム感覚で取り組む内容で、文法のきまりを捉える活動が示されている。  「文法解説」では、色やマークを使って種類の違いを示すことで、文法事項が整理されている。</p>

東書



3年

○新出漢字（378字）

- ・脚注に用例とともに示している。
- ・巻末に「新出漢字一覧」として、新出順に配列してある。
- ・複数の書き方がある場合、（ ）を用いて二通りの字形が示されている。
- ・部首・画数・筆順・各音訓についての用例が示されている。

○重要語句の示し方

- ・意味や用法を理解しておきたい語句がマークとともに示されている。
- ・(⊗)緑・(⊙)黄・(⊕)ピンク・(⊖)オレンジ

○言語

- ・教材名「和語・漢語・外来語」(2P)
- 「連語・慣用句」(2P)
- 「言葉の移り変わり」(2P)
- 解説 基礎編・資料編⇒「言葉を広げよう」(5P)
- ◆特徴・言語についての説明がイラストや図を使って説明してある。脚注には、言語についての活用問題がある。

○漢字

東書

- ・教材名「熟語の構成・熟字訓」(3P)
- 「四字熟語」(2P)
- 「送り仮名」(2P)
- 「紛らわしい漢字」(2P)
- 「間違えやすい言葉」(2P)
- 解説 基礎編・資料編
- 「新出漢字」(10P)「新出音訓」(3P)「常用漢字」(10P)
- 「本文で学ばなかった漢字」(3P)
- ◆特徴・漢字についての説明と問題があり、漢字を定着させる構成となっている。小学校で学習していない漢字には、学習材ごとの初出箇所にもルビがつけられている。

○文法

- ・教材名「間違えやすい敬語」(1P 解説2P)
- 「曖昧な文・分かりづらい文」(1P 解説2P)
- 「文法のまとめ」(1P 解説2P)
- ◆特徴・「文法の窓」では、ゲーム感覚で取り組む内容で、遊びを通して、文法のきまりが示されている。
- 「文法解説」では、色やマークを使って種類の違いを示すことで、文法事項が整理されている。

<p>学図</p>	<p>1年</p> <p>○新出漢字（401字）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・脚注に行数，本文中の読み，記号とともに示されている。</li> <li>・巻末「言語の学習」に「注意すべき筆順」「常用漢字表」がある。</li> <li>・新出漢字と用例，新出音訓は各教材末の表にまとめてある</li> <li>・教材末の「漢字と用例」に，ページ数，音訓，用例が示されている。</li> </ul> <p>○重要語句の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意味や用法を理解しておきたい語句がマークとともに示されている。</li> <li>・(○・□・△・◇ 緑色)</li> </ul> <p>○脚注</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●中学校で初めて学習する読み</li> <li>○中学校で初めて学習する熟字訓など特別な読み</li> <li>▲小学校六年生で学んだ漢字</li> </ul> <p>○言語</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材名 言葉と生活・言語と文化「発音と表記 他」(4P)</li> <li>言語の学習(8P)</li> </ul> <p>◆特徴・</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉についてのコラムは，古典単元の終わりに設定してある。言語の歴史だけではなく生徒の言語生活を考えさせている。「言語の学習」に「語句・語彙の学習」として，解説・問題が示されている。</li> </ul>
<p>学図</p>	<p>○漢字</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材名 漢字を見抜く 「漢字の成り立ち」(4P)</li> <li>「声符による漢字の読み」(4P)</li> <li>「部首による漢字の意味」(4P)</li> <li>「漢字の書体」(4P)</li> <li>「旧字体と新字体・簡易慣用字体」(4P)</li> <li>言語の学習(18P)</li> </ul> <p>◆特徴・</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「導入・展開・まとめ」と学習の流れに沿った漢字のコラムで，漢字を中心とした文字についての学習である。学習事項を見開き単位でまとめている。</li> <li>漢字コーナーには，キャラクターを使って導入の問いや必要な知識を説明している。</li> </ul> <p>○文法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材名 「文節 他」(1P 解説2P)</li> <li>「品詞分類」(1P 解説1P)</li> <li>「名詞・代名詞」(1P 解説1P)</li> <li>「副詞・連体詞」(1P 解説1P)</li> <li>「指示語」(1P)</li> <li>「接続詞・感動詞」(1P 解説1P)</li> <li>言語の学習(7P)</li> </ul>

◆特徴・・身近な出来事，生徒同士の会話の中から問題を発見し，文法学習の導入としている。解説では，必要な学習事項を見開きで解説している。用例はすべて教科書教材で実際に使われている文章である。本編「文法の学習」で発見や気付きにつながる会話等の例文とイラスト，解説が示されている。言語の学習では，本編に関連した解説，問題が示されている。

2年

○新出漢字（335字）

- ・脚注に行番号とともに示されている。
- ・巻末に「注意すべき筆順」「常用漢字表」がある。
- ・新出漢字と用例，新出音訓は各教材末の表にまとめてある。

○重要語句の示し方

- ・意味や用法を理解しておきたい語句がマークとともに示されている。
- ・(○・因・圃・囿 緑色)

○脚注

- 中学校で初めて学習する読み
- 中学校で初めて学習する熟字訓など特別な読み
- ▲小学校六年生で学んだ漢字○

○言語

- ・教材名 言葉と生活・・言葉と文化「相手や場面」(5P)  
言語の学習(4P)

◆特徴・・言葉についてのコラムは，古典単元の終わりに設定してある。言語の歴史だけではなく生徒の言語生活を考えさせている。

○漢字

- ・教材名 語を見抜く「語の読み方」(4P)  
「熟字訓・湯桶読み・重箱読み」(4P)  
「同音異字・同訓異字」(4P)  
「熟語の構成」(4P)  
「特別な用語」(4P)  
言語の学習(18P)

◆特徴・・「導入・展開・まとめ」と学習の流れに沿った漢字のコラムで，漢字を中心とした文字についての学習である。学習事項を見開き単位でまとめている。

漢字コーナーには，キャラクターを使って導入の問いや必要な知識を説明している。

○文法

- ・教材名 文法の学習 「動詞・形容詞・形容動詞」(1P 解説8P)  
「助動詞①」(1P 解説10P)  
「助動詞②」(1P)  
「助詞」(5P)

「文・文章」(1P 解説3P)

- ◆特徴・身近な出来事, 生徒同士の会話の中から問題を発見し, 文法学習の導入としている。解説では, 必要な学習事項を見開きで解説している。用例はすべて教科書教材で実際に使われている文章である。

3年

○新出漢字(286字)

- ・脚注に行番号とともに示されている。
- ・巻末に「注意すべき筆順」「常用漢字表」がある。
- ・新出漢字と用例, 新出音訓は各教材末の表にまとめてある。

学図

○重要語句の示し方

- ・意味や用法を理解しておきたい語句がマークとともに示されている。
- ・(●・○・■・□ 緑色)

○脚注

- 中学校で初めて学習する読み
- 中学校で初めて学習する熟字訓など特別な読み
- ▲小学校六年生で学んだ漢字

○言語

- ・教材名 言葉と生活・言葉と文化「日本語の由来」(3P)  
言語の学習(4P)

- ◆特徴・言葉についてのコラムは, 古典単元の終わりに設定してある。言語の歴史だけではなく生徒の言語生活について考えさせている。

○漢字

- ・教材名 文字を見抜く「表意文字と表音文字」(4P)  
「常用漢字表の話」(4P)  
「文字と拍」(4P)  
「平仮名と片仮名」(4P)  
「指文字・手話」(4P)  
言語の学習(1・8P)

- ◆特徴・「導入・展開・まとめ」と学習の流れに沿った漢字のコラムで, 漢字を中心とした文字についての学習である。学習事項を見開き単位でまとめている。  
漢字コーナーには, キャラクターを使って導入の問いや必要な知識を説明している。

○文法

- ・教材名 文法の学習 「文章の構造・段落どうしの関係」(1P 解説2P)  
「指示語・接続詞のまとめ」(1P 解説3P)

- ◆特徴・身近な出来事, 生徒同士の会話の中から問題を発見し, 文法学習の導入

	<p>としている。解説では、必要な学習事項を見開きで解説している。用例はすべて教科書教材で実際に使われている文章である。</p>
三省堂	<p>1年</p> <p>○新出漢字（240字）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・脚注に行数、本文中の単語を抜き出した読みが示されている。</li> <li>・巻末に「一年生で学ぶ漢字字典」として、提出順に配列してある。ページ・部首・画数・筆順・各音訓についての用例が示してある。</li> <li>・教材末に、ページ数、音訓、用例が示され、単元末の「漢字を身につけよう」に、文例や文章で出てきた読み方と違う音訓による用例が示されている。</li> <li>・「一年生で学ぶ音訓」「小学校六年生で学習した漢字」「常用漢字表音訓一覧」「常用漢字表付表」「都道府県名の一覧」</li> </ul> <p>○重要語句の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意味や用法を理解しておきたい語句がマークとともに示されている。</li> <li>・(○・□・◇・△・▽・◇)</li> </ul> <p>○言語</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材名 ことば発見「音声のしくみとはたらき」(3P)</li> <li>「話しことばと書きことば」(2P)</li> <li>「接続する語句・指示する語句」(2P)</li> <li>「比喩・倒置・反復・対句」(3P)</li> <li>資料編→「学習用語辞典」(6P)</li> </ul> <p>◆特徴・・日常の言語生活から話題を取り上げ、言葉のおもしろさや決まりに気づかせ、興味・関心を高めながら、言葉の力を身に付けることができる。</p>
三省堂	<p>○漢字</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材名 漢字のしくみ「活字と手書き文字・画数・筆順」(2P)</li> <li>「部首と成り立ち」(2P)</li> <li>「漢字の音と訓」(2P)</li> <li>「漢字を身につけよう」(9P)</li> <li>資料編</li> <li>「小学校六年生で学習した漢字」「常用漢字表音訓一覧」</li> <li>「一年生で学ぶ漢字字典」「一年生で学ぶ音訓」</li> <li>「常用漢字付表」「都道府県名の一覧」</li> </ul> <p>◆特徴・・中学校配当漢字は、「読むこと」の教材とともに学習できるようになっている。</p> <p>○文法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材名 文法のまど 「ことばの単位・文節の関係」(1P 解説5P)</li> <li>「単語の類別・品詞」(1P 解説6P)</li> </ul> <p>◆特徴・・「文法のまど」では、ことばの決まりや規則について、発見や気づきをもたらすようなしくみになっている。</p>

## 2年

## ○新出漢字（390字）

- ・脚注に示されている。
- ・巻末に「二年生で学ぶ漢字字典」として、提出順に配列してある。  
ページ・部首・画数・筆順・各音訓についての用例が示されている。
- ・「二年生で学ぶ音訓」「小学校六年生で学習した漢字」「常用漢字表音訓一覧」  
「常用漢字表付表」

## ○重要語句の示し方

- ・意味や用法を理解しておきたい語句がマークとともに示されている。
- ・(○・●・◎・⊙・⊛・⊜)

## ○言語

- ・教材名 ことば発見「類義語・対義語・多義語」（1P）  
「方言と共通語」（2P）  
「敬語の意味と種類」（3P）  
資料編⇒「学習用語辞典」（6P）

- ◆特徴・・日常の言語生活から話題を取り上げ、言葉のおもしろさや決まりに気づかせるよう示されている。

## ○漢字

- ・教材名 漢字のしくみ「熟語の構成・熟字訓」（2P）  
「熟語の読み」（1P）  
資料編  
「小学校六年生で学習した漢字」「常用漢字表音訓一覧」  
「二年生で学ぶ漢字字典」「二年生で学ぶ音訓」  
「常用漢字付表」「都道府県名の一覧」

- ◆特徴・・中学校配当漢字は、読むこと教材とともに学習できるように示されている。

## ○文法

- ・教材名 文法のまど 「用言の活用」（1P 解説4P）  
「助詞・助動詞」（1P 解説11P）

- ◆特徴・・「文法のまど」では、ことばの決まりや規則について、発見や気づきをもたらすようなしくみになっている。

## 3年

## ○新出漢字（297字）

- ・脚注に示している。
- ・巻末に「三年生で学ぶ漢字字典」として、提出順に配列してある。  
ページ・部首・画数・筆順・各音訓についての用例が示されている。
- ・「三年生で学ぶ音訓」「小学校六年生で学習した漢字」「常用漢字表音訓一覧」  
「常用漢字表付表」

<p>三省堂</p>	<p>○重要語句の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意味や用法を理解しておきたい語句がマークとともに示されている。</li> <li>・(●・○・◎・⊙・⊚・⊛)</li> </ul> <p>○言語</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材名 ことば発見「和語・漢語・外来語」(2P)</li> <li>「敬語の機能と敬意表現」(2P)</li> <li>「ことばの現在・過去・未来」(1P)</li> <li>資料編⇒「学習用語辞典」(6P)</li> </ul> <p>◆特徴・・日常の言語生活から話題を取り上げ、言葉のおもしろさや決まりに気づかせるようになっている。</p> <p>○漢字</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材名 漢字のしくみ 「慣用句・ことわざ・四字熟語」(2P)</li> <li>資料編</li> <li>「小学校六年生で学習した漢字」「常用漢字表音訓一覧」</li> <li>「三年生で学ぶ漢字字典」「三年生で学ぶ音訓」</li> <li>「常用漢字付表」「都道府県名の一覧」</li> </ul> <p>◆特徴・・中学校配当漢字は、読むこと教材とともに学習するよう示されている。</p> <p>○文法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材名 文法のまど 「表現につながる文法」(1P 解説4P)</li> <li>「三年間の文法のまとめ」(8P)</li> </ul> <p>◆特徴・・「文法のまど」では、ことばの決まりや規則について、発見や気づきをもたらしようなくみになっている。</p>
<p>教出</p>	<p>1年</p> <p>○新出漢字(400字)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文中にルビが振られている。</li> <li>・脚注に漢字のみ示されている。</li> <li>・教材の終わりに「この教材で学ぶ漢字」として、ページ数、音訓、用例が示されている。</li> <li>・巻末に「一年で学習した漢字」として、提出順に配列してある。</li> <li>ページ数・総画数・部首・部首を除いた画数・一般的な筆順。</li> <li>青字は、中学生では学ばない読み。＊は複数の字体が通用している漢字。</li> <li>・各音訓についての用例が示されている。</li> <li>「小学六年で学習した漢字」として、音訓・筆順が示されている。(181字)</li> <li>「常用漢字表」「付表の語」「一年で読みを学習した漢字・語」</li> </ul> <p>○重要語句の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意味や用法を理解しておきたい語句がマークとともに示されている。</li> <li>・(◎・⊙・⊚・⊛ 全部青色)</li> </ul>

○言語

- ・教材名「日本語の音声」(1P・解説4P)
- 「日本語の文字」(1P・解説5P)
- 自習室(1P)⇒「文字のいろいろ」

◆特徴・・1ページの導入教材が設けてある。解説・問題がある。「言葉の小窓」で身近な言葉の課題に気付かせる導入,「言葉と文法」解説編で本編に関連した解説や問題が示されている。

○漢字

- ・教材名「漢字の部首」(3P)
- 「画数と活字の字体」(2P)
- 「漢字の音と訓」(2P)
- 「熟語の構成」(2P)
- 解説編・自習室
- 「一年生で学習した漢字」「小学六年生で学習した漢字」「常用漢字表」
- 「一年生で読みを学習した漢字・語」「練習問題」

◆特徴・・漢字の基礎知識とともに新出漢字を学習できる教材が体系的に学習できるように構成してある。文や語彙,漢字の知識とともに学習し,漢字の活用が示されている。「漢字の広場」で解説・問題が示されている。資料編に「小学校6年生で学習した漢字」「常用漢字表」が示されている。

○文法

- ・教材名「言葉の単位」(1P・解説3P)
- 「文の成分」(1P・解説8P)
- 「単語のいろいろ」(1P 解説6P)

◆特徴・・1ページの導入教材が設けてある。解説・問題がある。「文法の小窓」として,身近な言葉の課題に気付かせる導入,「言葉と文法」解説編で本編に関連した解説や問題が示されている。

2年

○新出漢字(438字)

- ・脚注に示している。
- ・教材の終わりに「この教材で学ぶ漢字」として,用例とともに示されている。
- ・巻末に「二年で学習した漢字」として,提出順に配列してある。
- ページ数・総画数・部首・部首を除いた画数・一般的な筆順。
- 青字は,中学生では学ばない読み。\*は複数の字体が通用している漢字。
- ・各音訓についての用例が示されている。
- 「小学六年で学習した漢字」として,音訓・筆順が示されている。(181字)
- 「常用漢字表」「附表の語」「二年で読みを学習した漢字・語」

○重要語句の示し方

- ・意味や用法を理解しておきたい語句がマークとともに示されている。
- ・(●・◎・⊙・⊗ 全部青色)



教出

○言語

- ・教材名「方言と共通語」(1P 解説4P)  
「話し言葉と書き言葉」(1P 解説3P)  
「敬語」(1P 解説3P)  
「類義語・対義語・多義語・同音語」(1P 解説4P)  
資料

「言葉の自習室」⇒理解や表現に役立つ言葉, 学習に必要な用語

- ◆特徴・・1ページの導入教材が設けてある。解説・問題がある。「言葉の小窓」で身近な言葉の課題に気付かせる導入, 「言葉と文法」解説編で本編に関連した解説や問題が示されている。

○漢字

- ・教材名「まちがえやすい漢字」(2P)  
「漢字の成り立ち」(2P)  
「漢字の多義性」(2P)  
「同音の漢字」(2P)  
解説編・自習室  
「二年生で学習した漢字」「小学六年生で学習した漢字」「常用漢字表」  
「二年生で読みを学習した漢字・語」「練習問題」

- ◆特徴・・漢字の基礎知識とともに新出漢字を学習する教材が体系的に学習できるように構成してある。文や語彙, 漢字の知識とともに学習するよう示されている。「漢字の広場」で解説・問題が示されている。資料編に「小学校6年生で学習した漢字」「常用漢字表」が示されている。

○文法

- ・教材名「活用のない自立語」(1P 解説6P)  
「活用のある自立語」(1P 解説9P)  
「付属語のいろいろ」(1P 解説5P)

- ◆特徴・・1ページの導入教材が設けてある。解説・問題がある。「文法の小窓」として, 身近な言葉の課題に気付かせる導入, 「言葉と文法」解説編で本編に関連した解説や問題が示されている。

3年

○新出漢字(293字)

- ・脚注に示している。
- ・教材の終わりに「この教材で学ぶ漢字」として, 用例とともに示されている。
- ・巻末に「三年で学習した漢字」として, 提出順に配列してある。  
ページ数・総画数・部首・部首を除いた画数・一般的な筆順。  
青字は, 中学生では学ばない読み。\*は複数の字体が通用している漢字。
- ・各音訓についての用例が示してある。  
「小学六年で学習した漢字」として, 音訓・筆順が示されている。(181字)  
「常用漢字表」「附表の語」「三年で読みを学習した漢字・語」

	<p>○重要語句の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意味や用法を理解しておきたい語句がマークとともに示されている。</li> <li>・(㊦・㊧・㊨・㊩ 全部青色)</li> </ul> <p>○言語</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材名「和語・漢語・外来語」(1P 解説3P)</li> <li>「慣用句・ことわざ」(1P 解説3P)</li> <li>「敬語」(1P 解説3P)</li> <li>資料 <ul style="list-style-type: none"> <li>「言葉の自習室」⇒理解や表現に役立つ言葉, 学習に必要な用語</li> </ul> </li> </ul> <p>◆特徴・・1ページの導入教材が設けてある。解説・問題がある。「言葉の小窓」で身近な言葉の課題に気付かせる導入, 「言葉と文法」解説編で本編に関連した解説や問題が示されている。「理解や表現に役立つ言葉」が示されている。</p> <p>○漢字</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材名「呉音・漢音・唐音」(2P)</li> <li>「熟字訓」(2P)</li> <li>「異字同訓」(2P)</li> <li>「四字熟語」(2P)</li> <li>「漢字の練習」(4P)</li> <li>解説編・自習室 <ul style="list-style-type: none"> <li>「三年生で学習した漢字」「小学六年生で学習した漢字」「常用漢字表」</li> <li>「三年生で読みを学習した漢字・語」「練習問題」</li> </ul> </li> </ul> <p>◆特徴・・漢字の基礎知識とともに新出漢字を学習できる教材が体系的に学習できるように構成してある。文や語彙, 漢字を学習するようになっている。「漢字の広場」で解説・問題が示されている。資料編に「小学校6年生で学習した漢字」「常用漢字表」が示されている。</p> <p>○文法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材名「活用のない付属語」(1P 解説7P)</li> <li>「活用のある付属語」(1P 解説6P)</li> <li>「文の組み立て」(解説4P)</li> <li>「文法的に考える」(解説6P)</li> </ul> <p>◆特徴・・1ページの導入教材が設けてある。「文法の小窓」として, 身近な言葉の課題に気付かせる導入, 「言葉と文法」解説編で本編に関連した解説や問題が示されている。</p>
光村	<p>1年</p> <p>○新出漢字(381字)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・脚注に新出漢字は, 脚注に行数, 本文中の単語を抜き出した読み, 行番号, 「漢」マークのみが示されている。(㊦即座・㊧座る 等)</li> <li>・教材の終わりに, 「新出漢字」として, 用例とともに示されている。</li> </ul>

- ・巻末に「一年生で学習した漢字」として、提出順に配列してある。  
ページ・部首・総画数・筆順・読み方・用例が示されている。  
「一年生で学習した音訓」「常用漢字表」

○重要語句の示し方

- ・意味や用法を理解しておきたい語句がマークとともに示されている。
- ・(下向きの五角形のマーク 文・意・類・関)

光村

○言語

- ・教材名

「話し言葉と書き言葉」(2 P)

「言葉を集めよう」(1 P)

「指示する語句と接続する語句」(3 P)

「さまざまな表現技法」(3 P)

資料編⇒「感想を表す言葉」(1 P)「学習のための用語一覧」(1 P)

- ◆特徴・日常生活など、身近なことをきっかけに言葉に対する関心を高めるようにしている。解説で知識を習得し、日常で活用する手立てがある。日常生活などが話題となっている。資料編には、1年生「感想を表す言葉」がある。

○漢字

- ・教材名「漢字の組み立てと部首」(2 P)

「漢字の音訓」(2 P)

「漢字の成り立ち」(2 P)

「漢字の練習」(4 P)「小学校六年生で学習した漢字一覧」(2 P)

資料編

「一年生で学習した漢字」「一年生で学習した音訓」「常用漢字表」

「常用漢字付表」

- ◆特徴・イラストを用いて学習に取り組むことができるように示されている。新出漢字や小学校で学習した漢字の定着を図る練習問題がある。イラストを用いた導入、解説、練習問題等が示されている。

○文法

- ・教材名「言葉のまとまりを考えよう」(1 P 解説4 P)

「言葉の関係を考えよう」(1 P 解説5 P)

「単語の性質を見つけよう」(1 P 解説4 P)

- ◆特徴・学習の導入に日常の場面などを題材にしたイラストを用いている。学んだことのポイントが示してある。本編「文法への扉」でイラストや吹き出しを用いた導入、解説、「文法」で本編に関連した解説や問題が示されている。

2年

○新出漢字（401字）

- ・脚注に示している。（**園**即座・**◎**座る 等）
  - ・教材の終わりに、「新出漢字」として、熟語とともに示されている。
  - ・巻末に「二年生で学習した漢字」として、提出順に配列してある。  
ページ・部首・総画数・筆順・読み方・用例が示されている。
- 「二年生で学習した音訓」「常用漢字表」

○重要語句の示し方

- ・意味や用法を理解しておきたい語句をマークとともに示されている。
- ・（下向きの五角形のマーク 文・意・類・関）

○言語

- ・教材名「類義語・対義語・多義語」（2 P）  
「言葉を比べよう」（1 P）  
「敬語」（3 P）  
「方言と共通語」（2 P）  
資料編⇒「感情を表す言葉」（1 P）「学習のための用語一覧」（1 P）
- ◆特徴・・日常生活など、身近なことをきっかけに言葉に対する関心を高めるようにしている。解説で知識を習得し、日常で活用する手立てがある。  
資料編2年生「感情を表す言葉」が示されている。

○漢字

- ・教材名「熟語の構成」（2 P）  
「同じ訓・同じ音を持つ漢字」（2 P）  
「送り仮名」（2 P）  
「漢字の練習」（4 P）「小学校六年生で学習した漢字一覧」（2 P）  
資料編  
「二年生で学習した漢字」「二年生で学習した音訓」「常用漢字表」  
「常用漢字付表」
- ◆特徴・・イラストを用いて、学習に取り組むことができるように工夫してある。  
新出漢字や小学校で学習した漢字の定着を図る練習問題がある。

○文法

- ・教材名「一年生の復習」（2 P）  
「単語をどう分ける？」（1 P 解説4 P）  
「走る。走らない。走ろうよ。」（1 P 解説6 P）  
「一字違いで大違い」（1 P 解説5 P）
- ◆特徴・・学習の導入に日常の場面などを題材にしたイラストを用いている。学んだことのポイントが示されている。

光村	<p>3年</p> <p>○新出漢字 (348字)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・脚注に示している。(㊦即座・㊧座る 等)</li> <li>・教材の終わりに、「新出漢字」として、熟語とともに示されている。</li> <li>・巻末に「三年生で学習した漢字」として、提出順に配列してある。 ページ・部首・総画数・筆順・読み方・用例が示されている。</li> </ul> <p>「三年生で学習した音訓」「常用漢字表」</p> <p>○重要語句の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意味や用法を理解しておきたい語句がマークとともに示されている。</li> <li>・(下向きの五角形のマーク 文・意・類・関)</li> </ul> <p>○言語</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材名「和語・漢語・外来語」(2P)</li> <li>「言葉を選ぼう」(2P)</li> <li>「慣用句・ことわざ・故事成語」(2P)</li> <li>資料編⇒「抽象的な言葉」(1P)「学習のための用語一覧」(1P)</li> </ul> <p>◆特徴・・日常生活など、身近なことをきっかけに言葉に対する関心を高めるようにしている。解説で知識を習得し、日常で活用する手立てがある。 3年生「抽象的な言葉」が示されている。</p> <p>○漢字</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材名「熟語の読み方」(2P)</li> <li>「漢字の造語力」(3P)</li> <li>「漢字のまとめ」(3P)「小学校六年生で学習した漢字一覧」(2P)</li> </ul> <p>資料編</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「三年生で学習した漢字」「三年生で学習した音訓」「常用漢字表」</li> <li>「常用漢字付表」</li> </ul> <p>◆特徴・・イラストを用いて、学習に取り組むことができるようにしてある。新出漢字や小学校で学習した漢字の定着を図る練習問題がある。</p> <p>○文法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材名「一、二年生の復習」(2P)</li> <li>「すいかは幾つ必要？」(1P 解説3P)</li> <li>「『ない』の違いがわからない？」(1P 解説4P)</li> </ul> <p>◆特徴・・学習の導入に日常の場面などを題材にしたイラストを用いている。学んだことのポイントが示されている。</p>
----	---

【国語】

観点	基礎・基本の定着
視点	③伝統と文化に関する内容の記述
方法	伝統的な言語文化に関する単元数と単元名，取り上げられている古典の作品等

発行者	調査・研究内容		
	単元数	単元名 (教材名)	取り上げられている古典，近代詩，近代文学等
東書	1 単元数 1 本編	○単元名 伝統文化に触れる ・(教材名) 「古典の世界」「伊曾保物語」「竹取物語」「矛盾」 ○詩 日本語のしらべ 「月夜の浜辺」 ・単元の扉に詩を1編ずつ掲載(計7編)	・『源氏物語』『枕草子』『徒然草』 ・『伊曾保物語』「犬と肉のこと」「鳩と蟻のこと」 『竹取物語』『冒頭』『昇天』 『韓非子』『矛盾』 ・「月夜の浜辺」 中原中也 ・「トロッコ」 芥川龍之介 ○巻頭と単元の扉に詩を1編ずつ掲載(計7編) ○「古典」の最初に，特設学習材「古典の世界」を配置 ○古典の教材の終わりに，「古典コラム」として，「古典の仮名遣い」「古典の言葉とその意味」「故事成語の例」「漢文の読み方」を掲載
	2 単元数 1 本編	○単元名 伝統文化を楽しむ ・(教材名) 「枕草子・徒然草」 「平家物語」「漢詩」 ○詩 日本語のしらべ 「落葉松」 ・巻頭に詩を配置し，単元の扉に短歌を1首ずつ掲載(計7首) ○俳句 記述なし ○短歌 「短歌を楽しむ」「短歌五首」	・『枕草子』「春はあけぼの」「九月ばかり，夜一夜あかしつる雨の」 ・『徒然草』「序段」「仁和寺にある法師」 ・『平家物語』「祇園精舎」「那須与一」 ・『黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る』 ・『春望』 ・「落葉松」 北原白秋 ・「走れメロス」 太宰治 ・「坊っちゃん」 夏目漱石 ○巻頭に詩を配置し，単元の扉に短歌を1首ずつ掲載(計7首) ○「短歌を楽しむ」「短歌五首」(計八首) ○古典の教材の終わりに，「古典コラム」として，「係り結び」「文体を味わう」「漢詩の形式」を掲載
	3 単元数 1	○単元名 伝統文化に親しむ	・『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』『おくのほそ道』『論語』

	本編	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(教材名)</li> <li>「万葉・古今・新古今」</li> <li>「おくのほそ道」「論語」</li> <li>○詩</li> <li>日本語の調べ</li> <li>「初恋」</li> <li>・巻頭に詩を配置</li> <li>○俳句</li> <li>言葉を磨く</li> <li>「俳句の読み方, 味わい方」</li> <li>「俳句五句」</li> <li>・単元の扉に俳句を1句ずつ掲載 (計7句)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「初恋」 島崎藤村</li> <li>・「形」 菊池寛 ・「故郷」 魯迅</li> <li>○巻頭に詩を配置し, 単元の扉に俳句を1句ずつ掲載 (計7句)</li> <li>○古典の教材の終わりに, 「古典コラム」として, 「和歌の修辞」「俳諧の歴史」「漢文の読み方」「古典の言葉」を掲載</li> </ul>
		<p>○「四季を楽しむ言葉」(1年)「四季を彩る言葉」(2年)「四季を味わう言葉」(3年)として四季の言葉や詩歌, 古典に関連する言葉を写真と共に掲載している。</p> <p>○各学年とも折り込みを用いるなどして, 古典作品のあらすじや歴史的背景などが, 色彩豊かな絵巻や資料性のある図版とともに紹介されている。</p> <p>○資料編には, 本編での古典学習を広げたり深めたりすることのできる学習材が掲載されている。</p> <p>○読書教材や日本語探検の中でも古典の文章を引用し古典に触れることができるようになっている。</p>	
学図	1 1 本編	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元名</li> <li>伝統一時を超えて</li> <li>・(教材名)</li> <li>「言葉の向こうに」「姫の物語? 翁の物語? 一竹取物語」「とらわれた心に突き立つ矢―宇治拾遺物語」</li> <li>「古典の仮名遣い」「故事成語」「漢文の訓読」「絵巻を読む」</li> <li>○俳句 記述なし</li> <li>○詩</li> <li>・単元の扉に詩を1編ずつ掲載 (計5編)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○巻頭に詩を配置し, 単元の扉にも詩を1編ずつ掲載</li> <li>・「貝殻」 新美南吉他</li> <li>・『徒然草』</li> <li>・『竹取物語』</li> <li>・『宇治拾遺物語』</li> <li>・『孟子』「五十歩百歩」, 『韓非子』「矛盾」</li> <li>・『伴大納言絵詞』『竹取物語絵巻』</li> <li>・「木精」 森鷗外</li> <li>・「月夜の浜辺」</li> <li>・「貝殻」</li> <li>・「木精」</li> </ul>

2	単元数 1 本編	<p>○単元名 伝統一時の中で ・(教材名) 「言葉の力」「源平争乱の歴史語り—平家物語」「人の世と人の心のスケッチ—徒然草」「論語」「古典芸能に見られる古典解釈」</p> <p>○俳句 記述なし</p> <p>○詩 ・単元の扉に詩を1編ずつ掲載(計5編)</p>	<p>○巻頭に詩を配置し、単元の扉にも詩を1編ずつ掲載</p> <p>・『わたしはえのぐをといた』岸田衿子 他</p> <p>・『古今和歌集 仮名序』</p> <p>・『平家物語』『祇園精舎』『敦盛の最期』</p> <p>・『徒然草』『高名の木登り』『猫また』『序段』</p> <p>・『論語』</p> <p>・『坊っちゃん』夏目漱石</p> <p>・『走れメロス』太宰治</p>
3	単元数 本編 1	<p>○単元名 伝統一今に向かって ・(教材名) 「言葉との出会い」「歌の源流へ—万葉集・古今和歌集・新古今和歌集」「古典和歌の表現法」「発見する言葉—枕草子」「漢詩」「言葉が見た風景—おくのほそ道」「異界を捉える言葉—遠野物語『抄』」「先人の達成とともに—一本歌取りなど」</p> <p>○俳句 俳句十五句</p> <p>○詩 ・単元の扉に詩を1編ずつ掲載(計5編)</p>	<p>○巻頭に詩を配置し、単元の扉に詩を1編ずつ掲載</p> <p>・「林と思想」宮沢賢治他</p> <p>・『百人一首』</p> <p>・『万葉集』『古今和歌集』</p> <p>・『新古今和歌集』</p> <p>・『枕草子』『春はあけぼの』『うつくしきもの』『香炉峰の雪』</p> <p>・『春望』</p> <p>・『元二の安西に使ひするを送る』</p> <p>・『静夜の思ひ』</p> <p>・『おくのほそ道』</p> <p>・『遠野物語』</p> <p>・『少年—海』芥川龍之介</p> <p>・『故郷』魯迅</p>
<p>○各学年古典に関する解説文を古典学習の導入として、「言葉の向こうに」(1年)「言葉の力」(2年)「言葉との出会い」(3年)を設け、現代のテキスト、古典のテキストを並べている。</p> <p>○各学年古典教材全てで、本文の理解に基づいた音読・朗読活動が設定してある。</p> <p>○各学年資料編「言葉の学習」に「古典に親しむために—古典文法」を設けている。</p> <p>○古典作品とメディアとの融合をテーマにしたコラムが掲載されている。</p>			



三省堂	1	単元数 1 本編	○単元名 古典に学ぶ ・(教材名) 「月を思う心」「竹取物語」 「古典情報/古典の仮名遣い」「故事成語ー矛盾」 「古典情報/漢文の読み方」 ○俳句 記述なし ○詩 「朝のリレー」谷川俊太郎	・『竹取物語』 ・『韓非子』「矛盾」 ・『トロッコ』芥川龍之介
	2	単元数 1 本編	○単元名 古典に学ぶ ・(教材名) ・「枕草子・徒然草」 表現プラザ「『超訳』に挑戦」「平家物語」「読み方を学ぼう物語の転換点」「あの人の歌」「予想外の曲がり角」 「漢詩の世界」 「古典情報/漢詩の形式」 ○詩 「大阿蘇」三好達治 ○短歌 ことばを磨く ・「短歌の世界/短歌十首」	・『枕草子』「第一段」「第四百五段」 ・『徒然草』「序段」「第五十二段」「第九十二段」 ・『平家物語』「祇園精舎」「敦盛の最期」 ・『春暁』『黄鶴楼にて、孟浩然の広陵に之くを送る』 ・『春望』『絶句』  ・『走れメロス』太宰治
	3	単元数 1 本編	○単元名 古典に学ぶ ・(教材名) ・「和歌の世界ー万葉集・古今和歌集・新古今和歌集」 「コミュニケーションツールとしての歌」「おくのほそ道」「論語」 ○俳句 言葉を磨く ・「俳句の世界/俳句十句」 表現プラザ 句会をひらこう ○詩 読みを深めあう 「初恋」島崎藤村	・『万葉集』 ・『古今和歌集』 ・『新古今和歌集』 ・『おくのほそ道』 ・『論語』 ・『初恋』『故郷』 ・『坊っちゃん』

		<p>○古典の冒頭部分に折込ページを配し、古典への興味や意欲を喚起して、現代と古典の世界をつなぐ導入をしている。</p> <p>○多様な言語活動や解説・コラムをとおして、伝統的な言語文化と日常生活をむすびつけている。</p> <p>○古典学習のための資料として、「古典情報」がある。</p> <p>○各学年資料編に古典を音読したり、触れたりする作品を紹介している。</p>	
教出	1 1 本編	<p>○単元名 古典と出会う ・(教材名) 「古典の扉を開くー百年後、千年後の友人であるあなたへー」 「物語の始まりー竹取物語ー」 「故事成語ー中国の名言ー」 「蜘蛛の糸」</p> <p>○俳句 計4か所の「四季のたより」で短歌と共に紹介（蕪村らの句）</p> <p>○詩 ことばと出会う 「ふしぎ」金子みすゞ 考えを共有する 「四季の詩」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「川柳」『東海道中膝栗毛』『南総里見八犬伝』</li> <li>・『竹取物語』</li> <li>・『韓非子』「矛盾」</li> <li>・『蜘蛛の糸』</li> <li>・「ふしぎ」金子みすゞ</li> <li>・「春」安西冬衛</li> <li>・「耳」ジャン＝コクトー</li> <li>・「虫」八木重吉</li> <li>・「雪」三好達治</li> </ul>
	2 1 本編	<p>○単元名 伝統を見出す ・「敦盛の最期ー平家物語ー」 「随筆の味わいー枕草子・徒然草ー」 「二千五百年前からのメッセージー孔子の言葉ー」 「坊っちゃん」</p> <p>○俳句 計4か所の「四季のたより」で短歌と共に紹介（芭蕉らの句）</p> <p>○詩 考えを交流する 「レモン哀歌」高村光太郎</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『平家物語』「祇園精舎」 「敦盛の最期」</li> <li>・『枕草子』 「春はあけぼの」 「うつくしきもの」</li> <li>・『徒然草』 「序段」 「仁和寺にある法師」 「ある人、弓射ることを習ふに」</li> <li>・『論語』</li> <li>・「坊っちゃん」夏目漱石</li> <li>・「レモン哀歌」高村光太郎</li> <li>・「落葉松」北原白秋</li> <li>・「走れメロス」太宰治</li> </ul>
	3 1 本編	<p>○単元名 文化をつなぐ 「旅への思いー芭蕉と『おくのほそ道』ー」 「和歌の調べー万葉集・古今和歌集・新古今和歌集ー」 「和歌の鑑賞文を書く」 「風景と心情ー漢詩を味わうー」 「最後の一句」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『おくのほそ道』</li> <li>・『万葉集』</li> <li>・『古今和歌集』</li> <li>・『新古今和歌集』</li> <li>・『春暁』 『黄鶴楼にて、孟浩然の広陵に之くを送る』</li> <li>・『春望』 「翠岑を下る」</li> <li>・「初恋」島崎藤村</li> </ul>

		<p>○俳句 「近代の俳句」 「四季のたより」で短歌と共に 四つの句を紹介（鬼貫らの 句）</p> <p>○詩 語りと向き合う 「初恋」 島崎藤村</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『最後の一句』 森鷗外</li> <li>・高浜虚子らの句14句掲載</li> <li>・「故郷」 魯迅</li> </ul>	
		<p>○各学年4か所の「四季のたより」を設け、季節のことば・短歌・俳句を紹介している。</p> <p>○巻末の折込「伝統芸能へのいざない」を設け、学年ごとに「落語」「歌舞伎」などを写真つきで紹介している。</p> <p>○巻末に折込「ふるさとを巡る」を設け、日本各地の文学にゆかりの地を写真つきで紹介している。</p> <p>○巻末折込「古典作品へのいざない」を設け、学年ごとに2つずつ古典の冒頭と訳を紹介している。</p> <p>○巻末折込「受け継ぎ、伝える言葉」を設け、名文を紹介している。</p> <p>○巻末「言葉の自習室」では、本編の古典作品の中で掲載されていない話をそれぞれ掲載している。（『竹取物語』『枕草子』『徒然草』『平家物語』）また、月の名前、十二支、十干・干支等について紹介している。</p>		
光村	1	<p>単元数 1 本編</p>	<p>○単元名 いにしえの心に触れる ・(教材名) 「音読を楽しもうーいろは 歌」「月に思う」「蓬萊の玉 の枝ー「竹取物語」から」 「今に生きる言葉」「故事 成語を使って体験文を書こ う」</p> <p>○俳句 記述なし</p> <p>○詩 言葉をつなぐ 「詩の世界」 論点を捉えて 「竹」 萩原朔太郎</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『いろは歌』</li> <li>・『竹取物語』冒頭、「蓬萊の玉の枝」</li> <li>・『徒然草』『百人一首』『漁夫の利』</li> <li>・『韓非子』『矛盾』</li> <li>・「竹」 萩原朔太郎</li> <li>・「詩の世界」の中で、「太陽」八木重吉らの詩を掲載</li> </ul>
	2	<p>単元数 1 本編</p>	<p>○単元名 言葉と向き合う ・(教材名) 「新しい短歌のために」 「短歌を味わう」 広がる学びへ 「枕草子」 いにしえの心を訪ねる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『枕草子』</li> <li>・『平家物語』『祇園精舎』『扇の的』</li> <li>・『徒然草』『序段』『第五十二段』</li> <li>・『春暁』『絶句』『春望』『黄鶴楼にて、 孟浩然の広陵に之くを送る』</li> <li>・「季節のしおり」として俳句・短歌・ 詩を紹介している。</li> <li>・「落葉松」 北原白秋</li> <li>・「走れメロス」 太宰治</li> </ul>

		<p>「音読を楽しもう 平家物語」「扇の的一「平家物語」から」「仁和寺にある法師—「徒然草」から」「漢詩の風景」</p> <p>○俳句 記述なし</p>	
3	<p>単元数 1 本編</p>	<p>○単元名 深まる学びへ</p> <p>・(教材名)</p> <p>・「学びて時にこれを習ふ—「論語」から」</p> <p>○俳句 言葉を見つめる 「俳句の可能性」 「俳句を味わう」(九句) いにしえの心と語らう 「音読を楽しもう 古今和歌集 仮名序」「君待と一万葉・古今・新古今」「夏草—「おくのほそ道」から」 「古典を心の中に」</p> <p>○詩 論旨を捉えて 「初恋」</p>	<p>・『古今和歌集』『仮名序』</p> <p>・『万葉集』『古今和歌集』</p> <p>・『新古今和歌集』</p> <p>・『おくのほそ道』</p> <p>・「高瀬舟」森鷗外</p> <p>・「故郷」魯迅</p> <p>・「初恋」島崎藤村</p>
<p>○学習した古典作品の内容を踏まえた「書くこと」の活動を各学年に設けている。</p> <p>○各学年の古典学習の前に、音読や暗唱に適した古典作品を掲載し、学習に関連づけている。</p> <p>○筆文字も「いろは歌」や色紙に書かれた和歌の写真を紹介して書写との関連を図っている。</p> <p>○本編で学習した古典作品の別の章段を資料編に掲載している。</p> <p>○「季節のしおり」を配し、短歌と俳句の紹介と季語を紹介している。</p> <p>○古典教材の後ろにコラム欄を設け、「係り結び」「和歌の表現技法」などの知識をまとめている。</p> <p>○各学年、巻末の資料「伝統的な言語文化」の項目で、古典芸能「落語」「歌舞伎」「能」などを取り上げ、紹介している。</p>			

【国語】

観点	主体的に学習に取り組む工夫
視点	④興味・関心を高めるための工夫
方法	身近な話題や社会の出来事を取り上げた単元名, 教材名, 内容の取扱い方

発行者	調査・研究内容			
	学年	領域	教材名	内容の取扱い方
東書 ◆ 8 ■ 10	1年	○話すこと・聞くこと	「会話が弾む質問をしよう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「テーマ」の具体例～どんな活動をさせるのか。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>◆学校生活や地域生活に関連が深い内容</li> <li>■社会の出来事に関わる内容</li> </ul> </li> <li>・どんなことを学習させる教材か。</li> </ul>
			「具体例を挙げて伝えよう 『ことわざ』スピーチ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ことわざ説明」例「まかめ種は生えぬ」～ことわざを身近な例を使って説明する。</li> <li>・体験や見聞を入れて順序よく効果的に説明する力をつける。</li> </ul>
			「話し合いで理解を深めよう グループディスカッション」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「好きな言葉の定義」例「幸せ」の定義～体験や考えを出し合って言葉の意味を整理する。</li> <li>・相手の考えを受けて質問したり考えを述べたりし、理解を深める力をつける。</li> </ul>
		○書くこと	「構成を考えて書こう 『私』の説明文」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・◆『「私」の説明文』話題例：パティシエ, アニメキャラクター等～自分を振り返り, 自分自身の特徴を整理して伝える。</li> <li>・材料を整理し, 文章を構成する力をつける。</li> </ul>
			「学校新聞の記事を書こう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・◆「読書アンケート結果報告」～アンケートの結果から伝えたい情報を図表にまとめて示す。</li> <li>・図表を用いて情報を効果的に伝える力をつける。</li> </ul>
			「作品のよさを表現しよう 歌の鑑賞文」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「CDジャケット」例「歩いて行こう」～歌を歌詞や音楽の特徴に着目して鑑賞し, 考えを書く。</li> <li>・作品の表現を根拠にして, 感じたこと考えたことがよく伝わるように書く力をつける。</li> </ul>

東書	○読むこと	「オオカミを見る目」	<ul style="list-style-type: none"> <li>■話題：絶滅危惧種～段落の役割や段落同士の関係に着目して文章の構成を捉える。</li> <li>文章の構成を捉えて、要約する力をつける。</li> </ul>	
		「碑」	<ul style="list-style-type: none"> <li>■話題：広島原子爆弾～読書単元</li> <li>印象に残ったところを伝える力をつける。</li> </ul>	
		「スズメは本当に減っているか」	<ul style="list-style-type: none"> <li>話題：スズメの減少～事実と筆者の考えを区別して読む。</li> <li>事実と筆者の考えを読み分けながら、文章の展開を捉える力をつける。</li> </ul>	
		「ニュースの見方を考えよう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニュース編集「世界陸上モスクワ大会」～情報を取捨選択して構成する。</li> <li>情報への接し方と情報の用い方を身につける。</li> </ul>	
	2年	○話すこと・聞くこと	「問題意識を持って聞こう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「討論」例「コンビニエンスストアの夜間営業は自粛すべきかどうか」～複数の発言を吟味しながら聞いて自分の意見を述べる。</li> <li>表現の仕方や根拠の確かさに注意して聞き、自分の考えを広げる力をつける。</li> </ul>
			「説得力のある提案をしよう プレゼンテーション」	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「提案 プレゼンテーション」例「野菜の直売所を利用しよう」～実習や見学などの体験をもとにクラスにむけて提案したいことを、資料や機器を用いて提案する。</li> <li>資料や機器を活用して、分かりやすく印象的に話す力を身につける。</li> </ul>
			「話し合いで問題を検討しよう リンクマップによる話し合い」	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「討論」例「レジ袋を有料化すると」～テレビや新聞などのさまざまなメディアに取り上げられている話題から問題を選び、メリットとデメリットをあげて討論する。</li> <li>メリットとデメリットを出し合い、リンクマップを活用しながら、話し合って検討し、意見をまとめる力をつける。</li> </ul>
		○書くこと	「調べたことを伝えよう 『食文化』のレポート」	<ul style="list-style-type: none"> <li>「食文化のレポート」例「マグロ・トロは日本でどのように受け入れられていったのか」～食文化の興味のあるものについて情報を集めて構成し、レポートにまとめる。</li> <li>構成を工夫してレポートにまとめる力をつける。</li> </ul>

東書	○読むこと	「反対意見を想定して書こう 意見文」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「意見文」例「和食と洋食とどちらがよいか」～反対の主張の根拠を予想し、反論を考えて意見文を書く。</li> <li>・ 相手側の主張の根拠を検討し、反論を考え、分かりやすい構成で意見文を書く力をつける。</li> </ul>	
		「タウン誌の記事を推敲しよう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ◆「タウン誌記事の推敲」例「ネコ集会は神様への報告会」～推敲のポイントをおさえ、下書き原稿をより効果的に伝えるように推敲する。</li> <li>・ 構成や表現の効果について考えて、文章を推敲する力をつける。</li> </ul>	
		「字のない葉書」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ■話題：学童疎開、家族の絆～心情の変化を読み取り、家族の絆について考える。</li> <li>・ 心情の変化を表す表現を捉える力をつける。</li> </ul>	
		「鯉節―世界に誇る伝統食」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ■話題：食文化としての「和食」～伝統文化の価値について自分の考えを持つ。</li> <li>・ 文章の構成を捉え、要約する力をつける。</li> </ul>	
		「『正しい』言葉は信じられるか」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文の順序や言葉の選び方によって、読み手に与える印象が異なることを見分ける力をつける。</li> <li>・ 話題：皆既日食～皆既日食についての記事を読み比べて、印象の違いとその理由を話し合う。</li> </ul>	
		3年	○話すこと・聞くこと	「評価しながら聞こう」
			「場面に応じて話す条件スピーチ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ◆「体験学習をPRする」例「ボランティアバンク（海岸清掃）」～これまでの体験学習の中から社会生活とつながりのある体験を選び、複数の場面を想定したスピーチを考えて、発表する。</li> <li>・ 体験や知識を整理し、目的や相手、時間を意識して、話す内容や話し方を考える力をつける。</li> </ul>
			「話し合いで問題を解決しよう チャート式討論」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「集団生活の中で起こる問題」例「ファミリーレストランでのマナー」～問題となっていることについて意見を出し合って論点をチャートに整理し、討論する。</li> <li>・ 話し合いが効果的に展開するように、進</li> </ul>

東書				行の仕方を工夫する。		
		○書くこと	「編集して伝えよう 『環境』のミニ雑誌	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「環境」例「ミドリガメの増加」～「環境」の問題について取り上げたいテーマを決めて、情報を集め、記事を書く。</li> <li>知識や体験をもとに、構成を工夫し、内容を膨らませて文章を書く力をつける。</li> </ul>		
			「観察・分析して論じよう 批評文」	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「ポスターコンクールの審査」～「マイボトル」の利用を勧めるためのポスターを審査する。</li> <li>批評の対象について、観察・分析したり、比較したりして、自分なりの判断をする力をつける。</li> </ul>		
			「今の思いをまとめよう 時を超える手紙」	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「時を超える手紙」例「十年後の自分へ」～中学校生活を振り返ったり将来を展望したりして、思いを手紙にまとめる。</li> <li>自分の体験や望みを見つめ直し、手紙の形式を理解して文章を整える力をつける。</li> </ul>		
		○読むこと	「絶滅の意味」	<ul style="list-style-type: none"> <li>■話題：生物の絶滅～論の進め方に着目して、筆者の主張を捉える力をつける。</li> <li>人間社会と自然との関わりについて考え、自分の意見を持つ。</li> </ul>		
			「黄金の扇風機」 「サハラ砂漠の茶会」	<ul style="list-style-type: none"> <li>話題：「美」についての考え～外国の文化に触れた二つの文章を読み比べ、文章の内容について自分の考えを持つ。</li> <li>文章を読み比べて、論の進め方や表現について評価する。</li> </ul>		
			「いつものように新聞が届いた～メディアと東日本大震災」	<ul style="list-style-type: none"> <li>■話題：東日本大震災の報道～情報の意義とメディアの役割について考えを深める。</li> <li>情報の背後にある、発信者の意図や心情、情報の価値や意義を考える力をつける。</li> </ul>		
		学図	1年	○話すこと・聞くこと	「お気に入りを紹介しよう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「紹介スピーチ」例：マウンテンバイク～お気に入りについて写真等を使いながら紹介する。</li> <li>メモを作り構成を考えてスピーチをする力をつける。</li> </ul>
					「インタビューをしよう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>「体験を聞き取る」例：初めてのキャンプ～夏休みの出来事や体験についてインタビューをしてお互いをより深く知り合う。</li> <li>質問の内容や順番を工夫して、聞き出す力をつける。</li> </ul>
				◆ 5 ■ 8		



学図	○書くこと	「私のブックデザイン」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ブックカバーづくり」例『ものづくりに生きる』普通の人たちの技が名工を支えている」～キャッチコピーを考えてブックカバーをつくる。</li> <li>・ 作品の魅力を伝えるコピーや紹介文に書く力をつける。</li> </ul>
		「隠れた世界を知る」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ◆「学校新聞」例「一年生の新種目大成功！」(運動会)～インタビュー取材をして出来事を記事にする。</li> <li>・ 取材して集めた情報を文章にまとめ、効果的に構成する力をつける。</li> </ul>
		「字のない葉書」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ■話題：学童疎開，家族の絆～心理の変化を読み取り，家族の絆について考える。</li> <li>・ 心理の変化を表す表現を捉える力をつける。</li> </ul>
	○読むこと	「変わる動物園」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ■話題：動物園～動物園の展示についての筆者の主張を捉えて，自分の考えをまとめる。</li> <li>・ キーワードを整理して文章の構成に即して，主張を読み取る力をつける。</li> </ul>
		「生物が消えていく」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ■話題：農業と生物～筆者の視点の切り替えを捉え，筆者の考察の深まりを読む。</li> <li>・ 視点の切り替えに着目して読み，事柄をより深く捉える力をつける。</li> </ul>
		「魅力を伝えよう」(プレゼンテーション)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ◆「職場体験報告」例「和菓子に隠された秘密を探る」～職場体験の体験報告を事前からグループで企画・準備して，体験後プレゼンテーションにする。</li> <li>・ 様々な工夫をして魅力を伝えるプレゼンテーションにする力をつける。</li> </ul>
2年	○話すこと・聞くこと	「対立した立場で意見を深める」(ディベートによる討論)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ◆「学校生活をよりよくする」例「図書室に漫画本を置くべきである」～学校生活の中から論題を探し，肯定/否定の立場でディベートする。</li> <li>・ 肯定/否定の両論の論拠を確かめながら議論を深める力をつける。</li> </ul>
		○書くこと	「想像する言葉」(物語・詩を作る)

学図			「意見文を書こう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「このごろ考えること」例『言葉遣い』は『心遣い』～社会の出来事や話題になっていることについて根拠をあげて構成し、意見文を書く。</li> <li>・題材の問題点について自分の意見・主張をまとめ、序論・本論・結論の構成で意見文を書く力をつける。</li> </ul>	
	○読むこと		「逃げることは、ほんとはひきょうか」	<ul style="list-style-type: none"> <li>■話題：いじめ～経験に照らしながら行動の持つ意味について考える。</li> <li>・キーワードを見つけて、筆者の主張を捉える力をつける。</li> </ul>	
			「若者が文化を創造する」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話題：サルの文化創出～サル社会の文化創出を参考に文化とは何かを考える。</li> <li>・段落相互の関係を整理し、自分の表現に活かす力をつける。</li> </ul>	
			「目撃者の眼」	<ul style="list-style-type: none"> <li>■話題：長崎原子爆弾～一枚の写真で写真家が伝えたかった思いを考えて表現する。</li> <li>・写真と言葉の表現力の違いや特長を捉える力をつける。</li> </ul>	
	3年	○話すこと・聞くこと		「世界に届ける言葉」 (パブリックスピーキング)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演説 例「キング牧師のスピーチ」～意見文を演説の原稿に作り替え、演説の仕方を考え、実践する。</li> <li>・伝えたいことを効果的に伝える話し方を考えて話す力をつける。</li> </ul>
				「多様な意見の交差」 (グループ・パネルディスカッション)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自動販売機に入れる飲み物の容器を何にするか」～問題について同じ意見を持つグループで資料を作成し主張をまとめてパネルディスカッションを行う。</li> <li>・主張を裏付ける資料を準備し、意見をまとめて話す力をつける。</li> </ul>
		○書くこと		「批評する言葉」(批評文)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品批評 例「草の上」～これまで学んできた詩についてグループで感想を出し合って交流し、それをもとに批評文を書く。</li> <li>・詩を読んでその表現の特徴を取り上げて批評文を書く力をつける。</li> </ul>
				「あのときかもしれない」(エッセイを書く)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「中学校生活の年表」～中学校生活を年表にしてみても、人や言葉との出会い等の経験を振り返り、文章にまとめる。</li> <li>・順序、書き出し、文末表現を工夫して、経験とそれに対する自分の意味づけがうまくつながるように、分かりやすく書く力をつける。</li> </ul>

学図		○読むこと	「ケナリも花, サクラも花」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話題: 国や言葉を超えたコミュニケーション～国や言葉を超えたコミュニケーションのあり方を考え, 話し合う。</li> <li>・ 表現に即して人物の思いを捉える力をつける。</li> </ul>
			「黒い雨」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ■話題: 広島原子爆弾投下～大きな戦災や災害の渦中にある人々の苦しみや困難な状況について考える。</li> <li>・ 戦災の中にいた人々のエピソードを捉え, まとめる力をつける。</li> </ul>
			「ディズニーランドという聖地」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ■話題: ディズニーランド～ディズニーの自然観と文明の成り立ちについて考えを持ち, 発表する。</li> <li>・ 論理の展開の仕方を捉え, 筆者の主張について自分の考えを持つ力をつける。</li> </ul>
三省堂 ◆ 9 ■ 8	1年	○話すこと・聞くこと	「聞き上手, 話し上手になるために」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ◆「スピーチ実験」例: 歴史上の人物・ゆるキャラのペンケース～歴史上の人物や大切にしているものを, 話し方を変えてみながら紹介する。</li> <li>・ 話す速度や音量, ことばの調子や間の取り方, 身振りや手振りなどの効果を意識しながら話す。</li> </ul>
			「論理で迫るか, 感情に訴えるか」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「討論ゲーム」例「チョコレートのコマーシャルに起用するとしたら, どの話の登場人物がいいか」～説得するために論理で迫る話し方と感情に訴える話し方を使って討論ゲームをする。</li> <li>・ 立場や目的にそって効果的に話す力をつける。</li> </ul>
		○書くこと	「調べたことを整理して, わかりやすく」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「レポート」例「鉛筆はなぜ六角形なのか」～身のまわりのものやできごとから興味や関心のあることを選び, それについて調べたことを整理して, 正確にわかりやすく伝える。</li> <li>・ 調べて集めた情報を分析・整理して, まとまりや順序を考えて文章にする力をつける。</li> </ul>
			「目的や相手に応じて, 情報を編集する」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ◆「行事案内リーフレット」例「合唱コンクールのご案内」～相手に応じて必要な情報を選択して構成し, リーフレットをつくる。</li> <li>・ 目的と相手を明確にしてあつめた情報を分類・整理して, わかりやすく構成する力をつける。</li> </ul>

三省堂	○読むこと	「変わり身の上話」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「変わり身の上話」例 『五重塔』・『冷蔵庫』・『紙』になって話を書く」～何かになり変わってお話を書く。</li> <li>・ ものの特徴を捉え、表現をおもしろく工夫をして書く力をつける。</li> </ul>	
		「ペンギンの防寒着」 「クジラの飲み水」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話題：自然界の不思議～説明文の基本構造を理解する。</li> <li>・ 段落と段落の関係に着目しながら、文章の展開を捉え、内容を読み取る力をつける。</li> </ul>	
		「食感のオノマトペ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「オノマトペを使う」～食品を食べたときの音を、オノマトペを使って表現する。</li> </ul>	
		「この小さな地球の上で」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ■題材：手塚治虫の漫画～地球や人間の未来を考える。</li> <li>・ 文章中の語句の意味について、文脈にそって的確に捉える力をつける。</li> </ul>	
	2年	○話すこと・聞くこと	「資料や機器を効果的に活用する」(プレゼンテーション)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「海外に紹介したい日本のよさ」～身のまわりのできごとや社会生活の中から題材を選び、提案するプレゼンテーションをする。</li> <li>・ 話し手の意図や話の内容をわかりやすく伝えるために、資料や機器を効果的に活用して話す。</li> </ul>
			「異なる立場や考えを尊重して」(パネルディスカッション)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ◆「地域に公共施設を新しく造るとしたら何がよいか」～課題についてグループごとに主張を支える情報を集め、話し合いによって、考えを深める。</li> <li>・ 異なる立場や考えを尊重し、互いの発言を検討しながら話し合い、自分の考えを広げる力をつける。</li> </ul>
			「ふるさつを見つめ直す」(地域情報誌)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ◆「記事の編集会議～地域の魅力にせまる」～ふるさつのよさや新しい発見を伝える地域情報誌の記事の内容とレイアウトを企画する会議を開く。</li> <li>・ 目的に応じて会議を開き、互いの発言を検討して考えを広げる力をつける。</li> </ul>
	○書くこと	「推論と対話で考えを広げる」(主張文)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ■「災害時における行動」～防災学習を想定して、課題文から対話を広げて根拠を明確にし、主張文を書く。</li> <li>・ 自分の立場や考えとともに、それを支える事実や事柄を明らかにして、文章を書く力をつける。</li> </ul>	

三省堂

		「わかりやすく、心をこめて書く」(手紙)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「職場体験学習のお礼」～職場体験でお世話になった人に、お礼の気持ちと発表会があることを伝える手紙を書く。</li> <li>自分の立場と伝えたい事柄と気持ちを明確にして、手紙の形式を踏まえながら構成を工夫して書く力をつける。</li> </ul>	
		「ふるさどを見つめ直す」(地域情報紙)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域紹介記事 例「名物 でんご汁をおいしく作るコツ」～調査・取材活動を通して情報を集め、地域の魅力を伝える記事を編集して紙面にする。</li> <li>取材や調査などで集めた情報を検討し、編集してまとめる力をつける。</li> </ul>	
		○読むこと	「人間は他の星に住むことができるのか」	<ul style="list-style-type: none"> <li>■話題：火星移住～文章の全体と部分との関係に着目して、文章の構成を理解する。</li> <li>読み取った文章の論理の展開のしかたを活用して、ちがうテーマで自分の考えを文章にまとめる。</li> </ul>
			「壁に残された伝言」	<ul style="list-style-type: none"> <li>■話題：広島原子爆弾・被爆の伝言～「伝言」という表現に着目して、筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ。</li> <li>文章の全体と部分との関係を考え、事実と意見を捉える力をつける。</li> </ul>
			「動物園でできること」	<ul style="list-style-type: none"> <li>■動物園の役割～筆者の動物園に対する考え方について、知識や体験と関連づけて自分の考えをもつ。</li> <li>文章の全体と部分の関係や、例示の効果などに注意して、筆者の主張を読み取る力をつける。</li> </ul>
		3年	○話すこと・聞くこと	「状況に応じて話す力を養う」(ブックトーク)
			「合意を形成し、課題を解決する」(企画会議)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「地域活性化計画」例「図書館ゆりかごプロジェクト」～中学生が貢献できる地域活性化のアイデアをグループで提案し、実現できそうな計画として話し合っで練り上げる。</li> <li>課題の解決に向けて、互いの考えを活かしたり調整したりしてできるように進行の仕方を工夫して、話し合いを効果的に展開する力をつける。</li> </ul>
			「問いをもとに語り合	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「卒業後もクラスの絆を保っていくに</li> </ul>

		う」(ワールド・カフェ)	<p>はどうすればいいだろうか」～テーマを「問い」の形にし、グループを変えながら、一人一人の気持ちや体験を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相手に応じてわかりやすい表現を使ったり、聞き手に問いかけたりしながら、みんなで理解を深めていく力をつける。</li> </ul>
○書くこと		「論理の展開を工夫して、説得力をもたせる」(小論文)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「友情論」例「友情とは、物のやりとりではなく、心の交流から生まれるものだ」～友情について書かれた四つの文章を読んで自分の意見をまとめ、構成を工夫したり、引用したりしながら説得力のある文章を書く。</li> <li>論理の展開や引用の仕方を工夫して、説得力のある文章を書く力をつける。</li> </ul>
		「観察や分析をとおして、判断する」(批評文)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「『メール』というコミュニケーション手段について考える」～学校や社会の出来事から課題を探して分析し、適切な論理展開で批評文を書く。</li> <li>取材や分析をとおして課題に対する自分の立場や考えを定め、論理展開が明快な文章構成を工夫して書く力をつける。</li> </ul>
		「漢字一字で表現すると」	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「過去、現在、未来の自分を漢字一字で表現する」～漢字をとおして自分を見つめ直す。</li> <li>書かれたものに表れたそれぞれの個性を味わいながら、ものの見方や考え方を深める力をつける。</li> </ul>
○読むこと		「間の文化」	<ul style="list-style-type: none"> <li>話題：日本文化における「間」～事例の提示の仕方を捉え、日本と西洋の文化の違いについて自分の意見を持つ。</li> <li>論理の展開に注意して、筆者の主張を読み取る力をつける。</li> </ul>
		「フロン規制の物語—〈杞憂〉と〈転ばぬ先の杖〉のはざままで」	<ul style="list-style-type: none"> <li>■話題：科学技術の発達～「科学技術の発達」に対する筆者の見方・考え方を捉え、自分の考えを広げる。</li> <li>文章の展開の仕方や、小見出しのつけ方などについて、その効果や意図を捉える力をつける。</li> </ul>
		「情報社会を生きる—メディア・リテラシー—」	<ul style="list-style-type: none"> <li>■話題：メディアリテラシー、情報の取捨選択～メディアにおける情報の取捨選択について考える。</li> <li>文章の構成や表現の仕方について読み取り、評価する力をつける。</li> </ul>

1年	○話すこと・聞くこと	「フリップを用いて報告する」	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「フリップ作り」例「通学路安全マップ」～話の構成を考え、フリップを用いてわかりやすく報告する。</li> <li>文末表現に注意し、事実と意見を区別して話す。</li> </ul>
		「友達のスピーチを聞く」	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「生活スピーチ」例「今、熱中していること」～友達のスピーチを聞いて必要に応じて質問する。</li> <li>自分の考えとの共通点や相違点を整理しながら聞く。</li> </ul>
		「アイデアを出して話し合う」	<ul style="list-style-type: none"> <li>「日常生活の話題について話し合う」例「この一年を漢字一字で表そう。」～日常生活の話題について、話の方向に気をつけて話し合いをする。</li> <li>話題や方向にそった話し合いをする力をつける。</li> </ul>
	○書くこと	「体験したことを文章にする」	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「体験随筆」例「新しい友達」～体験を振り返り、マッピングを使って題名を決めて随筆を書く。</li> <li>時間の順序にそって構成し、文章を書く力をつける。</li> </ul>
		「芸術作品の鑑賞文を書く」	<ul style="list-style-type: none"> <li>「絵画の鑑賞文」例「『緑響く』（東山魁夷）から感じられる生命力」～芸術作品からうけた印象を、根拠をあげて鑑賞文にまとめる。</li> <li>根拠を明確にして文章を書く力をつける。</li> </ul>
		「行事などの案内文を書く」	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「案内文」例「合唱発表会のご案内」～相手や目的を考えて案内の文章を書く。</li> <li>相手や目的に応じて文章を書く力をつける。</li> </ul>
	○読むこと	「笑顔という魔法」	<ul style="list-style-type: none"> <li>『〇〇の効力』について考える」～読み取ったことを活用して、〇〇の効力について発表する。</li> <li>「題名」と本文の内容、「問い」と「答え」の関係に着目して読み取る力をつける。</li> </ul>
		「電子レンジの発想」	<ul style="list-style-type: none"> <li>話題：電子レンジの仕組み～文章の構成や展開を捉えて読む。</li> <li>筆者の考えとその根拠に注意して文章の構成や展開を捉える力をつける。</li> </ul>

教出	2年	○話すこと・聞くこと	「図表を用いて提案する」(プレゼンテーション)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「クラスで行うボランティア活動」～提案したいことについて情報を収集・吟味・再構成してプレゼンテーションを行う。</li> <li>図表などの資料を効果的に用いて、構成や展開を考えて話す力をつける。</li> </ul>
			「話を聞いて自分の考えと比べる」(スピーチ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「自然と人間との関わりについて」例「人間も自然の一部である」～新聞などから資料を見つけ、根拠をあげながらスピーチをする。友達のスピーチを自分の考えと比べながら聞いて、内容や表現を評価する。</li> <li>論理や構成の仕方を評価しながら聞く力をつける。</li> </ul>
			「役割を決めて討論する」(グループ討論)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「地域を活性化するための方法」～地域の活性化のための方法を、(司会・提案者・発言者)の役割を決めてグループで討論し、複数の意見をまとめる。</li> <li>相手の意見を尊重し、自分の考えを広げる力をつける。</li> </ul>
	○書くこと		「新聞の投書記事を書く」	<ul style="list-style-type: none"> <li>「旅をするなら各駅停車の列車がよい。」～序論・本論・結論の構成の型を用いて、投書記事を書く。</li> <li>構成に注意して、説得力のある文章を書く力をつける。</li> </ul>
			「写真から物語を創作する」	<ul style="list-style-type: none"> <li>物語創作 例「飼い始めたばかりの子犬」～数枚の写真の中から二枚を選択し、描写や比喩を用いて物語を創作する。</li> <li>描写や比喩などを用いて、心情を効果的に伝える。</li> </ul>
			「四コマ漫画から意見文を書く」	<ul style="list-style-type: none"> <li>「手書きか活字か」～複数の考え方があある問題について自分の決めた立場と構成で意見文を書く。</li> <li>根拠をもとに、主張を明確にし、相手や目的に応じて構成を選んで意見文を書く力をつける。</li> </ul>
	○読むこと		「日本の花火の楽しみ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>話題：日本の花火の魅力～筆者のものの見方や考え方を捉え、「日本の花火の魅力」についてまとめる。</li> <li>全体と部分との関係に着目して文章を読む力をつける。</li> </ul>
			「水の山 富士山」	<ul style="list-style-type: none"> <li>話題：富士山～富士山の恵みについて、筆者の考えを捉え、自分の考えをまとめる。</li> </ul>



教出	3年	○話すこと・聞くこと		<ul style="list-style-type: none"> <li>取り上げている事例の提示の仕方と、問いと答えの関係を確かめながら読む力をつける。</li> </ul>	
			「学ぶ力」	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆話題：学力～筆者のものの見方や考え方を捉え、知識や体験と関連づけて自分の考えをまとめる。</li> <li>文章全体と部分の関係や、例示などの効果を捉える力をつける。</li> </ul>	
			「話を聞いて自分の表現に生かす」(講演)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「今を大切にすること」～講演を聞き、自分のものの見方・考え方を深める。</li> <li>話を聞き、話の内容や話し方の良い点に学ぶ力をつける。</li> </ul>	
			「スピーチで学びを振り返る」	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「入試面接自己PR」例「中学校で学んだこと」～中学校で学んだことを振り返り、構成を工夫して自分の良さを伝える。</li> <li>構成を工夫して、場の状況や相手に応じて話す。</li> </ul>	
			「課題を解決するために話し合う」	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「持続可能な社会に向けて私たちができること」～社会生活の中から課題を見つけ、その解決に向けて互いの考えを生かして提言をまとめる。</li> <li>進行の仕方を工夫して、話し合いを深める力をつける。</li> </ul>	
			○書くこと	「広告を批評する」(批評文)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「中学生にむけたペンの広告コピー」～二つの広告コピーを比較して、効果的な構成で批評文を書く。</li> <li>効果的な構成について自分の考えを深めて批評文を書く力をつける。</li> </ul>
				「図表などの資料から文章を書く」(意見文)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「美しい日本語」(国語に関する世論調査)～図表を読み取り、条件をふまえて、意見文を書く。</li> <li>引用の仕方や論理の展開に注意して意見文を書く力をつける。</li> </ul>
				「自己PR文を読み合う」	<ul style="list-style-type: none"> <li>「私が学んだ生き方」～経験から得られたことを表現や構成を工夫して自己PRの文章を書く。</li> <li>文章を読み合って自分の表現に生かす力をつける。</li> </ul>
			○読むこと	「新しい博物学の時代」	<ul style="list-style-type: none"> <li>「理科系と文科系」～筆者のものの見方・考え方をもとに、理科系と文科系の知識の関係について自分の意見をまとめる。</li> <li>文章における論理の構成や展開、文脈に</li> </ul>

教出				おける語句の効果的な使い方などを理解する力をつける。
			「情報を編集するしかけ—メディアにひそむ意図—」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話題:新聞記事・テレビニュース 例「皆既日食」～意図をもって新聞記事やテレビニュースを編集してみて, 編集過程を振り返る。</li> <li>・ 同一の新聞記事・テレビニュースの報道を比較して読む力をつける。</li> </ul>
			「歴史は失われた過去か」「文化としての科学技術」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「歴史・科学・文化の観点から現代を問う」～文章を構成や論理の展開, 表現の仕方に着目しながら読み比べ, 主張を捉える。</li> <li>・ 事例と主張の関係を捉え, 筆者の提起している課題を共有する力をつける。</li> </ul>
光村 ◆ 13 ■ 7	1年	○話すこと・聞くこと	「情報を的確に聞き取る」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ◆「メモ」例「放送委員長からの連絡」～要点を押さえてメモを取る。</li> <li>・ 必要な情報を的確に聞き取る力をつける。</li> </ul>
			『好きなもの』を紹介しよう」(スピーチをする)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ◆「好きなものスピーチ」例「私の好きな『将棋』」～お互いのことをもっとよく知るために「好きなもの」を通して自分を紹介する。</li> <li>・ 話の構成や順序を工夫し, 自分の伝えたいことを整理する力をつける。</li> </ul>
			「話題や方向を捉えて話し合おう」(グループディスカッションをする)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ◆「解決策を探るために話し合う」例「学校図書館の利用を活性化するには」～グループの話し合いを通して, 自分の考えを広げ, 深めていく。</li> <li>・ 話し合いの話題や方向を捉えて, 根拠を明確にして話し合う力をつける。</li> </ul>
		○書くこと	「わかりやすく説明しよう」(観点を立てて書く)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ◆「身近なものを紹介する」例「近所の公園」～目的や相手をはっきりさせて情報を整理し, 文章にまとめる。</li> <li>・ 目的や相手を明確にして情報を集め, わかりやすい構成で書く力をつける。</li> </ul>
			「わかりやすい案内文を書く」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ◆「行事案内文」例「体育祭のご案内」～読み手が必要とする情報を正確に, わかりやすく伝える。</li> <li>・ 目的や相手を意識してわかりやすく伝える力をつける。</li> </ul>
			「根拠を明確にして魅力を伝えよう」(鑑賞文を書く)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「鑑賞文を書く」例『ムーラン・ド・ラ・ギャレット』の魅力～自分が感じた芸術作品の印象を伝える鑑賞文を書</li> </ul>

光村				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作品を鑑賞し、その魅力が伝わるように根拠を明確にして文章にまとめる力をつける。</li> </ul>
	○読むこと	「ダイコンは大きな根？」		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話題：ふだん食べている野菜～筆者の説明のしかたの工夫について考える。</li> <li>・ 段落の役割に着目して、文章の内容を捉える力をつける。</li> </ul>
		「空を見上げて」		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ■話題：東日本大震災後の心の中を伝える五・七・五の言葉～言葉についての考えを深める。</li> <li>・ 言葉にはどのような力があるのかを読み取る力をつける。</li> </ul>
		「幻の魚は生きていた」		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ■話題：絶滅したはずの魚（クニマス）が生きていた～人間の生活と生き物や環境との関係について考える。</li> <li>・ 中心となる文に着目しながら、文章の要旨をとらえる力をつける。</li> </ul>
	2年	○話すこと・聞くこと	「要点を整理して聞き取る」（電話）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ◆「職場体験訪問の電話」～職場体験へ行く店の場所と持ち物等について電話で確認する。</li> <li>・ メモを取るなどをして話の要点や順序を整理しながら聞き取る力をつける。</li> </ul>
			「魅力的な提案をしよう」（プレゼンテーション）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ◆「私たちの町のおすすめ散策コース」例「小さい夏、見つけた！」～多様な方法でおすすめ散策コースの情報を集め、聞き手を意識して材料を整理してプレゼンテーションにまとめる。</li> <li>・ 資料や機器などを効果的に活用して、分かりやすい説明をする力をつける。</li> </ul>
			「話し合って考えを広げよう」（パネルディスカッションをする）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「姉妹都市交流で訪れる外国人留学生に、日本のどんな魅力を紹介したいか。」～テーマに沿って立場を決め、説得力のある根拠を考えて意見発表・討論をする。</li> <li>・ 相手の意見や考えを尊重し、互いの発言を比較・検討しながら自分の考えを広げる力をつける。</li> </ul>
			○書くこと	「多様な方法で情報を集めよう」（職業ガイドを作る）

光村		「気持ちを込めて書こう」(手紙を書く)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「職場体験のお礼状」～職場体験のお礼の気持ちを伝えるお礼状を書く。</li> <li>・ 伝えたい内容を明確にして、気持ちや用件が的確に伝わるように表現や構成を工夫する力をつける。</li> </ul>	
		「根拠を明確にして意見を書こう」(意見文を書く)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「環境問題」例「パソコンリサイクル」～社会生活の中から課題を決めて、情報を集め、反論を想定して構成した意見文を書く。</li> <li>・ 自分の意見とその根拠を明確にして、文章構成を工夫して書く力をつける。</li> </ul>	
	○読むこと	「生物が記録する科学—バイオリギングの可能性」	<ul style="list-style-type: none"> <li>■話題：野生動物調査～「バイオリギング」についてその内容を捉え、自分の考えを広げる。</li> <li>・ 文章の構成や、事実と考えの示し方に着目して、説明のしかたの特徴を捉える力をつける。</li> </ul>	
		「字のない葉書」	<ul style="list-style-type: none"> <li>■話題：家族～父親に対する「私」の思いを捉え、自分の考えをもつ。</li> <li>・ 人物の言動の意味を考え、人柄や心情を捉える力をつける。</li> </ul>	
		「モアイは語る—地球の未来」	<ul style="list-style-type: none"> <li>■話題：環境問題～論説を読み、筆者のものの見方や考え方について自分の考えをもつ。</li> <li>・ 文章の構成や論の展開に着目して、筆者の主張を捉える力をつける。</li> </ul>	
	3年	○話すこと・聞くこと	「社会との関わりを伝えよう 相手や目的に応じたスピーチをする」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「自分と社会との関わり」例「森林ボランティアに参加して」～自分と社会との関わりから話題を選び、相手と目的を意識して内容と構成を考えてスピーチする。</li> <li>・ 話す相手や目的を意識して、資料を活用したり話し方を工夫したりする力をつける。</li> </ul>
			「話し合って提案をまとめよう 課題解決に向けて会議を開く」	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「社会の課題」例「お年寄りとの交流を深めるために、私たちにできること」～地域や社会から課題を見つけ、アイデアを出し合い、話し合って提案をまとめる。</li> <li>・ 話し合いが効果的に展開するように進行を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合う力をつける。</li> </ul>
			「三年間の歩みを振り返ろう 学びについて」	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「自分の今までとこれから」例「印象に残った言葉」～中学校生活三年間の学</li> </ul>

光村		語り合う」(総合単元)	びを振り返り、「学び」ということについて作った文章を発表し、語り合う。 ・ 発表内容や書いた作品を評価し合い、ものの見方や考え方を深める力をつける。
	○書くこと	「魅力的な紙面を作ろう 修学旅行記を編集する」	・ ◆「修学旅行記」～修学旅行で心に残った出来事等をグループで紙面構成して「修学旅行記」の冊子にまとめる。 ・ 内容にふさわしい文章の形態や素材を選び、紙面構成を工夫する力をつける。
		「説得力のある文章を書こう 批評文を書く」	・ 「広告批評」～広告のキャッチコピー等について対象のよさや特性、価値などを評価して、物の見方や考え方を深める。 ・ 対象について観点を立てて分析し、考えを深める力をつける。
		「三年間の歩みを振り返ろう 学びについて語り合う」(総合単元)	・ ◆「三年間の学び」例「印象に残った言葉」～三年間の学びを振り返り、観点を決めて整理し、冊子にまとめる。 ・ 三年間の学びを振り返りながら自分の考えを深め、構成を工夫してまとめる力をつける。
	○読むこと	「月の起源を探る」	・ 話題：不思議な衛星・月～筆者の月に関する科学的なものの見方や考え方について、自分の考えをもつ。 ・ 説明の順序や図の使い方に着目して、内容を捉える。
		「新聞の社説を比較して読もう」	・ 話題：和食、無形文化遺産～和食のユネスコ無形文化遺産登録について論じた二つの社説を、観点を立てて比較して評価する。 ・ 論説を読み比べ、主張や論理の展開、表現のしかたを評価する力をつける。
		「誰かの代わりに」	・ 話題：自分とは何か ～生き方について問いかけた文章を読んでこれからの自分の生き方を考える。 ・ 文脈における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して論理の展開のしかたを捉え、内容の理解に役立てる力をつける。

【国語】

観点	主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤課題解決的な学習を実施するための工夫
方法	手引きに示された課題設定と解決方法

発行者	調査・研究内容	
東書	(手引きの構成)	(課題設定と解決方法の工夫及び特徴)
	<p>【てびき】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*課題の提示</li> <li>*学習目標の再提示</li> <li>○読み取る</li> <li>○考えを深める               <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の力</li> <li>・広がる言葉</li> <li>・広がる漢字</li> </ul> </li> </ul>	<p>《読み取る》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標を意識した読解を進める課題が設定されている。</li> </ul> <p>《考えを深める》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を意識した学習の取組が設定されている。</li> <li>○「たすけ」という、課題に取り組むヒントが示されているものもある。</li> <li>○「言葉の力」は、国語学習で身につけたい知識・技能のポイントが示されており、3年間で系統的に積み上がるように配置されている。</li> </ul> <p>国語の学習だけでなく、ほかの教科や生活に生かせるように構成された「学びの扉」や「基礎編」と連動しているものもある。</p> <p>〈1年：「言葉の力」〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・詩を鑑賞する (p 25)               <ul style="list-style-type: none"> <li>→「学びの扉1」鮮やかに表現する (p 29)</li> <li>→基礎編「学びを支える言葉の力」(p 245)</li> </ul> </li> <li>・表現を手がかりにして考える (p 40)</li> <li>・段落の役割や段落どうしの関係を捉える (p 68)</li> <li>・事実と筆者の考えを区別する (p 106)               <ul style="list-style-type: none"> <li>→「学びの扉4」事実と考えを区別する (p 108)</li> <li>→基礎編「学びを支える言葉の力」(p 236)</li> </ul> </li> <li>・伏線に着目する (p 169)               <ul style="list-style-type: none"> <li>→「学びの扉6」文脈を捉え、伏線に気づく (p 171)</li> <li>→基礎編「学びを支える言葉の力」(p 242)</li> </ul> </li> <li>・情報を見極める (p 193)</li> </ul> <p>〈2年：「言葉の力」〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・短歌を鑑賞する (p 25)</li> <li>・登場人物の言葉や行動の意味に注意する (p 36)</li> <li>・文章の構成を捉え、要約する (p 67)               <ul style="list-style-type: none"> <li>→「学びの扉1」要約する (p 69)</li> <li>→基礎編「学びを支える言葉の力」(p 234)</li> </ul> </li> <li>・論証を吟味する (p 96)               <ul style="list-style-type: none"> <li>→「学びの扉3」論証の組み立てを捉える (p 98)</li> <li>→基礎編「学びを支える言葉の力」(p 242)</li> </ul> </li> <li>・人物像に着目する (p 169)               <ul style="list-style-type: none"> <li>→「学びの扉4」人物像を捉える (p 171)</li> <li>→基礎編「学びを支える言葉の力」(p 248)</li> </ul> </li> </ul>

<p>東書</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事実と言葉の関係を意識する (p 192) (3年:「言葉の力」)</li> <li>・俳句を鑑賞する (p 25)</li> <li>・作品を批評する (p 36)</li> <li>・説得力を高めるための論の進め方を捉える (p 71) →「学びの扉1」論理的に読む (p 73) →基礎編「学びを支える言葉の力」(p 240)</li> <li>・読み比べて自分の考えをまとめる (p 102)</li> <li>・人間関係の変化に着目する (p 169) →「学びの扉5」人物どうしの関係に着目する (p 171) →基礎編「学びを支える言葉の力」(p 246)</li> <li>・情報をより深く捉える (p 194)</li> </ul> <p>○「広がる言葉」「広がる漢字」は、文章と関連して、使える言葉や漢字を増やせるような構成となっている。</p>
<p>学図</p>	<p>(手引きの構成)</p> <p>【学びの窓】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○読む前に</li> <li>○読み深める</li> <li>○まとめ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ついた力を 確かめよう</li> <li>・発見する読み</li> </ul> </li> <li>・読書に広げるために</li> </ul>	<p>(課題設定と解決方法の工夫及び特徴)</p> <p>《読む前に》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習に入る前の簡単な課題が設定されている。</li> </ul> <p>《読み深める》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ねらいに直結した課題が設定され、青字で示されている。</li> </ul> <p>《まとめ》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のまとめを自分の言葉で表現する課題が設定されている。</li> </ul> <p>○それぞれの問いに対する答えを、ワークシート形式で、直接、教科書に書き込めるような構成になっているものもある。</p> <p>○第一教材と第二教材があり、第一教材は「学びの窓」と併せて、読解を助ける「脚問」が示されている。</p> <p>○「ついた力を確かめよう」という、学習成果を確認するための自己評価のポイントが、「言葉の力」「考える力」「知識や技能」という3つの観点で示されている。</p> <p>(例) 1年:「少年の日の思い出」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→ [言葉の力] <ul style="list-style-type: none"> <li>・エーミールへの「僕」の思いを表現に即して説明することができた。</li> </ul> </li> <li>[考える力] <ul style="list-style-type: none"> <li>・「僕」の行動を促したものは何か考えることができた。</li> </ul> </li> <li>[知識や技能] <ul style="list-style-type: none"> <li>・語り手のあり方、語りの構造について理解ができた。</li> </ul> </li> </ul> <p>2年:「走れメロス」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→ [言葉の力] <ul style="list-style-type: none"> <li>・メロスの心の動きを表現に即して捉えることができた。</li> </ul> </li> </ul>

<p>学図</p>		<p>[考える力] ・自分なりの読みをし、また、それに基づいて他の人の読みと比べながら考えることができた。</p> <p>[知識や技能] ・語り手と人物の関係、主題との対応について理解することができた。</p> <p>3年：「故郷」 → [言葉の力] ・人々の変化にはどのような意味があるのかを考え、出し合うことができた。</p> <p>[考える力] ・「私」の「希望」「願い」について考えることができた。</p> <p>[知識や技能] ・他の視点から作品を捉え直すことのよさを感じることができた。</p> <p>○「発見する読み」では、読解力を促進するポイントが示されている。コラム</p> <p>〈1年：「発見する読み」〉コラム ①視点を変えて深める構成 ー 起承転結ー (p 3 8) ②人物から掘り下げる ー 「性格描写」を捉えるー (p 1 4 3) ③深めること・明確にすること ー 視点の切り替えー (p 2 5 0)</p> <p>〈2年：「発見する読み」〉コラム ①構成からの的確な理解へ ー 導入・展開・終結ー (p 2 0) ②読解を促す布石の発見 ー 「伏線」から読み深めるー (p 1 4 8) ③「現在」を深く捉えるために ー 「回想」の大切さー (p 2 4 5)</p> <p>〈3年：「発見する読み」〉コラム ①問いのある読みへ ー 「プロット」を考えるー (p 2 4) ②「述べられていないこと」を見つめる (p 1 3 1) ③世界・言葉 ー 復興へー (p 2 4 7)</p> <p>○「読書に広げるために」では、教材と同じ著者の本が紹介されている。</p>
<p>三省堂</p>	<p>(手引きの構成) 【学びの道しるべ】 *学習目標の再提示 ○内容を整理しよう (声に出して読もう) ○考えを深めよう ・学びをひろげよう</p>	<p>(課題設定と解決方法の工夫及び特徴)</p> <p>《内容を整理しよう》 ・文章の読み取りに必要な情報の整理と確認ができる課題が設定されている。</p> <p>《考えを深めよう》 ・文章の解釈や評価につながる発展的な課題が設定されている。</p>



三省堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み方を学ぼう</li> <li>・私の本棚</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「考えるためのことば」という、まとめに必要な手がかりとなることばが示されている課題がある。</li> <li>《学びをひろげよう》</li> <li>・多様な言語活動につながる発展的な課題が設定されている。</li> <li>○「私の本棚」では、教材と同じ著者やテーマの本が紹介されている。</li> <li>○「読み方を学ぼう」では、教材と関連させて、「何をどのように読めば力がつくのか」という読みの方略を図解で示し、思考力・表現力を伸ばすための方法が各学年で説明されている。</li> <li>各学年の巻末には、「読み方を学ぼう」の一覧が載せられており、3年間の学習が系統的に示され、必要に応じて確認できるようになっている。</li> <li>〈1年：「読み方を学ぼう」①～⑥〉</li> <li>「ペンギンの防寒着」</li> <li>→ ①説明文の基本構造 (p 32)</li> <li>「空中ブランコ乗りのキキ」</li> <li>→ ②人物相関図「鳥の目になって」(p 64)</li> <li>「食感のオノマトペ」</li> <li>→ ③図表と文章「説得力は文字以外でも」(p 88)</li> <li>「玄関扉」</li> <li>→ ④三角ロジック「主張・事実・理由づけ」(p 131)</li> <li>「少年の日の思い出」</li> <li>→ ⑤語り手「語っているのは誰？」(p 164)</li> <li>「トロッコ」</li> <li>→ ⑥情景描写「書かれていない気持ち」(p 205)</li> <li>〈2年：「読み方を学ぼう」①～⑥〉</li> <li>「名づけられた葉」</li> <li>→ ①詩の構成「気持ちを揺さぶる仕掛け」(p 17)</li> <li>「小さな手袋」</li> <li>→ ②象徴「そこには何かが詰まっている」(p 30)</li> <li>「人間は他の星に住むことができるのか」</li> <li>→ ③段落の大中小「まとまりを探せ！」(p 41)</li> <li>「平家物語」</li> <li>→ ④物語の転換点「予想外の曲がり角」(p 119)</li> <li>「動物園でできること」</li> <li>→ ⑤例示『「なるほど！」と言わせたい」(p 141)</li> <li>「走れメロス」</li> <li>→ ⑥視点人物「世界が違って見えてくる」(p 178)</li> <li>〈3年：「読み方を学ぼう」①～⑤〉</li> <li>「水のような人」</li> <li>→ ①隠された意味「国語辞典に載っていない意味」</li> <li style="text-align: right;">(p 19)</li> <li>「間の文化」</li> </ul>
-----	---	--

三省堂		<p>→ ②対比「比べることで明確に」(p 27) 「握手」</p> <p>→ ③回想「時は行きつ戻りつ」(p 43) 「フロン規制の物語」</p> <p>→ ④小見出し「要点をひとめで」(p 95) 「故郷」</p> <p>→ ⑤人物設定「仕組まれた関係」(p 170)</p>
教出	<p>(手引きの構成) 【みちしるべ】 *目標の再提示と振り返り</p> <p>○確かめよう ○深めよう ○考えよう</p> <p>・ここが大事 ・言葉・表現</p> <p>・読んでみよう</p>	<p>(課題設定と解決方法の工夫及び特徴)</p> <p>《確かめよう》 ・「何がどう書かれているか」という、情報の取り出しができるような課題が設定されている。</p> <p>《深めよう》 ・「なぜそう書かれているのか」という、内容の解釈に関する課題が設定されている。</p> <p>《考えよう》 ・「自分はどう考えるか」という、自分自身のものの見方や考え方を、自分の言葉で表現できるような課題が設定されている。</p> <p>○それぞれの課題には、「参考」というヒントが示されているものがある。</p> <p>○「ここが大事」という学習の重点が示されている。</p> <p>〈1年:「ここが大事」〉 ・文章の展開や表現をおさえて読む (p 40) ・構成や展開、表現の特徴に着目する (p 96) ・説明の仕方に着目する (p 156) ・筆者のものの見方や考え方を捉えるために (p 175) ・「語り手」に着目する (p 204)</p> <p>〈2年:「ここが大事」〉 ・「言動の意味」に着目する (p 32) ・「全体」と「部分」との関係に着目する (p 47) ・「構成や展開」の特徴を捉える (p 96) ・題名やキーワードに着目する (p 169) ・「知識や体験と関連づける」とは (p 185) ・語り方の変化に着目する (p 222)</p> <p>〈3年:「ここが大事」〉 ・「場面や登場人物の設定の仕方」を捉える (p 36) ・構成や論理の展開に着目する (p 51) ・「読み比べ」で、「評価」とは (p 95) ・「語り」を読む (p 178)</p> <p>○「言葉・表現」では、言葉と文章内容・表現との関連学習ができるように構成されている。</p> <p>○「読んでみよう」では、教材に関連する本が紹介されている。</p>

光村	<p>(手引きの構成)</p> <p>【学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*目標の再提示</li> <li>○確認しよう</li> <li>○読みを深めよう</li> <li>○自分の考えをもとう <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉を広げる</li> <li>・学習の窓</li> <li>・学習を振り返る</li> </ul> </li> <li>・広がる読書</li> </ul>	<p>(課題設定と解決方法の工夫及び特徴)</p> <p>《確認しよう》《読みを深めよう》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・段階的に「目標」に対する学習が進められるような課題が設定されている。</li> </ul> <p>《自分の考えをもとう》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のものの見方や考え方を深めたり広げたりする学習課題が設定されている。</li> </ul> <p>○「学習の窓」は、その教材で身につける力のポイントが示され、基礎・基本を確認できるように設定されている。</p> <p>それに関連して、各学年の巻末には、「文学的文章」と「説明的文章」を読むための基本的な学習用語が示されている。</p> <p>〈1年：「学習の窓」〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冒頭と結末に着目して、人物の変化をとらえる (p 33)</li> <li>・段落の役割に着目して読む (p 48)</li> <li>・文章の構成に着目して読む (p 53)</li> <li>・場面の展開に着目して、人物の変化を読み取る (p 105)</li> <li>・人物の行動や情景描写から心情を読み取る (p 115)</li> <li>・事実と意見の関係に注意して読む (p 126)</li> <li>・文章の要旨を捉える (p 171)</li> <li>・語り手に着目して読む (p 216)</li> </ul> <p>〈2年：「学習の窓」〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の関係を捉える (p 28)</li> <li>・説明のしかたの特徴を捉える (p 49)</li> <li>・時間の経過や出来事に着目する (p 105)</li> <li>・心情に描き方に着目する (p 110)</li> <li>・論の展開に着目して筆者の主張を捉える (p 123)</li> <li>・評論を読む (p 163)</li> <li>・人物像の変化を捉える (p 209)</li> <li>・自分の知識や体験と比べて考える (p 224)</li> </ul> <p>〈3年：「学習の窓」〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物語や小説を批評する (p 29)</li> <li>・説明の順序に着目する (p 51)</li> <li>・場面や登場人物の設定を考える (p 121)</li> <li>・論説を比較し評価する (p 126)</li> <li>・論理の展開を捉える (p 164)</li> </ul> <p>〈文学的文章を読むために (物語・小説)〉</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">①文学的文章の種類</td> <td style="width: 50%;">②題名</td> </tr> <tr> <td>③語り手</td> <td>④構成</td> </tr> <tr> <td>⑤場面</td> <td>⑥登場人物の設定</td> </tr> <tr> <td>⑦登場人物の心情</td> <td>⑧批評</td> </tr> </table> <p>〈説明的文章を読むために〉</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">①説明的文章の種類</td> <td style="width: 50%;">②題名</td> </tr> <tr> <td>③段落</td> <td>④構成</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">⑤中心的な部分・付加的な部分</td> </tr> </table>	①文学的文章の種類	②題名	③語り手	④構成	⑤場面	⑥登場人物の設定	⑦登場人物の心情	⑧批評	①説明的文章の種類	②題名	③段落	④構成	⑤中心的な部分・付加的な部分	
①文学的文章の種類	②題名															
③語り手	④構成															
⑤場面	⑥登場人物の設定															
⑦登場人物の心情	⑧批評															
①説明的文章の種類	②題名															
③段落	④構成															
⑤中心的な部分・付加的な部分																

<p>光村</p>		<p>⑥意見と事実 ⑧論理の展開</p> <p>⑦要約と要旨 ⑨比較して読む</p> <p>○「学習を振り返る」は、「目標」に対する振り返りを生徒が自分の言葉で学習をまとめられるような場として設定されている。</p> <p>○「言葉を広げる」という設問が設定されている教材があり、作品に使われている言葉の効果や意味等について、考えが深められるような課題が示されている。</p> <p>(例) 1年：「少年の日の思い出」 →「熱情」と「情熱」の意味を比べ、「熱情」が使われている理由を考えてみよう。(p 217)</p> <p>2年：「盆土産」 →方言が作品に与える効果について考えてみよう。 (p 105)</p> <p>3年：「故郷」 →会話の中の「……………」には、どんな思いが込められているのか考えてみよう。(p 121)</p> <p>○「広がる読書」では、教材と同じ著者やテーマの本が紹介されている。</p>
-----------	--	---

【国語】

観点	主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥見通しを立てたり振り返ったりする学習のための構成上の工夫
方法	学習過程の構成, 見通しを立てさせるためのワークシート・図表等

発行者	調査・研究内容	
	全体の流れの示し方	構成及びワークシート・図表等
東書	<p>◎話すこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年の「問題意識を持って聞こう」, 3年の「評価しながら聞こう」では, 全体の流れがまとまった形ではなく, 項目を立てて学習の流れが示されている。</li> <li>(1～3の手順に色づけ)</li> <li>(1年)</li> <li>・単元扉に示している。</li> <li>(2年)</li> <li>・「説得力のある提案をしよう」「話し合いで問題を検討しよう」→単元扉に示している。</li> <li>(3年)</li> <li>・「場面に応じて話そう」「話し合いで問題を解決しよう」→単元扉に示している。</li> </ul> <p>◎書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「伝達, 論証・説得, 感性・創造」→各学年とも単元扉に示している。</li> <li>・「詩歌創作, 通信・手紙, 情報発信」→全体の流れをまとまった形では示していないが, 項目立てて順に説明している。(1～2または1～3の手順は色づけして示している。)</li> </ul>	<p>◎話すこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1年)</li> <li>・質問例, 聞き取りメモ, 構成メモ, 付箋によるグループینگ例 →円滑な話し合いや考えを整理するための資料</li> <li>(2年)</li> <li>・意見例, 討論例, 話の組み立ておよび時間配分例, 提示資料 (円グラフ・矢印を使い流れを示した図), リンクマップ →説得力のある話の組み立てをするための資料</li> <li>(3年)</li> <li>・スピーチ例, ウェビング, スピーチ例文, 論点を整理したチャート, チャートに沿った討論例 →条件スピーチやチャート式討論のための資料</li> </ul> <p>◎書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1年)</li> <li>・ウェビング→グループ分けのための資料</li> <li>・文章構成図 (はじめ・中・終わり)</li> <li>・意見文の完成例</li> <li>・案内, 報告文作成のためのメモ例および完成作品例</li> <li>・図表を用いて効果的に伝えるための棒グラフ, 折れ線グラフ, 円グラフ, 表</li> <li>・鑑賞文作成のためのメモ例, 内容整理の表, 鑑賞文の具体例</li> <li>(2年)</li> <li>・レポートを書くための情報整理カード記録例と整理の仕方</li> </ul>

<p style="text-align: center;">東書</p>	<p>(3年) 批評文</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 観察の練習をする</li> <li>2 批評の対象について知る</li> <li>3 対象を観察・分析する</li> <li>4 対象を比較し、判断を下す</li> <li>5 批評文を書く</li> <li>6 読み合って評価する</li> </ol> <p>— 練習問題</p> <p>※教材の前に、「学びの扉」を設定し、教材扉に「学習の流れ(例)」が示されている。(教材によっては、選択できるような複数用意されている。)教材内には、「言葉の力」のコーナーや生徒のイラストや案内役のキャラクターと吹き出しで学習のポイントが示されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見文を書くために、主張・根拠・反対の主張・根拠の予想・反論・主張の補強例</li> <li>・手紙を書くための基本構成図</li> </ul> <p>(3年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を編集し伝えるための、テーマ題材例・文章推敲例、完成例は説明文形式と随筆形式の2種類</li> </ul> <p>3年「観察・分析して論じよう」 テーマ：ポスターの批評 (ワークシート・図表等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少年野球チームのロゴマーク2つ(特徴を書き出す)</li> <li>・3種類のポスター・「マイボトルを使おう」広報文</li> <li>・観察・分析のメモの例</li> <li>・批評文の完成例3種類(580字程度)</li> </ul> <p>・ポスター3枚 新聞記事</p>
<p style="text-align: center;">学図</p>	<p>◎話すこと (1年～3年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の始めに示されている。</li> </ul>	<p>◎話すこと (1年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9マスの方眼による内容構想メモ、スピーチメモの例、コメントマップ→わかりやすいスピーチをするため。</li> <li>・インタビューの質問例</li> </ul> <p>(2年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションのためのメモ例</li> <li>・ディベートを行うための「論題、定着、流れと時間配分」を簡潔にまとめたもの、「立論、反論、論証」の具体例</li> </ul> <p>(3年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パブリックスピーキングの具体例</li> <li>・グループパネルディスカッションの座席配置図、資料作成例(棒グラフ・円グラフ)、発表プログラム表の例、討論場面の例(一部)</li> </ul>

学図	<p>◎書くこと (1年～3年) ・単元の始めに示されている。</p> <p>(3年) 批評文 学習の手順</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 作品を選ぶ</li> <li>2 グループを作る</li> <li>3 作品を読む</li> <li>4 グループで話し合う</li> <li>5 話し合いの感想をまとめる</li> <li>6 話し合ったこと発表し合う</li> <li>7 批評文を書く</li> <li>8 感想を交流する</li> <li>9 学習を振り返る</li> </ol> <p>※教材の前に「読むこと」の作品の内容をつなぐコラム「活動を考える」が設定され、教材の準備活動が紹介されている。教材冒頭下段には「学習の見通しを持とう」として学習活動の手順が示されている。</p>	<p>◎書くこと (1年) ・ブックカバーを参考にコピーを考える。 ・作品展の案内状、報告書の具体例 ・コピーを作るためにマッピング図を使う。 ・新聞記事を書くために記事の具体例と構成についての解説図が示されている。</p> <p>(2年) ・美術作品→絵から想像を膨らませ物語や詩を作るため ・写真のクローズアップ、折れ線グラフを用いたデータ、写真にコピーを加えた広告→編集について考えるため ・題材選びカード、意見文構成の解説、作品の作り方を示した樹形図→意見文を書くため</p> <p>(3年) 3年「批評する言葉 批評文を書く」 テーマ：本の魅力 (ワークシート・図表等) 5つの詩の題名 感想例2つ(180字程度)</p>
----	---	--

三省堂	<p>◎話すこと (1年～3年) ・単元の始めに示されている。</p> <p>◎書くこと (1年～3年) ・単元の始めに示されている。</p>	<p>◎話すこと (1年) ・実験用スピーチ原稿, 聞き方話し方の動きを設定する指示カード, スピーチメモの具体例→スピーチをするため ・付箋紙を使って効果的な質問を考える→質問をするため ・テーマ具体例(絵入り), 審判用スコアシート, 会場レイアウト例→討論をするため</p> <p>(2年) ・ブレインストーミング→多角的な視点で提案内容を考えるため ・スライドやフリップの具体例→効果的な伝え方を考えるため ・パネルディスカッションの座席配置図と流れの具体例 ・対話劇の具体例 ・地域情報誌を作るためのレイアウト例</p> <p>(3年) ・ブックトークの構成メモの具体例 ・企画会議の具体例→対話の力をつけるため</p> <p>◎書くこと (1年) ・レポートを作成するため, 課題を整理する9マス方眼を使用 ・集めた情報を整理する時のラベリング, グループ化の具体例 ・完成レポート例</p>
-----	---	--



<p>三省堂</p>	<p>(3年) 批評文 学習の手順</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 課題を設定する</li> <li>2 対象を観察し, 分析する</li> <li>3 判断と評価を行い, 下書きをする</li> <li>4 判断や評価の根拠を補強する</li> <li>5 批評文を書く</li> <li>6 交流する</li> </ol> <p>※教材冒頭下段の「学習の流れ」で, 学習活動の手順が, また, 「〇〇のポイント」として学習のポイントが示されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーフレットのラフ・レイアウト例</li> <li>・鑑賞文を書くために鑑賞例と絵画作品4点を提示</li> <li>・意見文の組み立てを実際の文章と三角ロジック(主張・事実・理由付け)を用いて示す。</li> </ul> <p>(2年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・創作文を書くために6タイプの創作コースを提示(続編・前編, 番外編, 手紙, 詩/短歌, シナリオ, パロディー)</li> <li>・主張文を書くために3段構成の3つの型を示す。(頭括型, 尾括型, 双括型)</li> <li>・手紙やはがきの種類をカード表示して説明されている。さらに手紙の具体例を示し, 形式(作法)の解説がされている。</li> <li>・地域情報誌の企画書, レイアウトのポイントが示されている。</li> </ul> <p>(3年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小論文を書くために, 文章構成のポイントをまとめたものと400字の小論文モデル(尾括型3段落構成と双括型4段落構成)が示されている。</li> </ul> <p>批評文の図表等 3年「観察や分析をとおして, 判断する」 テーマ:「メール」というコミュニケーション手段(ワークシート・図表等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・批評文の課題例3つ</li> <li>・コミュニケーション手段を比較して分析する例3種類</li> <li>・観察・分析のポイント(座標軸法・表)</li> <li>・批評文の下書き例(1100字程度)と改善ポイント</li> </ul>
------------	---	--

<p>教出</p>	<p>◎話すこと (1年～3年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の流れを学習の始めに示されている。</li> </ul>	<p>◎話すこと (1年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすく伝えるために、フリップの例やスピーチ原稿の具体例が示されている。</li> <li>・スピーチ原稿とあわせて聞き方の例や活動のポイントがナンバリングで整理して示されている。</li> <li>・話し合いの役割分担を絵と吹き出しを使って示している。話し合いの具体例が活動のポイントをつけて示されている。</li> </ul> <p>(2年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図表を用いてプレゼンテーションをするときの台本例が示されている。</li> <li>・討論の具体例が活動のポイントをつけて示されている。</li> </ul> <p>(3年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチの具体例が活動のポイントをつけて示されている。学びを生かした、グループでの模擬面接が示されている。</li> <li>・「話し合い」の過程で意見を付箋紙に書き出し、分類するイメージ図が示されている。</li> <li>・「話し合い」の具体例が活動のポイントをつけて示されている。</li> </ul>
	<p>◎書くこと (1年～3年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の流れを学習の始めに示されている。</li> </ul>	<p>◎書くこと (1年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験したことを文章で表現する際、マッピングを使って題名を決める。</li> <li>・随筆、鑑賞文、案内文の具体例に活動のポイントをつけて書き方の注意点が示されている。</li> <li>・図表を用いて報告する際に、円グラフで示された資料の説明例が示されている。</li> </ul> <p>(2年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・投書、物語創作、手紙文、意見文の完成例に、活動のポイントをつけて書き方の注意点が示されている。</li> </ul>

<p>教出</p>	<p>(3年) 批評文学習の手順</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 広告のコピーを比較し、自分の考えをもつ。</li> <li>2 自分の意見を効果的に伝えるために、構成を考える。</li> <li>3 選んだ構成にそって文章を書く。</li> <li>4 構成や言葉づかいなどに注意して、推敲する。</li> <li>5 文章を読み合い、構成や表現の工夫について話し合う。</li> </ol> <p>※「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域では、教材冒頭右端の「学びの重点」で、学習内容が示されている。上段の「活動の流れにそって学ぼう」で学習の手順が示されている。</p>	<p>(3年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・批評文、意見文、鑑賞文、スピーチ原稿の完成例に活動のポイントをつけ、書き方の注意点が示されている。</li> </ul> <p>3年「広告を批評する」 テーマ：広告コピー (ワークシート・図表等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広告コピーの例2つ</li> <li>・批評の観点</li> <li>・批評文の例(400字程度)</li> <li>・活動のポイント</li> </ul>
<p>光村</p>	<p>◎話すこと (1年～3年) ・単元の始めに示されている。</p>	<p>◎話すこと・聞くこと・書くこと (1年～3年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「聞く」「話す」「書く」の学習に入る前に練習課題のページが設けてある。</li> <li>・「学習の窓」というくくりの中にわかりやすい表現をするためのポイントをまとめている。</li> <li>・「参考にしたい表現」のコーナーを設け、話すとき、聞くとき・書くときに役立つ表現をまとめている。</li> </ul> <p>◎話すこと (1年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチメモ、スピーチ例文、ポスターセッションの具体例が示されている。</li> <li>・話し合いの具体例を示し、そこに意見、根拠、前の人の発言を受け手の発言と色分けした線を引き、それぞれの発言ポイントが説明されている。</li> </ul>

<p style="text-align: center;">光村</p>	<p>◎書くこと (1年～3年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の始めに示されている。</li> </ul> <p>(3年) 批評文 学習の手順</p> <p>練習 観点を立てて分析する</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 (見つける・集める) 批評文について知る。</li> <li>2 (見つける・集める) 関心のある事柄を選ぶ。</li> <li>3 (深める・整理する) 観点を立てて分析する。</li> </ol>	<p>(2年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションの進行案(表), パネルディスカッションの具体例, 発表資料のカード記入例が示されている。</li> </ul> <p>(3年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチの具体例に色分けした線を引き, 望ましい表現が説明されている。</li> </ul> <p>◎書くこと (1年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校での学習に入るはじめとして, ノートの取り方, 調べ学習の仕方を解説したページを設けている。</li> <li>・わかりやすく説明するために, 集めた情報を整理するマッピング例が示されている。</li> <li>・レポートの具体例が各項目の意味と注意点を書き加えて示されている。</li> <li>・鑑賞文を書くための根拠を明確にする方法として, 付箋紙に書き出したものを表にして分類されている。</li> <li>・ポスターセッションで使用するポスターの具体例が書き方のポイントを加えて示されている。</li> </ul> <p>(2年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手紙文の書き方の具体例, 手紙文の構成についてそれぞれの役割が説明されている。(「前文」「主文」「末文」「後付け」)</li> </ul> <p>(3年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすい紙面構成の例として, 随筆を中心にしたものと紹介文を中心にしたものの例が示されている。(修学旅行記の編集)</li> <li>・批評文を書く題材として広告を取り上げ, それについて書いた批評文を使って書き方が説明されている。</li> </ul> <p>3年「説得力のある文章を書こう」 テーマ: 広告のキャッチコピー (ワークシート・図表等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広告</li> <li>・分析のための表</li> <li>・批評文例(800字)</li> <li>・テーマ例5つ</li> </ul>
---------------------------------------	--	---

<p>光村</p>	<p>4 (深める・整理する) 論理の展開を考える。</p> <p>5 (まとめる・表現する) 下書きをして文章にまとめる。</p> <p>6 (伝え合う・つなげる) 文章を読み合い、考えを深める。</p> <p>※「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域では、教材冒頭下段の「学習の見通しをもとう」で、学習の流れが示されている。「学習の窓」でポイントが示されている。</p>	<p>・ 広告例を別の角度から検証した例4つ</p> <p>・ 批評するときの言葉例26個</p>
-----------	--	---

【国語】

観点	内容の構成・配列・分量
視点	⑦単元や資料等の配列
方法	配列の特徴，総単元数，三領域一事項ごとの教材数及びページ数

発行者	調査・研究内容 配列の特徴，総単元数	本文のみの教材数とページ数				
			1 学年	2 学年	3 学年	計
東書	①本編，基礎編・資料編の3部からなる。 ②各単元は，「読むこと」を基本に「話すこと・聞くこと」「書くこと」「古典・言語事項」を取り合わせている。教材数は，指導時数に沿ってバランスよく配置されている。 ③古典教材は，第5単元に配列している。 ④総単元数…7 ※ 導入単元ではないが，折込「言葉の力」を探しに行こう」で学習の進め方が示され，「資料編」(1年)の「学習を始める前に」で，発言・発表の仕方，メモの取り方等が示されている。 ⑤「四季の言葉」がカラー刷りで配置 1年：旧暦の月明 2年：二十四節季 3年：旬の食材	話すこと	3(17)	3(15)	3(18)	9(50)
		書くこと	6(29)	6(30)	4(25)	16(84)
		読むこと	13(111)	13(112)	15(122)	41(345)
		古典	4(24)	3(28)	3(22)	44(142)
		言語事項	12(23)	11(21)	11(24)	
		計	38(204)	36(206)	36(211)	110(621)
【4年間の使用実績について】 「読むこと」教材に関連する「書くこと」教材や，「話すこと・聞くこと」教材と関連する「読むこと」教材を続けて設定するといった工夫があることで，既習事項を再確認させる効果があり，学習した内容やその使用方法を身に付けさせることができた。						
学図	①本編，「言語の学習」「日本文学の流れ」「口語・文語活用対照表」の4部からなる。 ②各単元は「読むこと」を基本に「話すこと・聞くこと」「書くこと」「古典・言語事項」を取り合わせている。教材数は，「話すこと」「書くこと」の領域が少ない。 ③古典教材は，第4単元に配列している。 ④総単元数…5 ⑤「読む」は選択教材がある。 ⑥「活動を考える」は前後の教材と関連付けて配置している。1年生導入単元として，詩，中学校国語での学習についてのコラムが示されている。単元の中にある「活動を考える」「表現に向かう読み」(コラム)が前後の教材と関連付けて配列されている。		1 学年	2 学年	3 学年	計
		話すこと	2(12)	2(15)	2(18)	6(45)
		書くこと	2(12)	2(23)	2(15)	6(50)
		読むこと	25(195)	26(183)	25(180)	76(558)
		古典	5(30)	5(26)	8(36)	49(177)
		言語事項	12(30)	11(30)	8(25)	
計	46(279)	46(277)	45(274)	137(830)		

	<p>⑦ どんな学びをしてほしいかを表現した文章を載せている。</p> <p>1年：あたらしい言葉の学びへ</p> <p>2年：確かで自由な言葉の使い手に</p> <p>3年：言葉をより深く理解するために</p>					
三省堂	<p>①本文、資料編の2部からなる。</p> <p>②各単元は「読むこと」を基本に「話すこと・聞くこと」「書くこと」「古典・言語事項」を取り合わせている。教材数は、「読むこと」の領域が少ない。</p> <p>③古典教材は、第3単元に配列している。</p> <p>④総単元数…7</p> <p>⑤「読み方を学ぼう」が配置されている。</p> <p>⑥1年生導入単元「新しい世界へ」では、詩、物語、スピーチが示されている。</p> <p>⑦「表現プラザ」として「話すこと・聞くこと」「書くこと」について、各学年ともに体験的な学習が配置されている。</p>		1学年	2学年	3学年	計
		話すこと	5(25)	4(16)	5(22)	14(63)
		書くこと	6(28)	5(16)	4(19)	15(63)
		読むこと	11(97)	11(115)	11(111)	33(323)
		古典	5(22)	4(30)	4(24)	63(139)
		言語事項	19(27)	17(20)	14(16)	
		計	46(199)	41(197)	38(192)	125(588)
教出	<p>①本編、資料編(「言葉と文法解説編」, 「漢字」「言葉の自習室」)の2部からなる。</p> <p>②各単元は「読むこと」を基本に「話すこと・聞くこと」「書くこと」「古典・言語事項」を取り合わせている。教材数は、指導時数に沿ってバランスよく配置されている。</p> <p>③古典教材は、第5単元に配列している。</p> <p>④総単元数…8(3年7)</p> <p>⑤1年生導入単元「言葉と出会う」として、小学校国語で学んだことの振り返りと中学校国語での学習について示されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・声を出そう</li> <li>・感想を伝え合おう</li> <li>・記録しよう</li> </ul>		1学年	2学年	3学年	計
		話すこと	4(11)	4(11)	4(14)	12(36)
		書くこと	5(15)	5(16)	5(11)	15(42)
		読むこと	10(124)	10(136)	12(137)	32(397)
		古典	3(24)	3(28)	3(28)	38(136)
		言語事項	9(17)	11(22)	9(17)	
		計	31(191)	33(213)	33(207)	97(611)

光村	<p>①本編,「文法」,「漢字に親しもう」,「学習を広げる」の4部からなる。</p> <p>②各単元は「読むこと」を基本に「話すこと・聞くこと」「書くこと」「古典・言語事項」を取り合わせている。教材数は,指導時数に沿ってバランスよく配置されている。</p> <p>③古典教材は,第5単元に配列している。</p> <p>④総単元数…7</p> <p>⑤「話すこと・聞くこと」と「書くこと」については「練習」が配置されている。</p> <p>⑥「読むこと」「言語事項」の言語活動として「書くこと」の設定もある。</p> <p>⑦1年生導入単元「言葉と出会うために」では,詩,音読・発表・記録等の解説が示されている。2年や3年では全学年の学びについて「いつも気をつけよう」で再確認する記述を載せている。(話すとき・聞くとき・話し合うとき・書くとき・文学的な文章を読むとき・説明的な文章を読むとき)</p>		1 学年	2 学年	3 学年	計
		話すこと	3(19)	3(17)	3(17)	9(53)
		書くこと	5(34)	5(27)	3(18)	13(79)
		読むこと	19(118)	22(126)	21(113)	62(357)
		古典	4(23)	5(22)	5(23)	39(148)
		言語事項	9(27)	9(28)	7(25)	
		計	40(221)	44(220)	39(196)	123(637)



【国語】

観点	内容の構成・配列・分量
視点	⑧発展的な学習の扱い方
方法	発展的な学習の示し方, 種類, 教材名及びページ数

発行者	調査・研究内容		
東書	<p>示し方</p> <p>○3年生の資料編に「伝統的な言語文化」の事項の「古典の文法」が2ページ示されている。</p> <p>●本編に単元を貫けるように配置し, 資料編で本編の文章を読み広げる作品を配置している。</p> <p>【読み広げ教材】</p>		
	学年	領域等	教材名
	1	文学的文章 説明的文章	「そこに僕はいた」 『常識』は変化する」
		伝統的な 言語文化	古事記, 土佐日記, 伊勢物語, 源氏物語, 方丈記, 御伽草子, 芭蕉・蕪村・一茶の句
	2	文学的文章 説明的文章	「カメレオン」 「白川郷一受け継がれる合掌造り」
伝統的な 言語文化		「清少納言と紫式部」 「漢詩の世界」 「古典芸能に親しもう」	
3	文学的文章 説明的文章	「風の唄」「知床一流氷を巡る循環」	
	伝統的な 言語文化	「恋の歌」「『おくのほそ道』の旅」	
学図	<p>示し方</p> <p>○全学年の「言語の学習」に「伝統的な言語文化」の事項の『「古典に親しむために」ー古典文法, 「今に伝わる注意したい古語」, 「口語・文語活用対照表」が10ページと折込で示されている。</p> <p>●読み比べや読み広げができるよう, すべての単元に同じ種類の教材が【選択】として配置してある。</p> <p>【読み広げ教材】</p>		
	学年	領域等	教材名
	1	文学的文章 説明的文章	「兄やん」「知識の樹木」「二十年後」 「シェークV.S. バナナースプリット」
		伝統的な 言語文化	なし
	2	文学的文章 説明的文章	「吟味された言葉」「父のようになりたくない」 「花いちもんめ」「プロセスの建築」
伝統的な 言語文化		なし	
3	文学的文章 説明的文章	「Water」「黒い雨」「夕空晴れて」 「武蔵野の風景」	
	伝統的な 言語文化	なし	

三省堂	示し方 ○古典に関する発展的な学習は示されていない。 ○教材末の「学びの道しるべ」にある「学びを広げよう」に、学習した内容を発展させ、書かせる課題を示されている。 ●読み広げる教材が「資料編」に示されている。 【読み広げ教材】		
	学年	領域等	
	1	文学的文章 説明的文章	「読む力を伸ばそう『注文の多い料理店』」
		伝統的な 言語文化	「落語 桃太郎」「古事記」
	2	文学的文章 説明的文章	「読む力を伸ばそう『水田のしくみを探る』」
		伝統的な 言語文化	「歌舞伎 外郎売」「枕草子」「徒然草」
3	文学的文章 説明的文章	「読む力を伸ばそう『クモはなぜ糸から落ちないのか』」	
	伝統的な 言語文化	「狂言 柿山伏」「近世の短詩 俳句・川柳・狂歌」	

教出	示し方 ○3年生の巻末の折り込みに文語文法活用表が示されている。 ●本編の教材を読み広げる教材を巻末の「言葉の自習室」と折込に配置している。 ●「学びのチャレンジ」に自分で考えたり、表現したりする課題が各学年7ページ示されている。 【読み広げ教材】		
	学年	領域等	
	1	文学的文章 説明的文章	「花の詩画集」「デューク」「風少年」「銀のしずく降る降る」
		伝統的な 言語文化	「蓬萊の玉の枝と偽りの苦心談ー竹取物語ー」 「小倉百人一首」「古典作品へのいざない(古事記・伊勢物語)」 「伝統芸能へのいざない(落語)」 「自己を知り、自己を深めるー受け継ぎ、伝える言葉」
	2	文学的文章 説明的文章	「季節をうたう」「字のない葉書」 「悠久の自然」
		伝統的な 言語文化	「扇の的ー平家物語ー」「古典随筆選ー枕草子・徒然草ー」 「古典へのいざない(方丈記・源氏物語)」 「伝統芸能へのいざない(歌舞伎)」 「他者を知り、ともに生きるー受け継ぎ、伝える言葉」
	3	文学的文章 説明的文章	「素顔同盟」「それはトンボの頭だった」「無名の人」 「語り継ぐもの」「言葉の力」
		伝統的な 言語文化	「古典作品へのいざない(古今和歌集・土佐日記)」 「伝統芸能へのいざない(狂言)」 「社会・自然に向き合うー受け継ぎ、伝える言葉」

光村	示し方 ○3年生の資料編に「文語の活用」が2ページ示されている。 ●本編に単元を貫けるように配置し、巻末の「学習を広げる」の資料で本編の文章を読み 広げる作品を配置している。 【読み広げ教材】		

学年	領域等	教材名
1	文学的文章	「坊っちゃん」
	説明的文章	「流氷と私たちの暮らし」
	伝統的な 言語文化	「言葉としぐさの伝統芸能－古典落語」
2	文学的文章	「ゼブラ」
	説明的文章	「五重塔はなぜ倒れないか」「新聞記事を比べる」
	伝統的な 言語文化	「古典の世界を広げる」 「古典芸能の世界－能・狂言」
3	文学的文章	「温かいスープ」「蟬の声」「アラスカとの出会い」
	説明的文章	
	伝統的な 言語文化	「古典芸能の世界－歌舞伎・浄瑠璃」 「古典・近代文学の名作」

【国語】

観点	内容の表現・表記
視点	⑨本文記述との関連付けがなされた図表等の活用
方法	本文と図表との関連について考えさせる教材名, 図表等の種類

発行者	調査・研究内容		
	教材名・学習目標	本文と図表との関連及び図表の種類 ・イメージ ○例示 ◎読解	
東書	1年	<p>『オオカミを見る目』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・段落の役割や段落どうしの関係に着目して文章の構成を捉え、内容を読み取る。</li> <li>・筆者の文章の書き方について、自分の考えを持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中世ヨーロッパで描かれたオオカミの絵</li> <li>○オオカミが描かれている絵馬の写真</li> <li>○明治時代の教科書の掲載された、オオカミに襲われる少年の絵</li> </ul> <p>【学習活動】</p> <p>本文内容の確認</p>
		<p>『スズメは本当に減っているか』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事実と筆者の考えとを読み分けながら、文章の展開を捉える。</li> <li>・文章の内容や、筆者のものの見方、考え方について、感想や考えを持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スズメの写真（3枚）</li> <li>◎スズメの各年の最大個体数の表</li> <li>◎スズメの各年の最大個体数の折れ線グラフ</li> <li>◎農業被害面積の推移を示す棒グラフと水稲田の作付面積の推移を示す折れ線グラフ</li> <li>◎スズメの繁殖可能性評価の変化の図</li> </ul> <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「てびき」において課題が設定されている。</li> <li>・図表と対応させて文章のまとまりを考える。</li> <li>・図から筆者がどのような事実を読み取り、どのような推測をしているかを整理する。</li> <li>・文章から分かることと図表から分かることを比較したり、図表どうしを比較したりして、図表それぞれの特徴や効果を説明する。図表の種類による違いにも着目する。</li> </ul>
		<p>『ニュースの見方を考えよう』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報への接し方と情報の用い方を身につける。</li> </ul>	<p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文に図表は示されていないが、「てびき」においてニュースを編集する課題が設定されており、それに関連した写真が9枚掲載されている。</li> <li>・「てびき」において、情報から受ける印象の違いについて考える設問が設定されており、ブログとウェブページの情報が示されている。</li> </ul>

東書	2年	『鯉節—世界に誇る伝統食』 ・文章全体と部分との関係や、筆者の書き方の工夫に注意して、内容を読み取る。 ・筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の考えを持つ。	・鯉節と鯉節削り器、乾鮑、干し肉の写真 ○鯉節の製法の絵 ・江戸時代の鯉節作りの絵 ○「和食」無形文化遺産登録の新聞記事 【学習活動】 本文内容の確認
		『哲学的思考のすすめ』 ・論の進め方を捉え、文章の内容を読み取る。 ・筆者の考えなどについて、知識や体験と関連づけて自分の考えを持つ。	なし
		『「正しい」言葉は信じられるか』 ・事実の述べ方による、読み手に与える印象の違いについて考える。	◎犬との猫の写真 ◎AとBの図形 【学習活動】 ・写真と図形を示し、その内容をどのように表現するかについて比較し、「正しい」表現について考えさせる。
	3年	『絶滅の意味』 ・論の進め方に着目して、筆者の主張を捉える。 ・人間社会と自然との関わりについて考え、自分の意見を持つ。	○トキとニホンカワウソの写真 ○絶滅のおそれがある日本の野生生物の例を示した表 ○絶滅のおそれがある日本の野生生物の種数の表 ・リョコウバトを狩る様子の絵 ○生態系の仕組みのイラスト ○日本の伝統色と関連する物の写真 ○日本の伝統的な模様 ○江戸時代の着物の模様の写真 【学習活動】 本文内容の確認
		『黄金の扇風機』 『サハラ砂漠の茶会』 ・文章を読み比べて、論の進め方や表現について評価する。 ・文章を読み比べて、文章の内容について自分の考えを持つ。	○金色の羽の扇風機の写真 ○金づくしとロココ趣味の品物が並ぶ写真 ・サハラ砂漠の写真 【学習活動】 本文内容の確認
		『いつものように新聞が届いた—メディアと東日本大震災』 ・情報の意義とメディアの役割について考えを深める。	○東日本大震災の写真（12枚） ○新聞記事（4枚） ・岩手県・宮城県の地図 【学習活動】 ・「てびき」において、東日本大震災の記

		憶や経験を「伝え続ける」ことの意義について筆者の考えを踏まえて話し合う課題が設定されており、自分の考えを想起させる手がかりとなる。	
学図	1年	『ものづくりに生きる』 ・社会の中の生を考える。 ・展開に即して要旨を捉える。	○グラインダー作業中の写真 ・カットグラスの写真（2枚） ・旋盤作業中の写真 【学習活動】 本文内容の確認
		『変わる動物園』 ・自然と関わる生を考える。 ・構成に即して主張を捉える。	○グリズリーベアの展示の写真 ○グラフィックの解説版の写真（2枚） ・サンザシ、ハタオリドリ、パタスザルの写真 ・ユキヒョウの写真 ○天王寺動物園のサインの写真 ○天王寺動物園のアフリカサバンナの写真 【学習活動】 本文内容の確認
		『片言を言うまで』 ・言葉と心の間隔を考える。 ・言葉と心の間隔から文章の主題を捉える。	・筆者の直筆スケッチ（2枚） ・唐子のイラスト 【学習活動】 本文内容の確認
	2年	『逃げることは、ほんとにひきょうか』 ・社会の絆を考える。 ・独自の意味を表す表現を捉える。	・一人の男の子とその周りに7人の生徒のイラスト
		『若者が文化を創造する』 ・文化とは何かを考える。 ・段落相互の関係を整理して読む。	・オオムラサキの写真 ○ヨメガカサを食べる子ザルの写真 ○海中でピーナッツを食べる子ザルの写真 【学習活動】 本文内容の確認
		『プロセスの建築』（選択） ・物を作るということを通じた社会との関わりについて考える。 ・体験を文章化する方法を捉える。	○ワッツタワーの写真 ○さまざまなものが貼り付けられているワッツタワーの写真 ○水御堂の写真 【学習活動】 本文内容の確認
3年	『ディズニーランドという聖地』 ・価値観の起源を考える。 ・論理の展開の仕方を捉える。	・19世紀末頃の中西部の家の写真 【学習活動】 本文内容の確認	

		<p>『運動会』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史に原因を求める方法について考える。</li> <li>・視点に着目して主張を捉える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明治30年頃の運動会の写真</li> <li>・2020年東京オリンピック開催決定を祝う都民集会の写真</li> </ul> <p>【学習活動】 本文内容の確認</p>
学図		<p>『武蔵野の風景—二次的な自然環境について』（選択）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史を踏まえた思考の深まりについて考える。</li> <li>・論理的表現の深め方を捉える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1953年頃の武蔵野の風景の写真</li> </ul> <p>【学習活動】 本文内容の確認</p>
三省堂	1年	<p>『クジラの飲み水』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・段落と段落の関係に着目しながら、文章の展開を捉え、内容を読み取る。</li> <li>・読み手にわかりやすく伝えるための、筆者の表現の工夫を捉える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シロナガスクジラの写真</li> </ul> <p>○ヒトの水分の対外への出方とその割合の円グラフ</p> <p>○いろいろな動物の体液に含まれる塩分の割合の棒グラフ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ザトウクジラの写真</li> </ul> <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びの道しるべ」の「学びをひろげよう」に、図表について考えさせる次のような選択課題が設定されている。</li> </ul> <p>(A) 写真やグラフが示されていることの効果について考える。</p> <p>(B) さらにわかりやすくするために、もう一つ写真や図表を入れるとしたら、どのようなものをどこに入れるか、考える。</p>
		<p>『食感のオノマトペ』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図表と文章との関係に注意しながら、事実とそれに基づく筆者の考えを読み分ける。</li> <li>・オノマトペの意味や効果について、自分の考えをもつ。</li> </ul>	<p>◎世代ごとの食感のオノマトペを使う人の割合の棒グラフ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女の子の周りに食べ物や花などのイラスト</li> </ul> <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びの道しるべ」において課題が設定されている。</li> <li>・グラフを見て、気づいたことや考えたことを箇条書きにする。</li> <li>・この文章において、グラフがどのような効果を果たしているか、本文との関連に注意して考える。</li> </ul>
		<p>『玄関扉』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章に示された事実と筆者の意見と理由を読み分けて、要旨を捉える。</li> <li>・玄関扉の例を中心に、文化の</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内開きのドアのイラスト</li> <li>・ポーチと戸当たりの図</li> </ul> <p>○ドアを押し合うイラスト</p> <p>○ドアを引き合うイラスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外開きのドアのイラスト</li> </ul>

		違いについて、自分の考えをもつ。	【学習活動】 本文内容の確認
		『この小さな地球の上で』 ・文章に出てくる語句の意味について、文脈にそって的確に捉える。 ・地球や人間に対する筆者の考え方を読み取り、自分のものの見方や考え方を広げる。	○ナスカ高原の地上絵の写真 ○イースター島の石の巨人像の写真 ・「火の鳥」の一場面 ・「ジャングル大帝」の一場面 ・宇宙から見た地球の写真 【学習活動】 本文内容の確認
三省堂	2年	『人間は他の星に住むことができるのか』 ・文章の全体と部分との関係に注目して読み、内容を理解する。 ・文章の構成について、根拠を明確にして自分の考えをまとめる。	・月から見た地球の写真 ・月面に降り立つ宇宙飛行士の写真 ・太陽系の惑星の絵 ・火星探査機フェニックスの想像図 【学習活動】 本文内容の確認
		『壁に残された伝言』 ・発見された事実について内容を読み取り、取材した筆者の思いを捉える。 ・「伝言」という表現に着目して、筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ。	○壁が剥がれて現れた「寮内」の文字の痕跡の写真 ○壁一面に書かれた伝言の一部の写真 ○チョークで書かれた跡が黒い文字として現れたメカニズムを示したイラスト ・「伝言文字」が書かれている壁の写真 【学習活動】 本文内容の確認
		『動物園でできること』 ・文章の全体と部分の関係や、例示の効果などに注意して、筆者の主張を読み取る。 ・筆者の動物園に対する考え方について、知識や体験と関連づけて自分の考えをもつ。	○旭山動物園のオランウータンの屋外展示施設の写真 ○17メートルの高さを異動するオスのオランウータンの写真 ・オランウータンの生息する地域が大規模農園になる様子の写真 ○飼育係がオランウータンの解説をする写真 ○「ペンギンの散歩」の写真 ○エゾシカの写真（2枚） 【学習活動】 ・「学びの道しるべ」の課題に関連している。 ・筆者はこの文章の中で、三つの展示方法を例示しているが、ここでの例示の効果を考える。



三省堂		<p>『達人のことば』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二つの文章を読み比べ、共通点と相違点を考えながら、内容を読み取る。</li> <li>・達人たちのことばに表れたものの見方を捉え、仕事や生き方について意見をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者、西岡常一の写真</li> <li>・台湾のヒノキの写真</li> <li>・法隆寺の棟梁に伝わる口伝の写真</li> <li>・薬師寺の写真</li> <li>○仏宮寺の五重塔、夢殿の写真</li> <li>・筆者、外尾悦郎の写真</li> <li>・サグラダ・ファミリアの写真</li> <li>・サグラダ・ファミリアで働く職人たちの写真</li> <li>・「ハーブを奏でる天使像」制作過程の写真</li> <li>○完成した「ハーブを奏でる天使像」の写真</li> <li>・制作中の筆者の写真</li> </ul> <p>【学習活動】</p> <p>本文内容の確認</p>
	3年	<p>『間の文化』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論理の展開の仕方に注意して、筆者の主張を読み取る。</li> <li>・事例の提示の仕方を捉え、日本と西洋の文化の違いについて自分の意見をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西洋の家、日本の家の写真</li> <li>○「源氏物語」絵巻</li> <li>・薔度と几帳のイラスト</li> <li>○オーケストラの写真とモーツァルトの楽譜</li> <li>○日本古来の音曲の写真と音曲を楽譜化したもの</li> <li>・「間」を生かした日本文化の例〔庭・屏風絵〕</li> </ul> <p>【学習活動】</p> <p>本文内容の確認</p>
		<p>『フロン規制の物語—〈杞憂〉と〈転ばぬ先の杖〉のはざままで』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の展開の仕方や、小見出しのつけ方などについて、その意図や効果を捉える。</li> <li>・「科学技術の発達」に対する筆者の見方・考え方を捉え、自分の考えを広げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主なフロンの生産量の推移を示した棒グラフ</li> <li>・シャーウッド＝ローランとマリオ＝モリーナの写真</li> <li>○大気の構造を示したイラスト</li> <li>○南極域のオゾン全量分布図</li> <li>・環境に関する国際会議の写真</li> </ul> <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びの道しるべ」の「学びをひろげよう」に図表に関連した課題が設定されている。</li> <li>・この文章では五つの図表が使われているが、次の四つの図表の中から、二つ選んでこの文章に加えるとしたらどれとどれを選ぶかを考え、さらに、入れる場所と入れ方、入れた場合の効果について話し合う。</li> </ul>

		<p>『情報社会を生きるーメディア・リテラシー』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章中における語句の効果的な使い方を捉える。</li> <li>・文章の構成や表現の仕方について読み取り，評価する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報道番組の制作過程の写真（4枚）</li> </ul> <p>【学習活動】</p> <p>本文内容の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びの道しるべ」の「学びをひろげよう」の選択課題として，二つの新聞記事の読み比べが設定されている。</li> </ul>
		<p>『「文殊の知恵」の時代』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の主張を捉え，身近な例や報道の例に目を向けながら内容を理解する。</li> <li>・文章を読んで，これからの社会について考え，自分の意見をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球の周りを飛ぶ鳥のイラスト</li> </ul>
教出	1年	<p>『笑顔という魔法』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・語句の意味や接続表現・文末表現をおさえ，筆者のものの見方や考え方を捉える。</li> <li>・「題名」と本文の内容，「問い」と「答え」の関係に着目して文章を読む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペンを縦，横にくわえたイラスト</li> <li>・笑顔の写真（6枚）</li> </ul> <p>【学習活動】</p> <p>本文内容の確認</p>
		<p>『電子レンジの発想』</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎測定器を通して見られるマイクロ波の形の図</li> <li>◎水の粒の形の図</li> </ul> <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「みちしるべ」に筆者の説明をもとに，電子レンジの加熱の仕方を図にまとめる課題が設定されている。</li> </ul>
		<p>『言葉のゆれを考える』</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎「ら抜き言葉」を使う割合の棒グラフ（4種類）</li> <li>◎「ら抜き言葉」の感じ方の割合の円グラフ</li> </ul> <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「みちしるべ」にグラフから読み取れることを確かめる課題が二題設定されている。（動詞によって「ら抜き言葉」が使われる程度が異なることについて，年代によって「ら抜き言葉」を使う割合に差があることについて）</li> </ul>
		<p>『花の形に秘められたふしぎ』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の考えとその根拠に注意して，文章の構成や展開を捉える。</li> <li>・筆者の説明の仕方に注意して</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花の写真</li> <li>◎花に訪れた昆虫の割合の棒グラフ</li> <li>○オオバスノキの花とマルハナバチの写真</li> <li>○オオバスノキの花の断面図</li> </ul>

教出		読み、文章の表現の仕方の工夫を捉える。	<p>○アキノキリンソウの花とハナアブの写真</p> <p>○アキノキリンソウの花の断面図</p> <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「みちしるべ」において課題が設定されている。</li> <li>・グラフを使って、花に集まる虫の「偏り」を具体的に説明する。</li> <li>・昆虫と花の形の多様さとの関係について、本文やグラフの数値を用いて説明する。</li> </ul>	
		<p>『言葉がつなぐ世界遺産』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者のものの見方や考え方を捉えると同時に、言葉のはたらきについての自分の考えをまとめる。</li> <li>・構成や展開に注意して読み、筆者のものの見方や考え方に迫るために、要約したり要旨を捉えたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日光周辺の略図</li> <li>○彩色が剥落した彫刻の写真（2枚）</li> <li>・東照宮の虎の彫刻の写真</li> <li>○虎の見取り図、その余白に記された文字の写真</li> <li>・様々な建築物や彫刻の見取り図の写真</li> <li>・立体的な彩色をしていく作者の写真</li> </ul> <p>【学習活動】</p> <p>本文内容の確認</p>	
	2年	<p>『日本の花火の楽しみ』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者のものの見方や考え方を捉え、「日本の花火の魅力」についてまとめる。</li> <li>・全体と部分との関係に着目して文章を読む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花火の写真</li> <li>○花火の構造のイラスト</li> <li>・花火とその芯を示した写真</li> <li>・新しい花火の例を示した写真</li> </ul> <p>【学習活動】</p> <p>本文内容の確認</p>	
		<p>『水の山 富士山』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富士山の恵みについて、筆者の考え方を捉え、自分の考えをまとめる。</li> <li>・取り上げている事例の提示の仕方と、問いと答えの関係を確かめながら読む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士山の写真</li> <li>・富嶽三十六景の富士山</li> <li>○富士山の内部の断面図</li> <li>○富士山の地表の溶岩流が流れた時期と場所の図</li> <li>・陣馬の滝の写真</li> <li>○白糸の滝や陣馬の滝での地下水の流れ方の図</li> <li>・洞窟の奥の様子と柿田川の写真</li> </ul> <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な数字や場所に注目して説明の特徴をまとめる。</li> </ul>	
		<p>『ガイアの知性』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然や知性に対する筆者の考え方について、自分の考えをまとめる。</li> <li>・文章の構成や展開、表現の仕方を確かめながら、筆者の考えの根拠を明確にして読む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クジラの写真</li> <li>・シャチの写真</li> <li>・ゾウの写真</li> </ul> <p>【学習活動】</p> <p>本文内容の確認</p>	

		<p>『学ぶ力』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者のものの見方や考え方を捉え、知識や体験と関連づけて自分の考えをまとめる。</li> <li>・文章全体と部分との関係や、例示などの効果を捉える。</li> </ul>	なし
教出	3年	<p>『「情報を編集するしかけーメディアにひそむ意図ー』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同一の新聞記事・テレビニュースの報道を比較する。</li> </ul>	<p>○皆既日食の写真4枚 ○新聞記事に使う写真3枚、地図1枚 ◎皆既日食を見ている人々の写真8枚 ◎地図 ◎新聞記事2枚</p> <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞記事の紙面を構成する。</li> <li>・テレビニュース作成のために絵コンテを組み立てる。</li> </ul>
		<p>『「新しい博物学」の時代』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者のものの見方や考え方をもとに、理科系と文化系の知識の関係について自分の意見をまとめる。</li> <li>・文章における論理の構成や展開、文脈における語句の効果的な使い方などを理解する。</li> </ul>	<p>○かに星雲の写真 ・「名月記」原文の写真 ・ハリー彗星の写真</p> <p>【学習活動】</p> <p>本文内容の確認</p>
		<p>『歴史は失われた過去か』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「歴史の記憶」の価値とはどのようなことか、筆者の考えに対する自分の意見をもつ。</li> <li>・事例の取り上げ方や述べ方の工夫を捉え、筆者の提起している課題を共有する。</li> </ul>	なし
		<p>『文化としての科学技術』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者は現代の「科学技術」をどのように捉えているのか、筆者の考えに対する自分の意見をもつ。</li> <li>・事例と主張の関係を捉え、筆者の提起している課題を共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精巧に作られた造花の写真</li> <li>・宇宙でリンゴの皮むきをする筆者の写真</li> <li>・人工物に囲まれた職場の写真</li> </ul> <p>【学習活動】</p> <p>本文内容の確認</p>
	1年	<p>『ダイコンは大きな根』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・段落の役割に着目しながら、文章の内容をとらえる。</li> <li>・筆者の説明のしかたの工夫について考える。</li> </ul>	<p>○ダイコンの構造を示したイラスト ○ダイコン・ジャガイモなどの野菜の写真(18種類)</p> <p>【学習活動】</p> <p>本文内容の確認</p>

光村		<p>『ちょっと立ち止まって』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・段落どうしの関係に着目して、文章の構成をとらえる。</li> <li>・筆者の考え方をもとに、自分のものの見方や考え方を広げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎「ルビンのつぼ」の図</li> <li>◎若い女性とおばあさんが見える図</li> <li>◎化粧台の前の女性とどくろが見える図</li> </ul> <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図の内容や筆者が本文に挙げている事例について確かめる。</li> </ul>
		<p>『シカの「落ち穂拾い」 ーフィールドノートの記録から』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・示されている事実と、筆者の考えとの関係を読み取る。</li> <li>・筆者の考えの述べ方や、図表の役割について自分の考えをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金華山の位置を示した地図</li> <li>○木の下に集まるシカの写真</li> <li>○筆者のフィールドノートの写真</li> <li>◎「落ち穂拾い」に出会う割合の変化を示した折れ線グラフ</li> <li>○「落ち穂拾い」の写真</li> <li>◎「落ち穂拾い」でシカが採食した植物の表</li> <li>◎イネ科の草の供給量の変化を示した折れ線グラフ</li> <li>◎「落ち穂拾い」で採食した食物とシカ本来の食物の栄養価を比較した表</li> <li>◎金華山のシカの体重の変化を示した折れ線グラフ</li> </ul> <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小見出しや図表の役割と効果について考える。</li> </ul>
		<p>『幻の魚は生きていた』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中心となる文に着目しながら、文章の要旨を捉える。</li> <li>・筆者の考えを基に、人間の生活と生き物や環境との関係について考えを深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田沢湖の写真</li> <li>○大正時代の漁獲日誌</li> <li>○田沢湖周辺の地図</li> <li>◎クニマスや黒いマス、ヒメマスの産卵時期と産卵場所を示した表</li> <li>・クニマスとクニマスの卵の写真</li> <li>・クニマスのえらと消化器官のイラスト</li> </ul> <p>【学習活動】</p> <p>本文内容の確認</p>
	2年	<p>『生物が記録する科学ーバイオロギングの可能性』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の構成や、事実と考えの示し方に着目して、説明のしかたの特徴を捉える。</li> <li>・説明されている内容を的確に捉え、ものの見方や考え方を広げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○エンペラーペンギンの写真</li> <li>・エンペラーペンギンの繁殖地の写真</li> <li>○記録計を取り付けられたエンペラーペンギンの写真</li> <li>・記録計の写真</li> <li>○ペンギンの背中に付けたカメラで撮影された映像の写真（3枚）</li> </ul> <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本論での説明の特徴を、事実と筆者の考えの示し方などに着目して考える。</li> <li>・南極マクマード基地の写真</li> </ul>

光村		<ul style="list-style-type: none"> <li>◎エンペラーペンギンの潜水深度と潜水時間の棒グラフ</li> <li>・ワシントン岬の写真</li> <li>○アデリーペンギンが水中に飛び込む様子と水中から飛び出す様子</li> <li>◎いっしょに潜水を繰り返すアデリーペンギン3羽の潜水行動を示したグラフ</li> <li>・ウェッデルアザラシの写真</li> </ul> <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本論での説明のしかたの特徴を、事実と筆者の考えの示し方などに着目して考える。</li> </ul>	
		<p>『モアイは語るー地球の未来』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の構成や論の展開に着目して、筆者の主張を捉える。</li> <li>・論説を読み、筆者のものの見方や考え方について自分の考えをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イースター島のモアイの写真</li> <li>・高さ20メートルのモアイの図</li> <li>・海を背にして立つモアイの写真</li> <li>・イースター島の地図</li> <li>・ヤシの花粉の顕微鏡写真</li> <li>・ボーリング調査中の写真</li> <li>・作りかけのモアイの写真</li> </ul> <p>【学習活動】</p> <p>本文内容の確認</p>
		<p>『君は「最後の晚餐」をしっているか』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・語句や表現の工夫に着目して、筆者のものの見方や考え方を読み取る。</li> <li>・筆者の絵画の見方について、自分の知識や体験と関連づけて考えをまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「最後の晚餐」の絵画</li> <li>・ルネサンス期に活躍した芸術家たちの代表作（「春」「モナ・リザ」「最後の審判」）</li> <li>・サンタ・マリア・デッレ・グラツィエ修道院の写真</li> <li>○レオナルドが描いた筋肉の解剖図</li> <li>○遠近法の消失点を示した絵画</li> <li>○絵が描かれた当時、食堂だった部屋の写真</li> </ul> <p>【学習活動】 本文内容の確認</p>
		<p>『科学はあなたの中にある』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章に述べられた事例と筆者の主張との関係を考えて、内容を読み深める。</li> <li>・筆者の「科学」に対する考え方について、知識や体験と結び付けて自分の考えをまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイケル・ファラデーの絵</li> <li>・クリスマスに行われた連続講演会の様子を描いた絵</li> <li>・ろうそくの明かりに照らされた顕微鏡・フラスコ等（18種類）のイラスト</li> </ul> <p>【学習活動】</p> <p>本文内容の確認</p>
	3年	<p>『月の起源を探る』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明の順序や図の使い方に着目して、内容を捉える。</li> <li>・筆者の科学的なものの見方や</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探査機から撮影した地球と月の写真</li> <li>○地球と月の図</li> <li>○地球と月の断面の図</li> <li>◎月の起源の古典的な三つの仮説のイラスト</li> </ul>

光村	<p>考え方について、自分の考えをもつ。</p>	<p>ト</p> <p>◎月の誕生にまつわる巨大衝突説のイラスト</p> <p>○シミュレーションを基にした月の起源の映像</p> <p>【学習活動】</p> <p>仮説を説明した文章と図を確かめる。</p>
	<p>『「批評」の言葉をためる』</p> <p>・「批評する言葉」についての筆者の考えを読み取り、自分の考えを深める。</p>	<p>・男の子と女の子が言葉のキャッチボールをするイラスト</p>
	<p>『作られた「物語」を超えて』</p> <p>・筆者の考えを表す語句や論理の展開に着目して、主張を捉える。</p> <p>・筆者のものの見方や考え方を踏まえて、人間、社会、自然などについて自分の考えをもつ。</p>	<p>・ゴリラの生息域を示した図</p> <p>・ゴリラの調査地の一つであるヴィルンガ火山群の写真</p> <p>○ドラミングをするオスのゴリラの写真</p> <p>・シルバーバックと子供たちの写真</p> <p>○子供のゴリラのドラミングの写真</p> <p>・群れで平和に暮らすゴリラの写真</p> <p>【学習活動】</p> <p>本文内容の確認</p>
	<p>『誰かの代わりに』</p> <p>・筆者のものの見方や考え方を捉え、これからの自分の生き方について考えよう。</p>	<p>・3本の木と3匹の鳥のイラスト</p> <p>・1本の木と1匹の鳥のイラスト</p>

【国語】

観点	言語活動の充実
視点	⑩言語活動の種類
方法	学習指導要領に示されている言語活動に関わる内容例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>◎「話すこと・聞くこと」及び「書くこと」において、学習指導要領に示されている言語活動例が全て掲載されている。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」</p> <p>1年 報告・紹介・・・「具体例を挙げて伝えよう 『ことわざ』スピーチ」 (身近な例を使ってスピーチ)</p> <p>質問・・・「会話が弾む質問をしよう」 (人物紹介)</p> <p>討論・・・「話し合いで理解を深めよう」(グループディスカッション) (好きな言葉の定義)</p> <p>2年 説明・質疑・・・「問題意識を持って聞こう」 (コンビニエンスストアの夜間営業)</p> <p>意見発表・・・「説得力のある提案をしよう」 (プレゼンテーション 実習見学などの体験をもとにクラスに提案)</p> <p>討論・・・「話し合いで問題を検討しよう」(リンクマップによる話し合い レジ袋の有料化について)</p> <p>3年 スピーチ・・・「場面に応じて話そう」(条件スピーチ ボランティアバンクの体験学習をPR)</p> <p>意見交流・・・「話し合いで問題を解決しよう」(チャート式討論 ファミリーレストランでの注意)</p> <p>○「書くこと」</p> <p>1年 鑑賞・・・「作品のよさを表現しよう」(歌の鑑賞文を入れたCDジャケットの作成)</p> <p>行事案内・報告・・・「学校新聞の記事を書こう」(読書アンケート結果報告) 「案内や報告の文章を書こう」(合唱祭)</p> <p>2年 詩歌・物語創作・・・「短歌のリズムで表現しよう」 (題材を見付けて短歌づくり)</p> <p>意見文・・・「反対意見を想定して書こう」(意見文 和食と洋食)</p> <p>手紙文・・・「依頼状やお礼状を書こう」(職場体験の依頼状)</p> <p>3年 批評文・・・「観察・分析して論じよう」(批評文 ポスターコンクールの審査)</p> <p>文章の編集・・・「編集して伝えよう」(『環境』のミニ雑誌)</p>
学図	<p>◎「話すこと・聞くこと」及び「書くこと」において、学習指導要領に示されている言語活動例が全て掲載されている。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」</p> <p>1年 報告・紹介・・・「お気に入りを紹介しよう」(紹介スピーチ)</p>



	<p>質問・・・「インタビューをしよう」(体験を聞き取る)</p> <p>対話・・・「見ることと読むこと 言葉のイメージ・絵のイメージ」 (文章から受けたイメージの違いを話し合う)</p> <p>2年 説明・質疑・・・「魅力を伝えよう 職場体験報告プレゼンテーション」 討論・・・「対立した立場で意見を深める ディベートによる討論」</p> <p>3年 スピーチ・・・「世界に届ける言葉 パブリック・スピーキング」 (キング牧師の意見文を演説原稿に書き換える)</p> <p>意見交流・・・「多様な意見の交差 グループ・パネルディスカッション」 (自動販売機の飲み物の容器について)</p> <p>○「書くこと」</p> <p>1年 鑑賞・図表を使った記録文・・・「私のブックデザイン」(作品を鑑賞し、ブックカバーを作る)</p> <p>行事案内・報告・・・「隠れた世界を知る」(身近な出来事を報道文で伝える)</p> <p>2年 詩歌・物語創作・・・「想像する言葉 物語・詩を作る」 (絵から物語・詩を作る)</p> <p>意見文・・・「意見文を書こう」(言葉遣いについての意見文)</p> <p>手紙文・・・「言葉で伝える 手紙とメール」</p> <p>3年 批評文・・・「批評する言葉 批評文を書く」(詩について)</p> <p>文章の編集・・・「あの日かもしれない エッセイを書く」 (中学校生活の年表)</p>
三省堂	<p>◎「話すこと・聞くこと」及び「書くこと」において、学習指導要領に示されている言語活動例が全て掲載されている。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」</p> <p>1年 報告・紹介・・・「聞き上手、話し上手になるために」(スピーチ実験)</p> <p>質問・・・「チームの力を引き出す」(テーマを決めて質問)</p> <p>討論・・・「論理で迫るか、感情に訴えるか」 (コマーシャル起用の登場人物についての討論ゲーム)</p> <p>2年 説明・質疑 意見発表・・・「資料や機器を効果的に活用する」 (海外に伝えたい日本の良さプレゼンテーション)</p> <p>討論・・・「異なる立場や考えを尊重して」 (地域に公共施設を作るパネルディスカッション)</p> <p>3年 スピーチ・・・「状況に応じて話す力を養う」(ブックトーク)</p> <p>意見交流・・・「問いをもとに語り合う」(ワールド・カフェ 地域活性化計画企画会議)</p> <p>○「書くこと」</p> <p>1年 鑑賞・・・「多角的な視点で作品を読み解く」(鑑賞文)</p> <p>図表を使った記録文・・・「1年間の自分とクラスを振り返って」(グループ新聞)</p> <p>行事案内・「目的や相手に応じて、情報を編集する」(行事案内リーフレット) (合唱コンクール案内)</p> <p>報告・・・「調べたことを整理して、わかりやすく」(鉛筆の始まりのレポート)</p>

	<p>2年 詩歌・物語創作・・・「読みたくなるしくみを工夫する」(創作文) 意見文・・・「推論と対話で考えを広げる」(人の行動について、その基になった考えや判断を推論し、対話によって考えを広げた結果を主張文にまとめる) 手紙文・・・「わかりやすく、心をこめて書く」(手紙)</p> <p>3年 批評文・・・「観察や分析をとおして、判断する」(学校や社会の出来事の中から課題を探し、分析したことを批評文にする) 文章の編集・・・「中学校生活を振り返って」(名言集を作る)</p>
<p>教出</p>	<p>◎「話すこと・聞くこと」及び「書くこと」において、学習指導要領に示されている言語活動例が全て掲載されている。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」</p> <p>1年 報告・・・「フリップを用いて報告する」(日常生活から話題を決め、資料を用意する 通学路安全マップ) 質問・・・「友達のスピーチを聞く」(必要に応じて質問する) 討論・・・「アイデアを出して話し合う」(日常生活の話題についての話し合い)</p> <p>2年 説明・・・「図表を用いて提案する」 (クラスで行うボランティア活動プレゼンテーション) 意見発表・質疑・・・「反対意見を想定して話すには」 討論・・・「役割を決めて討論する」 (地域を活性化するための方法をグループ討論)</p> <p>3年 スピーチ・・・「スピーチで学びを振り返る」(入学試験面接自己PR) スピーチ参考・・・「話を聞いて自分の表現に生かす」(講演を聞き、自分の表現に生かす) 意見交流・・・「課題を解決するために話し合う」 (持続可能な社会に向けて私たちができること)</p> <p>○「書くこと」</p> <p>1年 鑑賞・・・「芸術作品の鑑賞文を書く」(絵画の鑑賞文) 図表を使った記録文・報告・・・「図表を用いて報告する」(学校生活の中からテーマを決め、アンケート調査を行った結果をまとめて報告する) 行事案内・・・「行事などの案内文を書く」(合唱発表会の案内文)</p> <p>2年 詩歌・物語創作・・・「写真から物語を創作する」(物語の創作) 意見文・・・「四コマ漫画から意見文を書く」(手書きか活字か) 「意見文を読み合う」(立場を決めて意見文を書く) 手紙文・・・「お礼の手紙を書く」</p> <p>3年 批評文・・・「広告を批評する」(ペンの広告コピー) 文章の編集・・・「自分の作品集をつくる」(自己PR文)</p>
<p>光村</p>	<p>◎「話すこと・聞くこと」及び「書くこと」において、学習指導要領に示されている言語活動例が全て掲載されている。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」</p> <p>1年 報告・・・「1年間の学びを振り返ろう」(ポスターセッションをする) 紹介・・・「好きなもの」を紹介しよう(スピーチをする)</p>

光村	<p>質問・・・「情報を的確に聞き取る」(放送委員会からの連絡メモ)</p> <p>討論・・・「話題や方向を捉えて話し合おう」(グループディスカッション 学校図書館利用の活性化)</p> <p>2年 意見発表・・・「魅力的な提案をしよう」(プレゼンテーション おすすめ散策コース)</p> <p>説明・質疑・・・「相手の考えを踏まえて発言する」 (職場体験訪問の電話・メモ)</p> <p>討論・・・「話し合って考えを広げよう」(パネルディスカッション 日本の魅力)</p> <p>3年 スピーチ・・・「社会との関わりを伝えよう」(スピーチ) (自分の体験や知識を整理し, 相手や目的に応じたスピーチ)</p> <p>意見交流・・・「話し合って提案をまとめよう」(課題解決に向けて会議を開く お年寄りとの交流を深めるために私たちができること)</p>
	<p>○「書くこと」</p> <p>1年 鑑賞・・・「根拠を明確にして魅力を伝えよう」(芸術作品の鑑賞文)</p> <p>図表を使った記録文・・・「記録のしかたを工夫する」</p> <p>行事案内・・・「わかりやすい案内文を書く」(体育祭のご案内)</p> <p>報告・・・「調べたことを報告しよう」(レポート)</p> <p>2年 詩歌・物語創作・・・「短歌を創作しよう」「表現の仕方を工夫して書こう」(「ある日の自分」の物語を書く)</p> <p>意見文・・・「根拠を明確にして意見を書こう」(社会生活の中から課題を決め 情報を集めて意見を書く)</p> <p>手紙文・・・「気持ちを込めて書こう」(職場体験のお礼状)</p> <p>3年 批評文・・・「説得力のある文章を書こう」(広告批評, 社会生活の中から関心のある事柄を決め, 観点を立てて分析し表現する)</p> <p>文章の編集・・・「魅力的な紙面を作ろう」(修学旅行記の編集)</p>

【国語】

観点	言語活動の充実
視点	⑪学校図書館機能の活用
方法	読書単元名, 紹介されている書籍数及び学校図書館の利活用・情報活用に関わる活動内容例

発行者	調査・研究内容		
	読書単元名, 教材名, 書籍数	学校図書館の利活用・情報活用	
東書	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「読書への招待」を3か所設け, 『碑』『集まって住む』『トロッコ』などの本文を掲載。</li> <li>○(読書案内)               <ul style="list-style-type: none"> <li>「本で世界を広げよう」(戦争・平和) (暮らし・文化)</li> <li>「日本の名作を読もう」</li> <li>「本の世界を楽しもう」</li> </ul> </li> <li>○資料編「読書活動を楽しもう」               <ul style="list-style-type: none"> <li>読書カードを作ろう</li> <li>本紹介のポスターを作ろう</li> <li>「本と出会おう」</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元名 表現を考える「ニュースの見方」を考えよう</li> <li>・「学校新聞の記事を書こう」などで情報活用について関連する文章が掲載されている。</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「読書への招待」を3か所設け, 『小さな労働者』『歴史の物差しー水月湖の年縞』『坊っちゃん』の本文掲載</li> <li>○(読書案内)               <ul style="list-style-type: none"> <li>「本で世界を広げよう」(人権) (科学・歴史)</li> <li>「日本の名作を読もう」</li> <li>「本の世界を楽しもう」</li> </ul> </li> <li>○資料編「読書活動を楽しもう」               <ul style="list-style-type: none"> <li>本の広告カードを作ろう, ミニ読書会</li> <li>「本と出会おう」</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「情報の調べ方」(本やインターネット, 新聞で情報を効果的に調べる)</li> <li>「国語辞典の引き方」「漢和辞典の引き方」「著作権と引用」「読書活動を楽しもう」(読書カード, ポスター)</li> <li>「学びの扉2 テーマをたてて説明する」「調べて考えたことをまとめよう」において, 図書館の活用・情報のまとめ方が掲載されている。</li> </ul>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「読書への招待」を3か所設け, 『落語の秘密』『何のために「働く」のか』『最後の一句』の本文掲載</li> <li>○(読書案内)               <ul style="list-style-type: none"> <li>「本で世界を広げよう」(日本文化) (現代社会)</li> <li>「日本の名作を読もう」</li> <li>「本の世界を楽しもう」</li> </ul> </li> <li>○資料編「読書活動を楽しもう」               <ul style="list-style-type: none"> <li>ビブリオバトルをしよう, 読書生活を振り返る</li> <li>「本と出会おう」</li> </ul> </li> </ul>	

東書

- 各学年教材の終わりに「読書案内」のコーナーを設け、関連図書を写真で紹介している。
  - 各学年3か所に読書の学習材「読書への招待」を設け、それを起点にテーマ別に読書案内をしている。続く「読書案内」で関連するテーマの本を表紙写真と共に紹介している。
  - 各学年（読書案内）「日本の名作を読もう」「本の世界を楽しもう」において、テーマ別に本の表紙と解説をカラーで紹介している。
  - 読書に関する言語活動が各学年に複数示されている。
- 紹介されている書籍数

学年	本編	資料編	計
1	79	28	107
2	76	26	102
3	70	26	96

学年	学校図書館の利活用・情報活用
1	資料編 「読書活動を楽しもう」(読書カード, ポスター) 「著作権と引用」(著作権・引用についての理解) 「ニュースの見方を考えよう」 「学校新聞の記事を書こう」 資料編 ・情報の調べ方(本やインターネット, 新聞を使い, 情報を効果的に調べる)
2	「読書活動を楽しもう」(本の広告カード, ミニ読書会) 『正しい』言葉は信じられるか 「タウン誌の記事を推敲しよう」
3	「読書活動を楽しもう」(ビブリオバトル, 読書生活をふり返ろう) 「いつものように新聞が届いた」

【4年間の使用実績について】

各学年、教材のテーマに応じた読書案内が設定されており、並行読書の本として紹介することで、本に親しむ機会を多くつくることができた。また各学年、資料編において、「本紹介のポスターを作ろう」や「ミニ読書会を開こう」などの取組が紹介されており、その実践を行うことで、読書体験を共有することができた。

学図	1	○読書1『木霊』読書2『イマジン』(抄) 『ストロベリーフィールズの風に吹かれながら』『言葉のいのち』 ○「私のブックデザイン」で本の帯とブックカバーを製作する。 ○古典読書「絵巻を読む」
----	---	---

学図		○資料編													
	2	○読書1「坊っちゃん」読書2「宇宙が叫ぶー梵鐘・歓喜」「過去を超える回想のカー井上靖・歴史小説の世界 孔子 利休の死」 ○古典読書「古典芸能に見られる古典解釈」													
		○資料編													
	3	○読書1「少年」読書2「パールハーバーの授業」「顔の見える国際協力」 ○古典読書「先人の達成と共に一本歌取りなど」													
	<p>○各学年教材の終わりに「読書に広げるために」を設け、並行読書・発展読書のきっかけとなるような関連図書書名と著者をカラーで紹介している。</p> <p>○教材全ての最後に「学びの窓」「ついた力を確かめよう」を設け、読書活動による交流を促すことを目標に、読書単元の手引を作成している。</p> <p>○各学年に古典読書という教材がある。</p> <p>○読書単元「読書1」「読書2」が各学年2つ示され、単元末の「読書案内」でテーマに基づき本の表紙、題名、作者名、感想文が紹介されている。</p>														
	<p>紹介されている書籍数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>本編</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>36</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>36</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>27</td> <td>27</td> </tr> </tbody> </table>			年	本編	計	1	36	36	2	36	36	3	27	27
年	本編	計													
1	36	36													
2	36	36													
3	27	27													
学図															
	学年	学校図書館の利活用・情報活用													
	1	「私のブックデザイン」(本の帯、ブックカバー作品展)													
		「発想をひらく・情報を集める」 「見ることと読むこと」													
	2	なし													
		「情報を読む・世界を編集する」 「言葉で伝える 手紙とメール」													
	3	なし													
		「情報を自分のものとするために」 「言葉による発見」													

三省堂	1	○読書「字のない葉書」 ○読書活動『読書郵便』を楽しもう ・「芥川龍之介の世界」																	
		○資料編 読書の広場 読書ガイダンス 小さな図書館で48冊紹介	読書ガイダンス ・「情報探しのヒント」(インターネットで探す)(図書館で探す) ・「情報活用のヒント」(引用)																
	2	○読書 講演録「見えないチカラとキセキ」 ○本の帯・ポップ作り ・「太宰治の世界」																	
		○資料編 読書の広場 読書ガイダンス 小さな図書館で48冊紹介	読書ガイダンス ・「情報探しのヒント」(インターネットで探す)(図書館で探す) ・「情報活用のヒント」「引用」																
	3	○読書 小説「花や咲く咲く」 ○ブックトーク ・「夏目漱石の世界」																	
		○資料編 読書の広場 読書ガイダンス 小さな図書館で48冊紹介	○読書の広場 ・「情報探しのヒント」 (インターネットで探す)(図書館で探す) ・「情報活用のヒント」(引用)																
<p>○各学年教材の終わりに「私の本棚」を設け、関連図書の題名・著者名・表紙をカラーで紹介している。</p> <p>○各学年1つ読書活動を設定している。</p> <p>○各学年の資料編に、「読書の広場」を設定し、テーマ別に読書ガイダンスが掲載されていて、幅広い読書への誘いと、学校図書館の使い方や情報活用について触れている。</p> <p>○各学年近代文学の読書へと誘うコラムを設けている。</p> <p>紹介されている書籍数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>本編</th> <th>資料編</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>47</td> <td>48</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>50</td> <td>48</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>48</td> <td>48</td> <td>96</td> </tr> </tbody> </table> <p>本文掲載教材 1年生「字のない葉書」 2年生 講演録「見えないチカラとキセキ」 3年生「花や咲く咲く」</p>				年	本編	資料編	計	1	47	48	95	2	50	48	98	3	48	48	96
年	本編	資料編	計																
1	47	48	95																
2	50	48	98																
3	48	48	96																

三省堂	学年	学校図書館の利活用・情報活用	
	1	「読書郵便」を楽しもう（読書郵便，読書記録） 「食感のオノマトペ」 「目的や相手に応じて情報を編集する」	
	2	「本の帯・ポップづくり」（本の帯，ポップ） 「人間は他の星に住むことができるのか」 「資料や機器を効果的に活用する」	
	3	「状況に応じて話す力を養う」（ブックトーク，ビブリオバトル） 「情報社会を生きる－メディア・リテラシー」 「観察や分析をとおして，判断する」	
	全	（資料編） 「読書ガイダンス」 「情報探しのヒント」（十進分類法，インターネット検索の注意点） 「情報活用のヒント」（引用，著作権）	
教出	1	○世界をひらく 読書「ベンチ」 古典と出会う「蜘蛛の糸」 ○「本の世界へ」でカラーで紹介 ○教材の終わりに「読んでみよう」を 設け，関連図書の紹介「2・3年生 も同じ」	
		○資料編「一年生のための読書案内」	○言葉の自習室 「本の構造」
	2	○自己をひらく 読書「夢を跳ぶ」 ○伝統を見出す 読書「坊っちゃん」	
		○資料編 二年生のための読書案内	○言葉の自習室 「図書館で本を探そう」
	3	○歴史をひらく 読書「無言館の青春」 ○文化をつなぐ 読書「最後の一句」	
	○資料編 三年生のための読書案内	○言葉の自習室 「引用の仕方」	
○「読書」で読み物教材を各学年二つ設定している。 ○教材の終わりに「読んでみよう」を設け，書名・著者名・解説・表紙をカラーで関連図書を紹介している。 ○資料編に学校図書館の使い方や情報活用に関わる資料方法が掲載されている。 ○3学年で260冊の本を紹介している。テーマ別に読書単元が示されている。 ○単元末には読書に関わる学習活動，「読んでみよう」「本の世界へ」で，関連図書が示されている。資料編「○年生のための読書案内」で，テーマ別に関連図書が示されている。			



教出	紹介されている書籍数			
	年	本編	資料編	計
	1	67	20	87
	2	65	20	85
	3	68	20	88
	学年	学校図書館の利活用・情報活用		
	1	「ベンチ」(本の帯, ポップ) 「本の構造」 「メディア 写真と言葉が生み出す世界-メディアリテラシー入門」 資料編 「メディアと情報」「瞬間を切り取る」		
	2	「夢を跳ぶ」(調べてレポート) 「図書館で本を探そう」日本十進分類法 「メディア 物語を読み解く -メディアの解釈-」 資料編「インターネット利用上の注意点」「3つのCと3つのS」		
	3	「無言館の青春」(読書記録, ビブリオバトル) 「引用の仕方」 「メディア 情報を編集するしかけ-メディアにひそむ意図-」 資料編 「見つめる新聞広告」「江戸時代のメディア戦略」		
光村	1	○読書生活を豊かに 「光る地平線」「私が選んだこの一冊」読書紹介をしよう ○読書に親しむ 「桜守三代」 ・読書案内 「本の世界を広げよう」 ・読書コラム 本との出会い ○教材の終わりに「広がる読書」を設け、関連図書を紹介「2・3年も同じ」	・「調べる」[辞典・事典・インターネット・図書館] ・「情報の集め方を知ろう」	
			○資料編 資料の工夫 ○言葉に出会うために 「調べる」	

光村	2	<p>○読書生活を豊かに 「世界で一番の贈り物」「二年一組のお薦め35冊」読書案内を作ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書案内 「本の世界をひろげよう」</li> <li>・読書コラム 「たまには、少し変わった本を」</li> </ul> <p>○読書に親しむ 「小さな町のラジオ発——臨時災害放送局『りんごラジオ』」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書案内 「本の世界を広げよう」</li> <li>・読書コラム ホントの出会い</li> </ul>	<p>「多様な方法で情報を集めよう」 職業ガイドを作る 情報コラム 著作権について知る</p>																
		<p>○資料編 郷土ゆかりの作家・作品 2ページ</p>																	
	3	<p>○読書生活を豊かに 「高瀬舟」 「未来の私にお薦めの本」読書生活をデザインしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書案内 「本の世界を広げよう」</li> <li>・読書コラム 「ためになるってどんなこと？」</li> </ul> <p>○読書に親しむ 「エルサルバドルの少女 ヘスース」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書コラム「読書記録をつける」</li> <li>・読書案内 「本の世界を広げよう」</li> </ul>	<p>「調べたことを報告しよう」 レポートにまとめる 5ページ</p>																
	<p>○「読書案内」で夏休み前は物語・小説を中心に、冬休み前はノンフィクションを中心に作品を配置している。</p> <p>○著名人からのメッセージを読書コラム（宮崎駿ら）で紹介している。</p> <p>○「読むこと」の各教材では、「広がる読書」として、教材のテーマや著者に関連して本を紹介している。</p> <p>○近代文学に親しみが持てるように作家の生涯を写真などと共に紹介している。</p> <p>○読書単元「読書生活を豊かに」「読書に親しむ」を設け、各学年2つ示し、単元の中では『私が選んだこの一冊』読書紹介をしよう』などの読書活動の学習が示されている。</p> <p>紹介されている書籍数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>本編</th> <th>学習を広げる</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>83</td> <td>0</td> <td>83</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>82</td> <td>0</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>78</td> <td>0</td> <td>78</td> </tr> </tbody> </table>		年	本編	学習を広げる	計	1	83	0	83	2	82	0	82	3	78	0	78	
年	本編	学習を広げる	計																
1	83	0	83																
2	82	0	82																
3	78	0	78																

令和元年 7 月 3 / 日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員会

種目 書 字

代表者 呉市立警国屋中学校

氏名 坂井 峰子

呉市教科用図書調査・研究報告書について（報告）

このことについては、別添のとおりです。

と

【書写】

観点	基礎・基本の定着
視点	① 単元・教材の目標の示し方
方法	単元・教材ごとの目標の示し方

発行者	調査・研究内容
東書	<p>単元目標、教材目標・数について</p> <p>1年 小学校で学習したことを生かし、楷書や行書の書き方を理解して書く</p> <p>1 楷書 書きやすく読みやすい文字のために</p> <p>1 点画の書き方と字形 点画の書き方と字形の整え方を確かめよう。</p> <p>2 楷書に調和する仮名 仮名の筆使いや字形を確かめよう。</p> <p>3 配列 行の整え方や文字の大きさを確かめよう。</p> <p>4 配列 行の整え方や文字の大きさを確かめよう。</p> <p>◇ 目標を書こう 字形や文字の大きさ、字間や行間を確かめて書こう。</p> <p>2 行書 速く書いても読みやすい文字のために</p> <p>1 行書の基本的な書き方 行書の動きのパターンと形の特徴を理解しよう。</p> <p>2 点画の連続と省略 点画の連続や省略に気をつけて行書を書こう。</p> <p>◇ 年賀状を書こう 文字の大きさや配列に気をつけて書こう。</p> <p>3 生活を豊かにする文字</p> <p>○ 職場訪問をしよう 学習したことを、これからの日常生活に生かそう。</p> <p>2年 行書と行書に調和する仮名を理解し、目的や必要に応じて書く</p> <p>1 行書 速く書いても読みやすい文字のために</p> <p>1 形や方向の変化 点画の形や方向の変化に気をつけて書こう。</p> <p>2 点画の連続と筆順の変化 点画の連続や筆順の変化に気をつけて書こう。</p> <p>2 行書と仮名 速く書いても読みやすい文字のために</p> <p>1 行書に調和する仮名 行書に調和する仮名の筆使いや字形に気をつけて書こう。</p> <p>2 行書と仮名の調和 行書と平仮名の調和に気をつけて書こう。</p> <p>3 配列 配列を整えて書こう。</p> <p>◇ 好きな言葉を書こう 全体の調和を考え、配列を整えて書こう。</p> <p>3 楷書と行書 目的や必要に応じて</p> <p>1 楷書と行書の使い分け 目的や場面に応じて楷書と行書を使い分けよう。</p> <p>2 配列 配列を確かめよう。</p> <p>4 生活を豊かにする文字</p> <p>○ 防災訓練に参加しよう 学習したことを日常生活に広げよう。</p> <p>3年 多様な文字文化を知り、効果的に書く</p> <p>1 身近にある文字を調べよう</p> <p>1 多様な文字 身近にある多様な文字について考えよう。</p> <p>2 効果的に書こう</p> <p>1 ノートに書くときに 情報をわかりやすく整理して書こう。</p> <p>2 絵はがきや電子メールを出すときに 場面や相手に応じた文字の使い分けについて考えよう。</p> <p>3 ポスターを作るときに 効果的な表現について考えよう。</p> <p>3 生活を豊かにする文字</p> <p>1 文化祭や卒業に向けて 学習したことを日常生活に生かそう。</p>

	<p>*学年ごとに単元が示され、1～3年生の総単元数は10である。単元目標は、目次に「楷書 書きやすく読みやすい文字のために」等のように示されている。ページ右端に学年カラーを背景に単元名、その下に各教材名、「目標」マークの下に教材目標（1年9、2年9、3年4）が示されている。教材目標は、「～の整え方を確かめよう」等の呼びかけの形で示されている。毛筆の手本（見開き縦置き、左ページ1ページ）の上部、または右端に「書くときのポイント」が示されている。</p> <p>【使用実績に関すること】</p> <p>右ページ右端に色の帯があり、そこに項目、学習内容、目標が示されていることで、学習活動と目標を関連付けることができ、常に目標を意識して学習に取り組ませることができた。</p>
学図	<p>1年</p> <p>1 楷書を書こう  字形を整えて書こう 文字の形と部分に注意しよう  筆順に注意しよう。  硬筆で書いてみよう 毛筆の学習を生かして、字形を整えて書こう。  毛筆の学習を生かして、筆順に気をつけて書こう。</p> <p>2 楷書と仮名を書こう  仮名の特徴を理解して書こう 楷書に調和する仮名を書こう  楷書と仮名を調和させよう  楷書に調和する仮名  硬筆で書いてみよう 毛筆の学習を生かして、楷書と仮名を書こう。</p> <p>3 行書を書こう  行書の特徴を理解して書こう 点画の連続と変化に注意しよう  点画の省略と、筆順の変化に注意しよう  硬筆で書いてみよう  毛筆の学習を生かし、点画の連続や変化に注意して書こう。  毛筆の学習を生かし、点画の省略と筆順の変化に注意して書こう。</p> <p>書き初めをしよう 楷書 字形を整える 楷書と仮名の調和  行書 点画の連続・変化 点画の省略・筆順の変化</p> <p>2年</p> <p>4 楷書を復習しよう  字形を整える おさらいしよう  楷書と仮名を調和させる おさらいしよう  硬筆で書いてみよう 毛筆の学習を生かして、文学作品を書いてみよう。</p> <p>5 行書を深めよう  行書の特徴を理解する おさらいしよう  硬筆で書いてみよう 毛筆の学習を生かして、様々な行書体を練習しよう。</p> <p>6 行書と仮名を書こう  楷書に調和する仮名との違いに注意して書こう  行書に調和する仮名  硬筆で書いてみよう 毛筆の学習を生かして、行書と仮名を書こう。</p> <p>書き初めをしよう 楷書 字形を整える  行書 点画の連続・変化 点画の省略・筆順の変化 行書と仮名の調和</p> <p>3年</p> <p>7 書写を生かそう</p>

	<p>今までに学習したことを振り返ろう 楷書・行書の総復習          書写を生活に生かそう いろいろな筆記具を活用しよう          作品を作ろう これまでの学習を生かして効果的に書こう          書き初めをしよう 楷書 字形を整える 楷書と仮名の調和          行書 点画の連続・変化 点画の省略・筆順の変化 行書と仮名の調和</p> <p>*全学年を通した単元が示され、1～3年生の総単元数は7である。学習のねらいが単元名になっている。各教材も各課題の横に、「楷書を書こう」等のように「～しよう」という形で示されている。「目標」という文字は使っていないが毛筆マークや鉛筆マークがあり、「～に注意しよう」等のように呼びかけの形で教材目標（1年13, 2年12, 3年5）が示されている。</p>
三省堂	<p>1年</p> <p>1 楷書で書こう 文字や文・文章の整え方を理解して書く。          (1) 文字の整え方を確かめよう          (2) 筆使いを確かめよう          (3) 点画の組み立て方を確かめよう          (4) 部分の組み立て方を確かめよう          (5) 学習のまとめ          (6) 仮名の字形と筆使いを確かめよう          (7) 文や文章の整え方を確かめよう          (8) 学習のまとめ</p> <p>2 生活に生かそう 今まで学習してきたことを生かして書く。          行事の目標を書こう</p> <p>3 行書で書こう 行書の基礎的な特徴を理解して書く。          (1) 行書の特徴を見つけよう          (2) 連続・丸みを確かめながら書こう          (3) 点画の変化を確かめながら書こう          (4) 学習のまとめ</p> <p>4 生活に生かそう 今まで学習してきたことを生かして書く。          本を紹介しよう</p> <p>2年</p> <p>5 行書を使いこなそう 行書の特徴を理解して、文字や文・文章を書く。          (1) 行書の特徴と筆使いを確かめよう          (2) 省略・筆順の変化を確かめながら書こう          (3) 学習のまとめ          (4) 行書に調和する仮名の特徴を見つけよう          (5) 文や文章の整え方を確かめよう          (6) 学習のまとめ</p> <p>6 生活に生かそう 今まで学習してきたことを生かして書く。          手紙を書こう</p> <p>7 書体を使い分けよう 場面に応じて、楷書か行書を選択して書く。          (1) 生活の場面と書体について考えよう          (2) 学習のまとめ</p> <p>8 生活に生かそう 中学校2年間の学習を生かして書く。          座右の銘を書こう</p>

	<p>3年</p> <p>9 効果的に書こう 身のまわりの文字に関心を持ち、効果的に書く。  (1) 身の回りの文字の工夫を見つけよう  (2) 学習のまとめ</p> <p>10 生活に生かそう 中学校3年間の学習を生かして書く。  卒業記念冊子を作ろう</p> <p>*全学年を通した単元が示され、1～3年生の総単元数は10である。ページの右端、単元名の下、赤字の「目標」の下に単元目標が「楷書で書こう」等という呼びかけの形で書かれている。各単元の各教材名も「～しよう」となっていて、学習のねらい(1年14, 2年10, 3年3)を明示している。毛筆の手本は、見開きの左ページ、右ページに教材目標や練習等が示されている。</p>
<p>教出</p>	<p>1年</p> <p>1 楷書で書こう  ② 筆使い—基本点画—  ②筆使いと字形「天地」 中心線や補助線を書いて、字形を確認しよう。  ③学習を生かして書く—一字形, 筆順—  字形の整え方と筆順のきまりを理解して書こう。</p> <p>2 楷書と仮名を調和させて書こう  ①筆脈「いろは歌」 筆脈と配列を理解して書こう。  ②楷書に調和する仮名「いろは歌」楷書に調和する仮名の筆使いを確かめよう  ③学習を生かして書く—一行の中心—  漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書こう。  ④学習を生かして書く—配列—  漢字と仮名の大きさや配列を理解して、さまざまな形式に合わせて書こう。  ⑤学校生活に生かして書く  伝える相手や目的を明確にして、配列と筆記具を工夫して書こう。</p> <p>3 行書で書いてみよう  ①行書学習のはじめに  ②楷書と行書の違い「和」  ③行書の筆使い「大」  ④点画の連続と変化1「大木」 点画の連続と形の変化を理解して書こう。  ⑤点画の連続と変化2「栄光」 点画の連続と変化を理解して書こう。  ⑥点画の連続と省略「平和」 点画の連続と省略を理解して書こう。  ⑦学習を生かして書く—行書の特徴—  これまでで学習してきた行書の特徴を振り返ろう  ⑧学習を生かして書く—配列—  行の中心や文字の大きさを理解して、行書で書いてみよう。  書き初めを書く 文字の大きさや字間, 行の中心などを理解して、配列よく書こう。</p> <p>2年</p> <p>1 行書で書こう  ①点画の連続と省略1「初志」 点画の連続と省略を理解して書こう。  ②点画の連続と省略2「雲海」 点画の連続と省略を理解して書こう。  ③点画の省略と筆順の変化「開花」点画の連続と筆順の変化を理解して書こう。</p>

<p>教出</p>	<p>④学習を生かして書く—行書の特徴—  これまで学習してきた行書の特徴を振り返ろう。</p> <p>2 行書と仮名を調和させて書いてみよう</p> <p>①行書と仮名の調和「喜びの声」 点画の連続と配列を理解して書こう。  ②行書に調和する仮名「いろは歌」行書に調和する仮名の筆使いを確かめよう。  ③文字の大きさと配列 文字の大きさや配列を理解して書こう。  ④書く速さを意識して書く「走れメロス」  行書の学習を生かして、書く速さを意識しよう。</p> <p>⑤学習を生かして書く—行書と仮名の調和と配列—  行書と仮名の調和や配列を理解して書こう。</p> <p>3 学習活動や日常生活に生かして書こう</p> <p>①さまざまな書く場面  書写の学習で身につけた力を、学習活動や日常生活に生かして書こう。</p> <p>②学習を生かして書く  目的や必要に応じて、効果的に伝える工夫を考えよう。</p> <p>書き初めを書く 行書の特徴や配列を理解して書こう。</p> <p>3年</p> <p>1 行書を深めよう</p> <p>①点画の変化と連続「創造」 点画の変化と連続を理解して書こう。</p> <p>2 行書と仮名を調和させて書こう</p> <p>①行書と仮名の調和「旅立ちの朝」  これまでの学習を生かして、点画の連続と配列を理解して書こう。  ②学習を生かして書く—配列— 行書と仮名の調和や配列を理解して書こう。</p> <p>3 身のまわりの多様な文字に関心を持ち、効果的に文字を書こう</p> <p>①多様な表現による文字  身のまわりで見かける、文字の表現効果について考えてみよう。  ②3年間の学習の成果を生かそう  3年間の学習を生かして効果的に書き、日常生活に生かそう。</p> <p>書き初めを書く 行書の特徴や配列を理解して書こう。</p> <p>*学年ごとに単元が示され、1～3年生の総単元数は9である。単元名は、各左ページの端に「楷書で書こう」等のように「～しよう」という形で示されている。各教材では、旗のマークの下に「目標」の文字があり、その下に教材目標（1年12，2年11，3年5）が、「～を理解して書こう」という呼びかけの形で示されている。毛筆の手本は、見開き右ページに示されている。</p>
	<p>1年</p> <p>1 楷書の書き方を確かめよう  漢字の筆使い 漢字を構成する点画の種類と、その筆使いを確かめて書く。  漢字の字形 漢字の字形の整え方を確かめて書く。</p> <p>2 楷書に仮名を交えて書こう  平仮名の筆使いと字形 平仮名の筆使いや字形を確かめて書く。  文字の大きさと配列 文字の大きさと配列のポイントを確かめ、読みやすく書く。  楷書と仮名のまとめ これまでに学習したことを生かして、文章を書く。</p> <p>3 行書の書き方を学ぼう</p>



光村	<p>行書の特徴 行書の特徴を知り,筆使いを理解して書く。          点画の方向や形の変化 点画の方向や形の変化を理解して書く。          点画の連続 点画の連続を理解して書く。          行書の練習1 行書に見られる点画の方向や形の変化,連続のしかたを覚えて書く。</p>
	<p>2年</p> <p>1 行書の書き方を学ぼう          点画の省略 点画の省略を理解して書く。          筆順の変化 筆順の変化を理解して書く。          行書の練習2 行書の部分の書き方を覚えて書く。</p> <p>2 行書に仮名を交えて書こう          行書と仮名の調和 行書と仮名の調和を意識して書く。          行書に調和する仮名 行書に調和する仮名の特徴を確かめて書く。          行書と仮名のまとめ これまでに学習したことを生かして,行書と仮名で文章を書く。</p> <p>3 楷書か行書かを選択して書こう          楷書と行書の使い分け 目的や必要に応じて,楷書か行書かを選択して書く必要があることを理解する。</p> <p>3年</p> <p>1 目的に応じて効果的に書こう          文字を効果的に使うために 目的に応じて効果的に文字を書く必要があることを理解する。</p> <p>2 学習したことを生かして書こう          3年間のまとめ 3年間で学習したことを確かめる。          未来に向かって これまで学習したことを生かして,作品を作る。</p>
<p>*学年ごとに単元が示され,1~3年生の総単元数は8である。単元名は「楷書の書き方を確かめよう」等のように呼びかけの形になっている。教材の冒頭,右ページ右端上に,学年カラーを背景に,学年と単元名と教材名が示され,下に,椅子のマークと「目標」の表示があり,教材目標(1年9,2年7,3年3)を示している。毛筆の手本は,見開き左ページ,右ページに教材目標や練習等が示されている。</p>	

【書写】

観点	基礎・基本の定着
視点	②姿勢, 執筆法, 用具の扱いの示し方
方法	正しい姿勢, 執筆法, 用具の扱い方の写真・イラスト等での示し方

発行者	調査・研究内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3ページ 書き初め(全学年)のページ(巻末折り込み)</li> <li>○姿勢 毛筆・硬筆の姿勢の写真 チェック欄(硬筆, 毛筆3項目ずつ) 傾いた姿勢のイラスト 書き初めを立って机で書く姿勢・床で書く姿勢の写真(巻末折り込み)</li> <li>○執筆法 大筆 懸腕法と双鉤法・単鉤法の筆の持ち方の写真・イラスト 小筆 提腕法・枕腕法の持ち方の写真 鉛筆の持ち方(よくない持ち方2種も)・チョークの持ち方の写真</li> <li>○用具の置き方, 筆の各部の名称, 墨のすり方の写真, 用具(硯・大筆・小筆)の片付け方の写真・記述</li> </ul>
学図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3ページ 書き初め(各学年)のページ(折り込み)</li> <li>○姿勢 毛筆・硬筆の姿勢の写真 チェック欄なし 書き初めを床で書く姿勢・立って書く姿勢の写真</li> <li>○執筆法 大筆 懸腕法と双鉤法・単鉤法の筆の持ち方の写真 小筆 提腕法・枕腕法の腕の構え方の写真</li> <li>○筆の各部の名称・働き 墨のすり方の記述・写真</li> </ul>
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3ページ 書き初め(巻末折り込み)</li> <li>○姿勢 毛筆の姿勢の写真 チェック欄なし 書き初めを床で書く姿勢・立って机で書く姿勢の写真(巻末折り込み)</li> <li>○執筆法 大筆 懸腕法と双鉤法・単鉤法の筆の持ち方の写真 小筆 提腕法・枕腕法の腕の構え方の写真 鉛筆の持ち方(望ましい持ち方, 望ましくない持ち方3種類)の写真</li> <li>○用具の置き方・墨のすり方・用具の片づけ方(大筆・小筆・硯)の記述・イラスト</li> </ul>
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3ページ 書き初め(1学年, 2・3年生は巻末折り込み)</li> <li>○姿勢 毛筆の姿勢 懸腕法の写真 チェック欄(硬筆, 毛筆共通3項目, 毛筆のみ1項目) 書き初めを床で書く姿勢・立って机で書く姿勢の写真</li> <li>○執筆法 大筆 双鉤法・単鉤法の筆の持ち方の写真 小筆 提腕法・枕腕法の腕の構え方の写真 鉛筆・ボールペンの持ち方の写真</li> <li>○用具の置き方・筆の各部の名称・墨の持ち方とすり方・硯の名称・後片づけ(硯・筆)の記述・写真</li> </ul>

光村	<p>○3ページ 書き初め (巻末折り込み)</p> <p>○姿勢 毛筆の姿勢の写真 チェック欄 (毛筆のみ8項目) 書き初めを床で書く姿勢・立って机で書く姿勢の写真</p> <p>○執筆法 大筆 双鉤法・単鉤法の筆の持ち方の写真 小筆 提腕法・枕腕法の腕の構え方の写真 鉛筆の持ち方の写真</p> <p>○用具の扱い方 準備・片づけ (大筆・小筆・硯) の写真, 墨のすり方の写真</p>
----	---

【書写】

観点	基礎・基本の定着
視点	③伝統と文化に関する内容の記述
方法	書写の歴史に関する資料等の内容、伝統的な言語文化に関する内容

発行者	調査・研究内容	
東書	書写の歴史に関する資料等	伝統的な言語文化
	<p>○冒頭2ページ分 (用具の発達と文字の変化)</p> <p>○1年 (用具・用紙のできるまで)</p> <p>○2年 (平仮名の始まりといろは歌)</p> <p>○資料3 漢字の成り立ちと移り変わり</p> <p>○資料4 古典から学ぼう 発展 唐の四大家と呼ばれる優れた書き手の文字をなぞって比較しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「九成宮醴泉銘」</li> <li>・「孔子廟堂碑」</li> <li>・「雁塔聖教序」</li> <li>・「自書告身」</li> </ul> <p>発展 古典の鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「蘭亭序」</li> <li>・「蓬萊切」</li> </ul>	<p>○古文 (いろは歌) 書いて味わおう 古文「竹取物語」 鉛筆 (1年)</p> <p>行書と仮名 古文「枕草子」 鉛筆 (2年)</p> <p>書いて味わおう「平家物語」 鉛筆 (2年)</p> <p>書いて味わおう「おくのほそ道」 鉛筆 (3年)</p> <p>○年賀状 (のし袋) 年賀状を書こう。 万年筆・小筆 (1年)</p> <p>のしとのし袋 筆ペン (2年)</p> <p>○俳句・短歌 俳句・小筆で書く。(1年)</p> <p>俳句や短歌を書くとき (2年)</p> <p>文化祭や卒業に向けて (俳句・短歌他) (3年)</p> <p>○書き初め 書き初めをしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「夢の実現」 (1年)</li> <li>「感謝する心」 (2年)</li> <li>「希望に輝く春」 (3年)</li> </ul> <p>○文学作品・詩</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「さんちき」 鉛筆 (1年)</li> <li>「月夜の浜辺」 小筆 (2年)</li> <li>シラーの言葉 小筆 (2年)</li> <li>「走れメロス」 鉛筆 (2年)</li> </ul> <p>○その他 季節の言葉 (資料)</p>

<p>学図</p>	<p>○1年発展 「九成宮醴泉銘」・・・作品を鑑賞 書写の窓 時代と文字</p> <p>○3年発展 「臨書を体験しよう その一」 「九成宮醴泉銘」 臨書 「臨書を体験しよう その二」 「蘭亭序」 臨書 「篆刻を体験しようその一」興味のある人は取り組む。 「篆刻を体験しようその二」興味のある人は取り組む。</p> <p>○3年 筆ができるまで</p>	<p>○古文 (いろは歌) 楷書に調和する仮名「いろは歌」小筆 (1年) 楷書に調和する仮名を書こう「竹取物語」 鉛筆 (1年) 行書に調和する仮名「いろは歌」小筆 (2年) 硬筆で書いてみよう 「枕草子」 鉛筆 (2年)</p> <p>○年賀状 (のし袋) 年賀状 万年筆 (3年) お祝いに 毛筆 (3年)</p> <p>○俳句・短歌 鳥啼歌 (1年)</p> <p>○書き初め 「輝け未来」「自主独立」 (1年) 「目標達成」「宇宙の神秘」 (2年) 「大志を抱け」「旅立ちの春」 (3年)</p> <p>○文学作品・詩 「少年の日の思い出」 鉛筆 (2年)</p> <p>○その他 四字熟語 (2年) ことわざ (1年)</p>
<p>三省堂</p>	<p>○2年 「書の名手たち」・・・「風信帖」「九成宮醴泉銘」「継色紙」を扱っている。「書いてみよう」という言葉はない。</p> <p>○資料編 「文字の変遷」 文房四宝</p>	<p>○古文 (いろは歌) 書いて確かめよう いろは歌 (1年・2年) 楷書で書こう 竹取物語 (1年)</p> <p>○年賀状 (のし袋) 文化としての「書く」年賀状 (1年)</p> <p>○俳句・短歌 行書を使いこなそう「石川啄木」 (2年) 書体を使い分けよう「俵万智」 (2年)</p> <p>○書き初め 「輝く生命」「日進月歩」 (1年) 「燃ゆる思い」「大望を抱く」「温故知新」「平和の鐘」 (2年) 「旅立ちの時」「山光澄我心」 (3年)</p> <p>○文学作品・詩 「小さな手袋」 (2年) 「人間は他の星に住むことができるのか」 (2年)</p> <p>○その他 ことわざ・教訓 (2年 発展)</p>

<p>教出</p>	<p>○1年 「筆、墨、硯、紙について知ろう」「文字は残る」「文字の変遷」「行書で書いてみよう」、風信帖 発展 「行書と仮名の調和」・・・小筆でかく。</p> <p>○2年 あのひとが残した文字 発展 行書と仮名の調和「気持ちのつながりから文字のつながりへ」 元永本古今集 日本建築と「書」</p> <p>○3年 発展 「王羲之の書から集めた文字」</p>	<p>○古文 (いろは歌) 楷書と仮名を調和させて書こう「いろは歌」(1年) 学習を生かして書く 行の中心「竹取物語」鉛筆(1年) 文字の大きさと配列 色紙 孔子の言葉 小筆(2年) 学習を生かして書く 行書と仮名の調和と配列 枕草子 鉛筆(2年) 生かそう 「平家物語」 鉛筆(2年) 学習を生かして書く 配列「おくのほそ道」鉛筆(3年)</p> <p>○年賀状 (のし袋) 学習を生かして書く 年賀状を書く 万年筆(1年) 包み紙の書き方 小筆(書式の教室)</p> <p>○俳句・短歌 1年間のまとめ 短歌・俳句 小筆(1年) 生かそう 短歌や俳句 小筆(2年) 生かそう 俳句 小筆または筆ペン(3年)</p> <p>○書き初め 「新たな決意」「天地清新」(1年) 「夢を信じる」「功を奏する」(2年) 「友好の精神」「新春に誓う」(3年)</p> <p>○文学作品・詩 「ふしぎ」(1年) 「蜘蛛の糸」「雨ニモマケズ」(1年) 「椰子の実」 小筆(2年) 「走れメロス」「平家物語」(2年) 「道程」(3年)</p> <p>○その他 名言</p>
<p>光村</p>	<p>○1年 「文字の歴史を探る」</p> <p>○3年 発展 「先人の文字に学ぶ」・・・先人たちの筆跡に触れる。 ・「蘭亭序」「高野切第三種」 ・書き手による違い</p> <p>○資料 「筆・紙・墨・硯ができるまで」</p>	<p>○古文 (いろは歌) 平仮名の筆使いと字形 「いろは歌」 小筆(1年) 行書と仮名のまとめ 「いろは歌」「平家物語」「枕草子」 鉛筆(2年)</p> <p>○年賀状 (のし袋) 年賀状のよく使われる言葉(資料) のし袋の書き方(資料)</p> <p>○俳句・短歌 文字の大きさと配列 小筆(1年) コラム季節のしおり1・2(1年, 2年) 行書と仮名の調和「砂山の雨」(2年)</p>

		<p>○書き初め 「不言実行」(1年) 「将来の夢」(1年) 毛筆補助教材 「新たな目標」「大志を抱く」(2年) 「無限の可能性」「初富士を望む」(3年)</p> <p>○文学作品・詩 コラム「明日」(3年)</p>
--	--	--

【書写】

観点	主体的に学習に取り組む工夫
視点	④興味・関心を高めるための工夫
方法	身の回りで使用されている書体の具体例を示した教材名, 用具の種類

発行者	調査・研究内容	
東書	教材名 「日本の用具の発達と文字の変化」 用具の写真	用具の種類 8種類 ・筆 ・鉛筆 ・万年筆 ・シャープペンシル ・ボールペン ・フェルトペン ・サインペン ・筆ペン
	生活に広げよう「目標を書こう」 ・目標 (イラスト) ・班ポスター (イラスト)	1種類 ・フェルトペン
	生活に広げよう「年賀状を書こう」 ・年賀状 (イラスト) ・往復はがき (イラスト)	3種類 ・万年筆 ・筆ペン ・万年筆
	「職場訪問をしよう」 ・依頼状 (イラスト) ・メモ (写真) ・原稿用紙 (写真) ・お礼状 (イラスト)	3種類 ・サインペン ・鉛筆 ・ボールペン
	生活に広げよう「好きな言葉を書こう」 ・色紙 (写真・イラスト) ・短冊 (写真)	2種類 ・小筆 ・フェルトペン
	「楷書と行書の使い分け」 ・ノート (イラスト) ・メモ (イラスト) ・手紙 (イラスト) ・願書 (イラスト)	用具は明記されず
	「配列」 ・ポスター (イラスト)	2種類 ・フェルトペン (大) (小)



<p>東書</p>	<p>「防災訓練をしよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メモ (写真)</li> <li>・FAX (イラスト)</li> <li>・ポスター (イラスト)</li> <li>・看板 (写真)</li> <li>・手紙 (イラスト)</li> <li>・複写用紙 (写真)</li> </ul> <p>「多様な文字」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看板, 台帳など多数の写真</li> </ul> <p>「ノートに書くときに」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノート (イラスト)</li> </ul> <p>「絵はがきや電子メールを出すときに」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はがき (イラスト)</li> <li>・電子メール (写真)</li> </ul> <p>「ポスターを作るときに」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスター (イラスト・写真)</li> </ul> <p>「文化祭や卒業に向けて」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しおり (イラスト)</li> <li>・志願理由書 (イラスト)</li> <li>・願書 (イラスト)</li> </ul> <p>資料編</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・封筒 (イラスト)</li> <li>・はがき (イラスト)</li> <li>・原稿用紙 (イラスト)</li> <li>・新聞 (イラスト)</li> <li>・ポスターセッション資料 (イラスト)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆ペン</li> </ul> <p>6種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉛筆</li> <li>・ボールペン</li> <li>・サインペン</li> <li>・フェルトペン</li> <li>・筆</li> <li>・万年筆</li> </ul> <p>用具は明記されず</p> <p>2種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉛筆</li> <li>・フェルトペン</li> </ul> <p>2種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボールペン</li> <li>・サインペン</li> </ul> <p>3種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆</li> <li>・コンピューター</li> <li>・クレヨン</li> </ul> <p>2種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サインペン</li> <li>・ボールペン</li> </ul> <p>用具については, 写真もしくはイラストのそばに記号とともに明記されている。</p> <p>用具の種類は, 扉や3年生「生活を豊かにする文字」の単元で写真と用具名が示されている。</p> <p>用具は明記されず</p>
-----------	--	---

<p>東書</p>	<p>「多様な文字」では、身近にあるさまざまな文字について考えさせる学習になっている。文字の例として、道路の標示や小説の表紙などが示されている。考える手だてとして、「誰に向けて書かれているか。」「何のために書かれているか。」「どのようにして工夫して書かれているか。」「読んだときの印象はどうか。」という4つの視点が示されている。</p>	
<p>学図</p>	<p>教材名</p> <p>「硬筆で書いてみよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メモ (イラスト)</li> <li>・依頼状 (イラスト)</li> </ul> <p>「確かめよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メモ (イラスト)</li> <li>・ポスター (イラスト)</li> </ul> <p>「書写を生活に生かそう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞 (イラスト)</li> <li>・色紙 (イラスト)</li> <li>・手紙 (イラスト)</li> <li>・はがき (写真)</li> <li>・送り状 (写真)</li> <li>・祝儀袋 (写真)</li> <li>・原稿用紙 (イラスト)</li> </ul> <p>「作品を作ろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色紙 (イラスト)</li> <li>・短冊 (写真)</li> </ul> <p>扉</p> <p>「身のまわりの書き文字を探そう」</p> <p>石碑 4点 提灯1点 銘板2点</p> <p>「書写を生活に生かそう」は、身近にある筆記具について考えさせる学習になっている。考える手だてとして、いろいろな筆記具について写真とそれぞれの筆記具で書かれた文字が並べられている。そのうえで、修学旅行の新聞や卒業の色紙な</p>	<p>用具の種類</p> <p>用具は明記されず</p> <p>用具は明記されず</p> <p>5種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毛筆</li> <li>・サインペン</li> <li>・万年筆</li> <li>・フェルトペン</li> <li>・鉛筆</li> </ul> <p>1種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毛筆</li> </ul> <p>用具の種類は、3年生「書写を生活に生かそう」の単元で用具の写真、用具名、用具で書かれた文字が示されている。</p>

学図	ど、さまざまな場面に応じて使い分けるために、必要な意識をキャラクターが説明している。	
三省堂	<p>教材名</p> <p>「行事の目標を書こう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人目標（写真）（ワークシート）</li> <li>・ポスター</li> </ul> <p>「文化としての『書く』」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年賀状（イラスト）</li> </ul> <p>「本を紹介しよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポップ（写真）（ワークシート）</li> <li>・はがき新聞（写真）</li> </ul> <p>「生活の場面と書体について考えよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メモ</li> <li>・立て看板</li> <li>・色紙</li> <li>・賞状</li> </ul> <p>「座右の銘を書こう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色紙（写真）</li> <li>・短冊（イラスト）</li> </ul> <p>「身の回りの文字の工夫を見つけよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ちらし（写真）</li> <li>・表紙（写真）</li> <li>・ポスター（イラスト）</li> <li>・非常用プレート（写真）</li> <li>・メモ（イラスト）</li> <li>・電子メール（イラスト）</li> <li>・短冊（イラスト）</li> <li>・書作品（写真）</li> <li>・めくり（イラスト）</li> <li>・プログラム（イラスト）</li> <li>・案内状（イラスト）</li> </ul> <p>資料編</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手紙（イラスト）</li> <li>・のし袋（写真）</li> <li>・送り状（写真）</li> <li>・願書（イラスト）</li> <li>・掲示物（イラスト）</li> </ul>	<p>用具の種類</p> <p>用具は明記されず</p> <p>用具は明記されず</p> <p>用具は明記されず</p> <p>用具は明記されず</p> <p>用具は明記されず</p> <p>用具は明記されず</p> <p>用具は明記されず</p> <p>のし袋の写真の横に「筆ペンやフェルトペンで書く」と明記 送り状の写真の上に「複写式の場合はボールペンで…」と明記 掲示物の書き方では、太いフェ</p>

<p>三省堂</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノート (イラスト)</li> <li>・原稿用紙 (イラスト)</li> </ul> <p>「身のまわりの文字の工夫を見つけよう」は、身近にあるさまざまな文字に関心をもち、効果的に書くことを目標にした学習となっている。旅行のちらしや非常用プレートなどが示され、その書き方の工夫を考える手だてとして、「文字の種類や大きさ」「書き方の工夫」「目的や効果」という3つの観点が示され、報告し合うようになっている。</p>	<p>ルトペンの使い方の説明あり</p> <p>用具の種類は、資料編で示されている。また、「掲示物」の書き方では、太いフェルトペンの使い方、「進化する筆記具」はシャープペンシル、筆ペンの写真と解説が示されている。</p>
<p>教出</p>	<p>教材名</p> <p>「目的に合わせて書こう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞 (写真)</li> <li>・看板 (写真)</li> <li>・ポスター (写真)</li> <li>・ノート、メモ (写真)</li> <li>・手紙 (写真)</li> <li>・色紙、短冊 (イラスト)</li> </ul> <p>「文字で心を伝えよう1」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メッセージカード (写真)</li> </ul> <p>「学習を生かして一配列」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原稿用紙 (写真)</li> <li>・レポート (写真)</li> <li>・手紙 (イラスト)</li> </ul> <p>「学校生活に生かして書く」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスター (イラスト)</li> <li>・新聞 (写真付きイラスト)</li> <li>・看板 (写真)</li> <li>・めくり (写真)</li> </ul> <p>「行書で書いてみよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表札 (写真)</li> </ul>	<p>用具の種類</p> <p>用具については明記されていない。</p> <p>色鉛筆、マジック、ペン、筆、ボールペン、鉛筆、シャープペンシル、万年筆、色ペン、筆ペン、小筆の写真</p> <p>用具は明記されず</p> <p>3種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉛筆</li> <li>・サインペン</li> <li>・万年筆</li> </ul> <p>3種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フェルトペン</li> <li>・サインペン</li> <li>・大筆</li> </ul> <p>用具は明記されず</p>

教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道標 (写真)</li> </ul>	
	<p>「文字の大きさと配列」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色紙 (写真)</li> <li>・短冊 (写真)</li> </ul>	<p>1種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小筆</li> </ul>
	<p>「文字で心を伝えよう2」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス旗 (写真)</li> <li>・クラス目標 (写真)</li> <li>・クラスTシャツ (写真)</li> <li>・うちわ (イラスト)</li> </ul>	<p>用具は明記されず</p>
	<p>「学習を生かして書く」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞 (写真付きイラスト)</li> <li>・ポスター (イラスト)</li> <li>・案内状 (写真)</li> </ul>	<p>3種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小筆</li> <li>・フェルトペン</li> <li>・サインペン</li> </ul> <p>※用具の特徴の説明</p>
	<p>「学習を生かして書くー配列ー」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・短冊 (写真)</li> </ul>	<p>2種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小筆</li> <li>・筆ペン</li> </ul>
	<p>「多様な表現による文字」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・橋銘 (写真)</li> <li>・寺号標 (写真)</li> <li>・案内板 (写真)</li> <li>・のぼり (写真)</li> <li>・樹木名表示板 (写真)</li> <li>・表札 (写真)</li> <li>・ノート (写真)</li> <li>・作品 (写真)</li> <li>・横断幕 (写真)</li> <li>・書籍の題字 (写真)</li> </ul>	<p>用具は明記されず</p>
<p>「3年間の学習の成果を生かそう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業カレンダー (イラスト)</li> <li>・メッセージカード (写真・イラスト)</li> </ul>	<p>4種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フェルトペン</li> <li>・鉛筆</li> <li>・小筆</li> <li>・サインペン</li> </ul>	
<p>「書式の教室」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手紙 (イラスト)</li> <li>・はがき (イラスト)</li> <li>・包み紙 (写真)</li> </ul>	<p>5種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・万年筆</li> <li>・ボールペン</li> </ul>	

<p>教出</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エアメール (写真)</li> <li>・原稿用紙 (写真)</li> <li>・ノート (写真)</li> <li>・メモ (写真)</li> <li>・志願理由書 (イラスト)</li> <li>・伝票 (写真)</li> </ul> <p>「学習活動や日常生活に生かして書こう」では、さまざまな場面に応じた書き方を考え、それを生かして書くという学習が設定されている。話し合いの観点として、「何のために」「誰に向けて」「どのように」の3つが示され、インタビューのメモや立て看板などの場面について話し合う。そのうえで、新聞や掲示物、案内状を実際に書く活動が設定されている。</p> <p>「身の回りの多様な文字に関心をもち、効果的に書こう」でも同様な学習が設定されている。橋銘やのぼりなどについて、取材レポートを作る。その手だてとして、「書かれた目的」「誰に向けて」「どのように」「何を使って」「受ける印象」の5つの視点が示されている。そのうえで、課題A「卒業カレンダー」、B「メッセージカード」のどちらかに取り組み、学習を生かすようにしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サインペン</li> <li>・小筆</li> <li>・鉛筆</li> </ul> <p>用具の種類は、2年生「学習活動や日常生活に生かして書こう」の単元で用具の写真、書かれた文字、特徴が示されている。また、各教材には、用具のマーク、用具名が示されている。</p>
<p>光村</p>	<p>教材名</p> <p>「楷書と行書の使い分け」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスター (イラスト)</li> </ul> <p>「文字を効果的に使うために」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誌面 (写真)</li> </ul> <p>コラム「デザインと文字」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本の表紙 (写真)</li> <li>・広告 (写真)</li> </ul> <p>「未来に向かって」</p>	<p>用具の種類</p> <p>イラストの下に、書体と用具の特徴ごとに文字が明記されている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楷書・毛筆</li> <li>・楷書・フェルトペン</li> <li>・行書・毛筆</li> <li>・行書・フェルトペン</li> </ul> <p>用具は明記されず</p> <p>用具は明記されず</p>

<p>光村</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ CDジャケット (写真)</li> <li>・ 成長記録 (写真)</li> </ul> <p>資料</p> <p>情報整理の書き方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ マッピング</li> <li>・ アンケート</li> <li>・ インタビュー</li> <li>・ スピーチメモ</li> <li>・ 付箋</li> <li>・ ノート</li> <li>・ 手紙 (イラスト)</li> <li>・ 封筒 (イラスト)</li> <li>・ エアメール (イラスト)</li> <li>・ はがき (イラスト)</li> <li>・ 送り状 (写真)</li> <li>・ 願書 (イラスト)</li> <li>・ のし袋 (写真)</li> <li>・ 原稿用紙 (イラスト)</li> <li>・ メモ (イラスト)</li> </ul> <p>情報を発信する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ポスター (イラスト)</li> <li>・ レポート (イラスト)</li> <li>・ 表, グラフ (イラスト)</li> <li>・ リーフレット (写真付きイラスト)</li> <li>・ フリップ (イラスト)</li> <li>・ 新聞 (写真付きイラスト)</li> </ul> <p>読書環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 紹介カード (写真)</li> <li>・ 本の帯 (写真)</li> <li>・ しおり (写真)</li> <li>・ ポップ (写真)</li> <li>・ 読書記録 (写真)</li> </ul> <p>学校行事を盛り上げる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応援旗 (写真)</li> <li>・ はちまき (写真)</li> <li>・ うちわ (写真)</li> <li>・ 看板 (写真)</li> <li>・ ポスター (写真)</li> <li>・ 備品 (写真)</li> <li>・ 色紙 (写真)</li> <li>・ 感謝状 (イラスト)</li> <li>・ プロフィールカード (写真)</li> </ul>	<p>用具は明記されず</p> <p>用具は明記されず</p> <p>用具の種類は、2年生「楷書か行書かを選択して書こう」の単元で、書体に合わせた用具、書かれた文字が示されている。</p>
-----------	--	--

光村	<p>「文字を効果的に使うために」では、目的に応じて効果的に文字を使う必要性について学習する。雑誌の誌面を使い、そこに使われている文字の特徴と使用効果について、表にまとめられるようにしている。ゴシック体、明朝体、手書き文字について、「使われる場面」「文字の特徴」「受ける印象」の3つの視点で考えられるようになっている。コラム「デザインと文字」でも、本を作るデザイナーの記事を載せ、学習を深められるようにしている。</p>	
----	--	--



【書写】

観点	主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤見通しを立てたり, 振り返ったりする学習のための構成上の工夫
方法	見通しを立てて学習するための構成上の工夫, 自己評価の仕方

発行者	調査・研究内容										
東書	<p>(見通しを立てて学習するための構成上の工夫)</p> <p>○各教材の冒頭に目標を示し, 「調べよう」で学習の目標について調べたり考えたりさせ, 「確かめよう」で学習した内容を確認させ, 「広げよう」で学習内容を生かして, 他の課題に取り組めるようにしている。</p> <p>※「学習の進め方」で説明されている。</p> <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td> <p>学習の目標と自分の課題を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の目標を確認しよう。</li> <li>・学習の目標について, 調べたり考えたりしよう。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>2</td> <td> <p>課題を解決するために練習する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習した内容を確認しよう。</li> <li>・学習したことをほかの文字に広げよう。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>3</td> <td> <p>振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習を振り返り, 目標が達成できたか評価しよう。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>4</td> <td> <p>活用する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の中のさまざまな場面に生かそう。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>5</td> <td> <p>発展</p> </td> </tr> </table> <p>○毛筆の手本のページ右端に「書くときのポイント」が示されている。</p> <p>○各教材の最後に「振り返ろう」で自己評価をする視点が示されている。</p> <p>教材の中では, 「調べよう」→「確かめよう」→「広げよう」の言葉とキャラクターのアドバイスとともに, 学習の進め方が示されている。</p> <p>○行書の入門期の「行書の基本的な書き方」では, 導入として解説が4ページ示されている。「行書の動きの4パターン」で特徴を考えさせるよう, 「指でなぞって動きのパターンを覚えよう」と示されている。また, 「大洋」の楷書と行書の比較を示し, 行書の特徴について解説がある。</p> <p>(自己評価の仕方)</p> <p>○各教材末のページ下部に「振り返ろう」が示されている。「できた」○, 「もう少し」△で自己評価を記入する欄が設けられている。</p> <p>【使用実績に関すること】</p> <p>「調べよう」「確かめよう」「広げよう」という3つのステップが示されていることで, 学習の見通しが立てやすく, 意欲を喚起することにつながった。</p> <p>さらに, 「広げよう」のステップにおいては, 学習した内容を他の文字に生かすための練習枠が設けられていることにより, より多くの文字の練習ができ, 学習内容を生活の中で主体的に活用しようとする態度を養うことができた。</p>	1	<p>学習の目標と自分の課題を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の目標を確認しよう。</li> <li>・学習の目標について, 調べたり考えたりしよう。</li> </ul>	2	<p>課題を解決するために練習する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習した内容を確認しよう。</li> <li>・学習したことをほかの文字に広げよう。</li> </ul>	3	<p>振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習を振り返り, 目標が達成できたか評価しよう。</li> </ul>	4	<p>活用する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の中のさまざまな場面に生かそう。</li> </ul>	5	<p>発展</p>
	1	<p>学習の目標と自分の課題を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の目標を確認しよう。</li> <li>・学習の目標について, 調べたり考えたりしよう。</li> </ul>									
2	<p>課題を解決するために練習する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習した内容を確認しよう。</li> <li>・学習したことをほかの文字に広げよう。</li> </ul>										
3	<p>振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習を振り返り, 目標が達成できたか評価しよう。</li> </ul>										
4	<p>活用する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の中のさまざまな場面に生かそう。</li> </ul>										
5	<p>発展</p>										
学図	(見通しを立てて学習するための構成上の工夫)										

○各単元の冒頭に毛筆の手本を示し、手本を見ながら試し書きをさせる。そのあとに、目標に従って毛筆、硬筆の順で書かせ、学習の最後に「振り返って…」で自己評価の視点が示されている。

※「学習の進め方」で説明している。

1	試し書き ・手本を見ながら試し書きをする。
2	練習 ・試し書きと手本を見比べて、自分の課題を見つけ、練習をする。
3	まとめ書き ・練習の成果を確認するために、課題に気をつけながらまとめ書きをする。
4	硬筆で書く ・毛筆で学習したことを意識して、硬筆で練習する

○2, 3年生でも同様に、毛筆、硬筆の順で書かせるが、学習の最後の「振り返って…」はない。

○行書の入門期の「行書の特徴を理解して書こう」では、導入として解説が2ページ示されている。「栄光」「草原」の行書から、部首の部分を取り上げ、楷書と行書の書き方を比較している。「行書の基本的な点画」で行書の特徴について解説がある。

(自己評価の仕方)

○硬筆を書かせたページ左下に「振り返って…」が示されている。自己評価を記入する欄はない。振り返りの観点が複数示されている。2, 3年生には「振り返って…」は示されていない。

(見通しを立てて学習するための構成上の工夫)

○各単元の冒頭に目標を示し、「考えよう・話し合おう」で「～でしょうか。」と問いかけ、課題を持たせて取り組めるようになっている。「考えよう・話し合おう」で考えたことをもとに「書いて確かめよう」で毛筆や硬筆に取り組み、「振り返ろう」で自己評価するようにしている。(視点を示している)

※「学習の流れ」で説明している。

1	学習の見通しをもつ ・目標
2	学習する(毛筆と硬筆を使って練習する) ・考えよう・話し合おう ・書いて確かめよう ・振り返ろう
3	復習する(硬筆で書く) ・学習のまとめ
4	学習を生かして主体的に書く ・生活に生かそう

○3年生では、「書いて確かめよう」はなく、「振り返って」も一度しか示されていない。

○行書の入門期の「行書で書こう」では、導入として解説が4ページ示されている。「生」

三省堂

の字の楷書と行書の例をなぞり、楷書との違いを考えさせるよう、「指でなぞって、楷書との違いを考えよう」と記されている。行書の特徴について解説がある。

(自己評価の仕方)  
 ○「書いて確かめよう」のあともしくは学習の最後のページ下部に「振り返ろう」が示されている。自己評価の記入は、「☆☆☆」を塗りつぶすようになっている。(塗りつぶす説明はされていない。)

(見通しを立てて学習するための構成上の工夫)  
 ○各教材の冒頭に目標を示し、学習のはじめに「試し書き」ができるようになっている。「考えよう」で、試し書きと教科書の文字を比べることで課題を明確にしている。「生かそう」で実際に書きながら課題をおさえて学習を進められるようにしている。教材の最後に「まとめ書き」で学習の成果を確認し、「振り返ろう」で自己評価の視点が示されている。  
 ※「学習の進め方」で説明している。

1	目標 ・学習の目標を確かめよう。 ・試し書き
2	考えよう ・試し書きと教科書の文字とを比べ、自分の課題を見つけよう。 ・自分の課題に向かって毛筆で練習しよう。課題を解決するために練習する。
3	生かそう ・毛筆で学習したことを、硬筆で他の文字に生かして書こう。 ・まとめ書き
4	振り返ろう ・課題が解決できたかどうかを自己評価し、学習を振り返ろう。
5	学習や日常生活に生かそう

教出

○行書の入門期の「行書で書いてみよう」では、導入として解説が6ページ示されている。行書・草書の例、「和」の楷書と行書の違いを考えさせ、「手を筆先にみたくて書いてみよう」で曲線や「大」をなぞらせるようになっている。行書の特徴についての解説がある。

(自己評価の仕方)  
 ○各教材末に「振り返ろう」が示されている。「できた」○、「もう少し」△で自己評価を記入する欄がある。

光村	<p>(見通しを立てて学習するための構成上の工夫)</p> <p>○各教材の冒頭に目標を示し、「学習の窓」を参考にしてポイントをおさえながら取り組めるようにしている。各教材の最後に「学習を振り返る」で自己評価するようにしている。(視点を示している)教材の中で、理解するためのヒントが示され、ポイントを括弧書きに記入して確認できるように示されている。</p> <p>※「学習の流れ」で説明している。</p>	
	1	<p>学習の見通しをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標</li> </ul>
	2	<p>学習・活動に取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の窓</li> </ul>
	3	<p>次の学習に生かす</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習を振り返る</li> </ul>
	<p>○行書の入門期の「行書の書き方を学ぼう」では、導入として解説が折込で4ページ示されている。</p> <p>「緑」の楷書と行書を示し、文字を指でなぞらせて違いを考えさせ、横画を書いて比較させる等の活動が示されている。行書の特徴についての解説がある。</p> <p>(自己評価の仕方)</p> <p>○各教材の最後に「学習を振り返る」が示されている。「できた」○、「もう少し」△で自己評価を記入する欄がある。</p>	

【書写】

観点	内容の構成・配列・分量
視点	⑥単元・教材や資料等の配列
方法	学年総ページ数, 毛筆教材数, 硬筆教材数及び硬筆記入欄のページ数

発行者	調査・研究内容					
	学年	総ページ数	毛筆教材数 大筆, 小筆	硬筆教材 数	硬筆記入欄 ページ数	毛筆教材の具体例
東書	1年	40 巻末4	5 大筆4 小筆1	8	11	大筆:「大志」(楷)「大洋」(行) 「和音」(行) 「夢の実現」(楷) 他 小筆:「正岡子規 俳句 夏山の 緑うつりし小窓かな」(楷)
	2年	34 巻末4	6 大筆5 小筆1	5	7	大筆:「詩集」(行)「国際社会」(行) 「流れる雲」(行)「豊かな自然」(行) 「感謝する心」(行) 他 小筆:「シラーの言葉 友情は喜びを二倍にし 悲しみを半分にする」(行)
	3年	18 巻末4	2 大筆2	4	0	大筆:「栄光のかけ橋」(行) 「希望に輝く春」(行) 他
<p>*毛筆見本ページ(等身大)の右横に「学習のはじめ」に1回,「学習のまとめ」に1回ずつ硬筆の記述欄がある。</p> <p>*「常用漢字表」2136字と「人名用漢字」862字の楷書体と行書体2種類が示してある。</p>						
学図	1年	36 学年末 資料2	7 大筆6 小筆1	3	12	大筆:「天地」(楷)「ぶなの森」(楷) 「栄光」(行)「登頂成功」(楷) 「草原」(行) 「輝け未来」(楷) 他 小筆:「いろは歌」(楷)
	2年	24 学年末 資料2	7 大筆6 小筆1	3	3	大筆:「山紫水明」(楷)「雲海」(行) 「目標達成」(楷)「親しい友」(行) 「理想は高く」(楷)「紅葉林道」(行) 他 小筆:「いろは歌」(行)
	3年	22 学年末 資料2	3 大筆3	1	0	大筆:「心のふれ合い」(楷) 「全力を尽くす」(行) 「旅立ちの春」(行) 他

	<p>*毛筆教材に硬筆の記述欄は示されていない。  *資料編に楷書のいろいろな書き方が示されている。  *資料編に書き文字と活字の違いが示されている。  *「漢字一覧表」2136字の行書体が示されている。</p>					
三省堂	1年	36	7 大筆6 小筆1	7	14	大筆：「春光」(楷)「若枝」(楷) 「夏めく空」(楷)「名作」(行) 「永久」(行)「輝く生命」(楷) 他 小筆：「いろは歌」(楷)
	2年	26	5 大筆4 小筆1	6	9	大筆：「再会」(行)「雪花」(行) 「自然を楽しむ」(行)「燃ゆる思い」(行)他 小筆：平仮名五十音表(行)
	3年	8	1 大筆1	2	0	大筆：「旅立ちの時」(行)他
	<p>*毛筆のページの学習の初めに「書いて確かめよう」と硬筆の記述欄がある。  *「楷書・行書一覧表」に小学校で学習した漢字1006字、中学校で学習する漢字1130字の楷書体と行書体2種類が示されている。</p>					
教出	1年	48 巻末2	6 大筆6	6	10	大筆：「天地」(楷)「いろは歌」(楷) 「大木」(行)「栄光」(行) 「平和」(行)「新たな決意」(楷)他
	2年	36 巻末1	6 大筆5 小筆1	6	10	大筆：「初志」(行)「雲海」(行) 「開花」(行)「喜びの声」(行) 「夢を信じる」(行)他 小筆：「孔子の言葉 学びて時に之を習ふ 亦説ばしからずや」
	3年	13 巻末1	3 大筆3	1	2	大筆：「創造」(行)「旅立ちの朝」(行) 「友好の精神」(行)他
	<p>*毛筆のページに「試し書き」として硬筆で書かせる記述欄がある。毛筆→「まとめ書き」として最後に硬筆で書く記述欄がある。  *「小学校で学習した漢字一覧表」1006字と「中学校で学習する漢字一覧表」1130字の行書体が示されている。</p>					
光村	1年	24 巻末1	7 大筆5 小筆2	3	6	大筆：「地球」(楷)「木立」(行) 「緑」(楷・行)「月光」(行) 「不言実行」(行)他 小筆：「目には青葉山ほととぎす

光村						初がつを」「いろは歌」(楷)
	2年	16 巻末1	5 大筆4 小筆1	2	4	大筆：「調和」(行)「夕映えの空」 (行) 「紅花」(行)「新たな目標」 (行) 他 小筆：「いろは歌」(行)
	3年	9 巻末4	2 大筆2	1	0	大筆：「輝ける未来へ」(行) 「無限の可能性」(行) 他
<p>*毛筆の見本ページに【目標】「硬筆でなぞろう」や「ポイント」を書き込ませるなどの硬筆で見通しを記入させる記述欄がある。毛筆で書こう→再度硬筆で「学習したことを生かして書こう」と振り返りを硬筆で書かせるようにしている。</p> <p>*「常用漢字一覧表」2136字の楷書体と行書体2種類が示されている。</p>						

【書写】

観点	内容の構成・配列・分量
視点	⑦発展的な学習の扱い方
方法	発展的な学習の示し方，単元名及び内容の扱い方

発行者	調査・研究内容
東書	<p>○示し方 資料に4つのまとまりで「発展・内容」が示されている。</p> <p>○単元名 資料4 古典から学ぼう 発展 唐の四大家と呼ばれる優れた書き手の文字をなぞって比較する。 (掲載されている作品) ・「九成宮醴泉銘」 ・「孔子廟堂碑」 ・「雁塔聖教序」 ・「自書告身」 発展 古典の鑑賞 ・「蘭亭序」 ・「蓬萊切」</p> <p>○扱い方 唐の四大家の文字の比較が扱われている。「4人の中から1人の文字を選び，書き写そう」として，記入欄が示されている。</p>
学図	<p>○示し方 1，3年生に「発展」として2ヶ所計8ページ示されている。1，3年生の「書写の窓」で古典の書を鑑賞し特徴などを考えたり，臨書を体験させたりする等の学習が示されている。臨書の学習では，「次の手順で練習してみよう」として記述欄が示されている。</p> <p>○単元名 (掲載されている作品) 1年 発展 「九成宮醴泉銘」・・・作品を鑑賞 「蘭亭序」・・・作品を鑑賞 2年 発展 なし 3年 発展 「臨書を体験しよう その一」 「九成宮醴泉銘」 臨書を体験しよう 「臨書を体験しよう その二」 「蘭亭序」 臨書を体験しよう 「篆刻を体験しよう その一」興味のある人は取り組む。 「篆刻を体験しよう その二」興味のある人は取り組む。</p> <p>○扱い方 古典の書や篆刻が扱われている。書を鑑賞して特徴などを考えたり，臨書を体験したりする等の学習が示されている。臨書の学習では，記入欄が示されている。</p>



三省堂	<p>○示し方 2年生に「発展」として1ページ示されている。単元「書の名手」で、唐の書家、平安時代の日本の書家の作品が示されている。</p> <p>○単元名 1年 発展なし 2年 「書の名手たち」・・・「風信帖」「九成宮醴泉銘」「継色紙」を扱っている。書いてみようという言葉はない。 3年 発展なし</p> <p>○扱い方 唐の書家、平安時代の日本の書家の作品が扱われている。</p>
教出	<p>○示し方 全学年「発展」として半ページ程度ずつ示されている。 1年生「行書で書いてみよう」、2年生の内容として、「日本建築と『書』」、3年生「芸術としての書道」で「西本願寺三十六人家集」が扱われている。</p> <p>○単元名 1年 発展「行書と仮名の調和」・・・小筆で書く。 2年 発展「気持ちのつながりから文字のつながりへ」 元永本古今集・・・鑑賞して書く。 3年 発展「王羲之の書から集めた文字」・・・丁寧に書く。</p> <p>○扱い方 1年生では、発展として2年生の学習内容に触れ、2、3年生では、古典の書が扱われている。</p>
光村	<p>○示し方 「発展」として3年生で1ヶ所1ページ示されている。</p> <p>○単元名 1年 発展なし 2年 発展なし 3年 発展「先人の文字に学ぶ」・・・先人たちの筆跡に触れる。 ・「蘭亭序」「高野切第三種」 ・書き手による違い</p> <p>○扱い方 魏、東晋、唐、北宋、清の書家、平安時代の書家の作品が扱われている。</p>

【書写】

観点	内容の表現・表記
視点	⑧本文記述との関連付けがなされた写真・イラスト等の活用
方法	写真・イラスト・図による筆使いの示し方

発行者	調査・研究内容		
	写真	イラスト	図
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○薄墨・朱の二色で筆使いを示したものが掲載されている。</li> <li>部分ごとの筆使い(基本点画・手本)</li> <li>○穂先(筆の写真)</li> <li>○筆圧・筆脈</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○キャラクター(トン・スー・ピタ)を使って、留意点や学習事項等が示されている。</li> <li>○「中に入る人」のマークを使って、参考頁が示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○青や赤の矢印・点線・数字で筆順や筆脈が示されている。</li> <li>○▼で中心が示されている。</li> <li>○穂先の向きの図で始筆・終筆の角度が示され、説明も加えてある。また、「トン・スー・ピタッ・グッ」という表現で始筆・送筆・終筆が示されている。</li> <li>○着目すべき部分に赤丸と矢印がつけてある。</li> <li>○どの「行書の動きのパターン」が生かせるか書き込ませるようになっている。</li> </ul>
	<p>【使用実績に関すること】</p> <p>図による筆使いの示し方と「トン・スー・ピタ」などの擬音語があることで、筆先の動きや筆脈が分かりやすく、支援の必要な生徒にも筆使いを理解させることができた。</p>		
学図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○薄墨・朱の二色で筆使いを示したものが掲載されている。</li> <li>(基本点画)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○キャラクター(朱筆、墨筆、鉛筆)を使って、振り返りや学習事項・留意点等が示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○かご書きがある。</li> <li>○朱の矢印・点線・数字で筆順や筆脈が示されている。</li> <li>○▼で中心が示されている。</li> <li>○着目すべき部分が朱で書いてある。</li> </ul>
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○薄墨・朱の二色で筆遣いを示したものが掲載されている。</li> <li>(基本点画)</li> <li>○穂先(筆の写真)</li> <li>○墨書きの筆使い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○キャラクター(モジコ・モジオ・考古学者・鳥)を使って、生徒の視点に立った疑問点・留意点・ガイド・学習事項・参考頁等が示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○灰色文字の手本</li> <li>○青の矢印・点線、朱の数字で筆順や筆脈が示されている。</li> <li>○▼で中心が示されている。</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>○穂先の角度が図で示され、写真とともに説明してある。</li> <li>筆圧については、文章記述あり。</li> <li>○着目すべき部分に青丸がつけてある。</li> </ul>
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○薄墨・朱の二色で筆使いを示したものが掲載されている。(基本点画・手本)</li> <li>○穂先(筆の写真)</li> <li>○文字ごとの筆脈・穂先(囲み・筆の写真)</li> <li>○部分ごとの筆使い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2人の中学生を使って、学習事項や留意点等が示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○黒の矢印・点線・数字で筆順や筆脈が示されている。</li> <li>○●で中心が示されている。</li> <li>○穂先の向きを図で表し、筆圧も数字で表してある。</li> </ul>
光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○薄墨・朱の二色で筆使いを示したものを掲載されている。(基本点画・手本)</li> <li>○穂先(筆の写真)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○キャラクター(少年、少女)を使って、学習事項や留意点等が示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○青の矢印・点線で筆順や筆脈が示されている。</li> <li>○▼で中心が示されている。</li> <li>○穂先の向きを図と角度で示し、筆圧を数字で表している。また、「トン・スー・トン」という表現で始筆・送筆・終筆が示されている。</li> <li>○着目すべき部分が朱で書いてある。</li> </ul>

【書写】

観点	言語活動の充実
視点	⑨学習や日常生活に生きる言語活動の工夫
方法	各教科等の学習や日常生活に生きる教材名, 教材数, 内容例

発行者	調査・研究内容				
	学年	教材数	教材名	内容例	
東書	1	4	楷書	○日本の用具の発達と文字の変化	・漢字の始まりから現代まで
				○点画の書き方と字形	・教科書体・明朝体・ゴシック体
				○配列	・「書きやすさ」速く書く ・数字やアルファベットの書き方等
				・手書き文字と印刷文字の違い ・目標を書こう	・明朝体の特徴的な表現の例, 手書きと印刷文字の違い ・書き方の手順 (縦書き・横書き) …3例 ・字間と行間
		行書	・年賀状を書こう	・はがきの書き方 (縦書き) ・往復はがき	
		生活を豊かにする文字	○職場訪問をしよう	・封筒の書き方 (縦書き) ・メモ・新聞・礼状の例 ・簡条書きの書き方 (ポイント2つ) ・原稿用紙の書き方 (ポイント7つ) ・校正の記号 ※学校行事に合わせた言語活動の例と「学習のポイント」, ふさわしい用具がマークで示されている。	
	2	6	行書と仮名	○行書に調和する仮名「五十音」	・平仮名の始まりといは歌
				・好きな言葉を書こう	・作品 色紙・短冊等…6例 ・俳句や短歌を書くとき ・はんこ
			楷書と行書	○楷書と行書の使い分け	・目的や場面に応じた書体の使い分け (ノート・メモ・手紙・検定申込書)
				○配列 (掲示物を書こう)	・掲示物…2例 ・太いフェルトペンの使い方

東書	3	5	生活を豊かにする文字	<p>○防災訓練に参加しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メモを取るとき</li> <li>・計画書を書くとき（縦書き）</li> <li>・ファクシミリの形式</li> <li>・看板やポスターを書くとき</li> <li>・模造紙に書くとき</li> <li>・荷物の送り状の書き方</li> <li>・礼状・封筒を書くとき（横書き）</li> <li>・手紙の基本的な書き方</li> <li>・時候の挨拶</li> <li>・のしとのし袋の説明</li> </ul> <p>※学校行事に合わせた言語活動の例と「学習のポイント」、ふさわしい用具がマークで示されている。</p> <p>○書いて味わおう（平家物語）</p> <p>○書き初めをしよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感謝する心</li> </ul>	
			身近にある文字を調べよう	○多様な文字	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的と工夫</li> <li>・ノート・古文書 等…計12例</li> <li>・身の回りの文字を探そう（各地の史跡…計47例）</li> </ul>	
			効果的に書こう	○ノートに書くときに	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートを分かりやすく書くためのポイント（理科・横書き）</li> </ul>	
				○絵はがきや電子メールを出すときに	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵はがきや電子メールの場面や相手に応じた使い分け</li> </ul>	
				○ポスターを作るときに	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的な表現…2例</li> <li>・表現したいことに合わせて（ポスター等…計8例）</li> </ul>	
生活を豊かにする文字	○文化祭や卒業に向けて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品…7例</li> <li>・用紙…3例</li> <li>・配列…5例</li> <li>・筆記具…8例</li> <li>・志願理由書の例</li> <li>・どうして読みにくいのか（読みやすい書き方—入学願書）</li> </ul> <p>※学校行事に合わせた言語活動の例と「学習のポイント」、ふさわしい用具がマークで示されている。</p> <p>・書いて味わおう（おくのほそ道）</p> <p>・書き初めをしよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望に輝く春</li> </ul>			

資料			・いろいろな書式	・封筒やはがきの宛名の書き方 ・原稿用紙の書き方 ・新聞の書き方の例 ・ポスターセッション用の資料の書き方の例
			・書写テストに挑戦	・楷書編, 行書編, 生活に広がる書写編
			・漢字の成り立ちと移り変わり	・漢字の成り立ちと移り変わりの説明
			・季節の言葉	・月の異名と二十四節気
			・文字を飾る	・美術品…4例
学図	学年	教材数	教材名	内容例
	1	書こう 仮名を 楷書と	・時代と文字	・それぞれの時代に使われてきた様々な書体
			・書き文字と活字 ・書き初めをしよう	・ゴシック体と明朝体, 楷書と行書 ・輝け未来 ・自主独立
	2	行書と 仮名を 書こう	・硬筆で書いてみよう	・行書・楷書を選んで書こう 目的や場面に合った書体 ・メモ(横書き)の例 ・依頼状(縦書き)の例 ※清掃活動をテーマに, 話し合いのメモ, 依頼状, 目的や場面に合った言語活動の例と書体の選び方について示されている。
			・確かめよう ・書き初めをしよう	・聞き取りメモ(縦書き)の例 ・お知らせのポスターの例 ・目標達成 ・宇宙の神秘
	3	2	書写を生かそう	○書写を生活に生かそう ・いろいろな筆記具を活用しよう(いろいろな筆記具…8種) ・新聞 ・色紙 ・依頼状(横書き) ・礼状(縦書き) ・手紙, 封筒の書き方 ・荷物の送り状 ・エアメール ・のしの表書きの例 ・作文(原稿用紙の書き方ポイント2つ) ・メモ ・掲示物等…計16種 ・手紙の頭語と結語
			・頭語と結語	

				○作品を作ろう ・書き初めをしよう	・作品…5例 ・大志を抱け ・旅立ちの春
			コラム	・篆刻を体験しよう	・篆刻の方法 ・作品…7例
		資料		・書き文字と活字	・ゴシック体・明朝体
三省堂	1	3	楷書で書こう	・自分の文字や書き方をより良くするために	・相手や目的・場面を考えて書く ・活字と手書き文字の違い
				・漢字のさまざまな書き方 ・活字と手書き文字 ・平仮名の発生 ・横書きの行のそろえ方 ・数字とアルファベットの書き方	・書く速さ ・教科書体・明朝体・ゴシック体 ・いろは歌と平仮名の発生 ・文字の下側と中心を揃える ・算用数字・アルファベットの大文字と小文字
			生活に生かそう	○行事の目標を書こう	・掲示物…2例 書き方の手順
			生活に生かそう	○本を紹介しよう ○書いたもので交流しよう ・書き初め	・本の紹介…7例 書き方の手順 ・ポップ, 掲示物 ・輝く生命
	2	3	行書を使いこなそう	・書いて確かめよう(五十音) ・文章全体を速く書くために	・平仮名と片仮名の成り立ち ・文字から文字へのつながり
				○手紙を書こう	・お礼状の書き方(縦書き) ・封筒 ※職場体験学習をテーマに, 礼状の例と, 書き方の手順が示されている。
			書体を使い分けよう	○生活の場面と書体について考えよう	・場面に応じて書体を選択する ・メモ・立て看板等…計5例 ※聞き取りメモ, テストの解答欄, 一言メモ, 行事の立て看板等の作成場面を取り上げ, 書くときの手順と留意点, 書体の選び方が示されている。
			生活に生かそう	○座右の銘を書こう ・書き初め	・作品…6例 ・消しゴム印の作り方 ・燃ゆる思い
	3	3	効果的に書こう	○身のまわりの文字の工夫を見つけよう ○学習のまとめ	・さまざまな工夫・書式…8例 ・掲示物の書き方の工夫 ・効果的に伝わるポスター作り …計4例

		生活に 生かそう	<ul style="list-style-type: none"> <li>○卒業記念冊子を作ろう</li> <li>・書き初め</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業記念冊子…計7例</li> <li>・旅立ちの時</li> </ul>	
	資料		<ul style="list-style-type: none"> <li>・便箋と封筒の書き方・時候の挨拶など</li> <li>・荷物の送り状・のし袋・願書の書き方</li> <li>・掲示物の書き方</li> <li>・ノート・原稿用紙の書き方</li> <li>・文字の変遷</li> <li>・文房四宝</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・便箋と封筒の書き方（縦書き・横書き）</li> <li>・手紙の構成（縦書き・横書き）</li> <li>・はがきの表書き（縦書き）</li> <li>・時候の挨拶・頭語と結語</li> <li>・荷物の送り状・のし袋・願書の書き方</li> <li>・掲示物の書き方</li> <li>・太いフェルトペンの使い方</li> <li>・ノート（社会 横書き）の書き方</li> <li>・原稿用紙の書き方（ポイント5つ）</li> <li>・漢字の成り立ちと変遷</li> <li>・進化する筆記具…2例</li> </ul>	
	学年	教材数	教材名	内容例	
教出	1	4	楷書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書き方の違い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明朝体</li> </ul>
			楷書と仮名を調和させて書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>○楷書に調和する仮名「いろは歌」</li> <li>○学習を生かして書く「一行の中心」</li> <li>・感謝の気持ちを伝えよう</li> <li>・願いや祈りを伝えよう</li> <li>○学習を生かして書く「配列」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろは歌の説明</li> <li>・平仮名と片仮名の成立</li> <li>・竹取物語 絵巻</li> <li>・寄せ書き・短冊等…計6例</li> <li>・原稿用紙の書き方</li> <li>・レポートの書き方（横書き）</li> <li>・手紙・封筒の書き方（縦書き）</li> <li>・相手に敬意を示す言葉</li> <li>※ 学習発表会等の行事や学習場面を取り上げ、学級旗、ポスター、新聞、案内状、礼状等の言語活動例と「書くときの留意点」「手順」が示されている。</li> </ul>
			○学校生活に生かして書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字の変遷</li> <li>・書き初めを書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掲示物の書き方</li> <li>・ポスター・新聞の例等…計4例</li> <li>・太いフェルトペンの使い方</li> <li>・漢字の変遷と平仮名・片仮名の成り立ち</li> <li>・新たな決意</li> </ul>



教出	2	5	行書と仮名を調和させて書いてみよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文字の大きさと配列</li> <li>・日本建築と「書」</li> <li>○書く速さを意識して書く</li> <li>○学習を生かして書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色紙の書き方…3例・短冊の書き方・例</li> <li>・書院造り等…3例・掛軸・扁額・屏風</li> <li>・走れメロス</li> <li>・平家物語絵巻</li> </ul>	
			学習活動や日常生活に生かして書いてみよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>○さまざまな書く場面</li> <li>・文字で心を伝えよう</li> <li>○学習を生かして書く</li> <li>・書き初めを書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面に応じて書く</li> <li>・書体…2例</li> <li>・筆記用具…4例</li> <li>・メモ・立て看板等…計5例</li> <li>・クラス旗等…例4例</li> <li>・新聞</li> <li>・筆記具の使い分け…計5例</li> <li>・掲示物を書く</li> <li>・案内状を書く</li> <li>・夢を信じる</li> </ul>	
	3	3	行書と仮名を調和させて書こう	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習を生かして書く</li> <li>一配列一</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奥の細道行脚の図</li> <li>・短冊…3例</li> </ul>	
			身のまわりの多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書こう	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な表現による文字</li> <li>○三年間の学習の成果を生かそう</li> <li>・書き初めを書こう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取材レポート等…計11例</li> <li>・卒業カレンダー…3例</li> <li>・消しゴム印の作り方</li> <li>・メッセージカード…3例</li> <li>・ペーパーフレームの作り方</li> <li>・友好の精神</li> </ul>	
			資料		<ul style="list-style-type: none"> <li>・書式の教室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手紙の書き方（縦書き・横書き）</li> <li>・時候の挨拶</li> <li>・封筒の書き方（縦書き・横書き）</li> <li>・一筆箋の書き方（縦書き）</li> <li>・はがきの書き方（縦書き）</li> <li>・往復はがきの書き方</li> <li>・包み紙の書き方</li> <li>・エアメールの書き方</li> <li>・原稿用紙の書き方（ポイント5つ、校正に関わっては7つの記号を記載）</li> <li>・国語のノートの書き方</li> <li>・メモの書き方（縦書き・横書き）</li> <li>・志願理由書の書き方</li> <li>・小包の伝票の書き方</li> </ul>
					芸術としての書道	西本願寺本三十六人歌集

	学年	教材数	教材名	内容例
光村	1	1 楷書に仮名を交えて書くよう	○平仮名の筆遣いと字形 ・文字の歴史を探る ・書き初め	・いろは歌の説明 ・平仮名の成立 ・文字の歴史と書体 ・不言実行
	2	1 楷書か行書かを選択して書くよう	○楷書と行書の使い分け ・書き初め	・目的や相手に応じて使い分ける ・ポスター ・筆記具の選択…2例 ※職場体験、学校案内パンフレット、願書、板書、ポスターなど、場面に合わせた書体の選び方を考えさせるようになっている。 ・新たな目標
	3	2 目的に応じて効果的に書くよう 学習したことを生かして書くよう	○文字を効果的に使うために ・デザインと文字	・活字の字体 ・明朝体・ゴシック体 ・広告と文字…4例
			○未来に向かって ・書き初め	・作品…3例 ・印 ・無限の可能性
			資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手紙の書き方</li> <li>・封筒の書き方</li> <li>・はがきの書き方</li> <li>・送り状の書き方</li> <li>・願書の書き方</li> <li>・のし袋の書き方</li> <li>・原稿用紙の書き方</li> <li>・情報を集めて整理する</li> <li>・情報を発信する</li> <li>・読書環境を豊かにする</li> </ul>

光村	資料	・学校行事を盛り上げる ・書写事典	・体育祭…3例 ・文化祭…3例 ・卒業式…4例 ・アルファベット
----	----	----------------------	---